

香川県立ミュージアム 年報

第 15 号（令和 4 年度）

香川県立ミュージアム

I 沿革・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

II 事業の概要

本館

1 展示・企画事業

(1) 館内展示

- ① 歴史展示・・・・・・・・・・・・・・ 5
- ② 常設展示・・・・・・・・・・・・・・ 6
- ③ 特別展示・・・・・・・・・・・・・・ 9
- ④ ロビー展示・・・・・・・・・・・・・・ 24
- ⑤ 展示案内（委託業務）・・・・・・・・ 24
- ⑥ 音声ガイドシステム・・・・・・・・ 24
- ⑦ 貸館事業・・・・・・・・・・・・・・ 24

(2) 館外展示

- ① 市町等共同企画展示・・・・・・・・ 24

(3) 企画・広報

- ① 広報活動・・・・・・・・・・・・・・ 24
- ② パスポート事業・・・・・・・・・・・・ 25

(4) 展覧会企画力向上事業・・・・・・・・ 26

2 地域連携事業

(1) 学校教育支援事業

- ① ミュージアム活用研究会・・・・・・・・ 27
- ② 教員向けの講座（ティーチャーズ
プログラム）・・・・・・・・・・・・・・ 27
- ③ 館蔵資料・作品の複製教材の
制作、貸出・・・・・・・・・・・・・・ 27
- ④ 学校への広報・・・・・・・・・・・・・・ 27
- ⑤ 校外学習等への協力・・・・・・・・・・ 28
- ⑥ 職場体験学習・インターンシップ
への協力・・・・・・・・・・・・・・ 29
- ⑦ 大学との連携・・・・・・・・・・・・・・ 29
- ⑧ 博物館実習・・・・・・・・・・・・・・ 29
- ⑨ その他の学校等との連携・・・・・・・・ 29
- ⑩ 体験学習室・・・・・・・・・・・・・・ 30
- ⑪ 図書コーナー・・・・・・・・・・・・・・ 30

- ⑫ ビデオライブラリー・・・・・・・・・・ 30

(2) 地域連携活動

- ① 職員の講師等の派遣・・・・・・・・・・ 30
- ② 地域資料調査・・・・・・・・・・・・・・ 31
- ③ ボランティア・・・・・・・・・・・・・・ 31
- ④ 香川県資料館協議会・・・・・・・・・・ 32

(3) 普及活動

- ① ワークショップ・・・・・・・・・・・・・・ 33
- ② キッズワークショップ・・・・・・・・・・ 33
- ③ 特別展等関連行事・・・・・・・・・・・・ 33
- ④ 講演会・・・・・・・・・・・・・・ 35
- ⑤ 学芸講座・・・・・・・・・・・・・・ 35

3 調査研究事業

(1) 調査研究活動

- ① 寺社総合調査・・・・・・・・・・・・・・ 36
- ② 収蔵資料の調査研究・・・・・・・・・・ 36
- ③ 資料所在等の確認調査・・・・・・・・ 36
- ④ その他の調査・・・・・・・・・・・・・・ 36
- ⑤ 展示に係る調査・・・・・・・・・・・・ 36
- ⑥ レファレンス等による対応・調査
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 37
- ⑦ 他機関との共同研究・・・・・・・・・・ 37
- ⑧ 各種研修の受講・・・・・・・・・・・・ 38

(2) 成果物公表

- ① 研究成果の公表・・・・・・・・・・・・ 38
- ② 刊行物・・・・・・・・・・・・・・ 40

4 資料の収集・整理・保管事業

(1) 資料収集活動

- ① 購入資料・・・・・・・・・・・・・・ 41
- ② 寄贈資料・・・・・・・・・・・・・・ 41
- ③ 寄託資料・・・・・・・・・・・・・・ 41
- ④ 移管・その他・・・・・・・・・・・・・・ 41
- ⑤ 文献資料・・・・・・・・・・・・・・ 41

(2) 資料整理保管活動

- ① 収蔵資料管理システム・・・・・・・・ 42
- ② 虫菌害対策・・・・・・・・・・・・・・ 42

(3)館外特別利用状況	⑤レファレンス等による調査・・・54
①貸出利用・・・43	⑥教育普及に伴う調査・・・54
②閲覧利用・・・43	(2)成果物の公表
③画像利用・・・44	①研究成果の公表・・・54

②刊行物・・・55

分館 瀬戸内海歴史民俗資料館

1 展示・企画事業

(1)館内展示

①常設展示・・・49
②収蔵展示・・・49
③中央ロビーでのケース展示・・・49
④第1展示室での漁撈用具調査研究 報告展示・・・49
⑤休憩コーナーでの館蔵資料展示・・・50
⑥休憩コーナーでの季節展示・・・50
⑦「瀬戸内ギャラリー」企画展示・・・50
⑧テーマ展示・・・50
(2)広報・・・51

2 地域連携学習支援事業

(1)学校教育支援活動・・・51
(2)地域連携活動
①職員の講師派遣・・・51
②他機関との連携、地域の活動への 協力・・・52
③ボランティア・・・52
(3)普及活動
①れきみん講座・・・52
②ワークショップ・・・53
③展示関連イベント・・・53
④そのほか・・・54

3 調査・研究事業

(1)調査研究活動

①歴史民俗総合調査研究・・・54
②有形民俗資料の調査研究・・・54
③無形民俗資料の調査研究・・・54
④展示に係る調査・・・54

4 資料の収集・整理・保管事業

(1)資料収集活動

①民俗資料・・・56
②文献資料・・・56

(2)資料整理保管活動

①資料整理活動・・・56
②収蔵資料管理システム・・・56

(3)資料の特別利用

①貸出利用・・・57
②閲覧利用・・・57
③画像利用・・・57

分館 香川県文化会館

1 展示事業・・・59
2 貸館事業
(1)県民ギャラリー・・・59
(2)芸能ホール・・・59
(3)和室・・・59

III 組織と運営

1 組織・職員

(1)組織図・・・60
(2)職員名簿・・・60

2 予算・・・60

3 香川県立ミュージアム運営協議会・・・60

4 利用状況・・・62

IV 施設の概要

本館

1 建築等の概要・・・63
2 面積・・・64
3 各階配置図・平面図・・・65

分館 瀬戸内海歴史民俗資料館

- 1 建築概要・・・・・・・・・・・・・67
- 2 面積・・・・・・・・・・・・・67
- 3 平面図・・・・・・・・・・・・・68

分館 香川県文化会館

- 1 建築概要・・・・・・・・・・・・・69
- 2 面積・・・・・・・・・・・・・69
- 3 平面図・・・・・・・・・・・・・69

V 条例・規則等

- 香川県立ミュージアム条例・・・・・・・・・・71
- 香川県立ミュージアム規則・・・・・・・・・・71
- 教育委員会の権限に属する事務の
委任・・・・・・・・・・・・・75
- 香川県立ミュージアムの管理運営
のための組織規則・・・・・・・・・・76
- 香川県立ミュージアム使用料規則・・・・・・・・77
- 香川県政策部文化芸術局における歴史、
美術及び民俗に関する資料収集方針・・・・79
- 香川県政策部文化芸術局における歴史、
美術及び民俗に関する資料収集要綱・・・・81
- 利用案内・・・・・・・・・・・・・83

I 沿革

年	月	香川県文化会館	瀬戸内海歴史民俗資料館	香川県歴史博物館
昭和 39 年	10 月	建築工事着工		
昭和 41 年	3 月	建築工事竣工		
	4 月	開館（1 日） 開館記念「第 31 回香川県美術展覧会」開催（以後毎年開催）		
昭和 47 年	1 月		建築工事着工	
	4 月		香川県教育委員会社会教育課内に設置準備室設置	
昭和 48 年	3 月		建築工事竣工	
	8 月		発足	
	11 月		開館（3 日）	
			開館記念特別展示「国宝 伝讃岐国出土袈裟襷文銅鐸」	
昭和 50 年	5 月		日本建築学会賞受賞	
昭和 55 年	3 月		漁撈収蔵庫建築工事竣工	
昭和 60 年	9 月	「県展 50 周年記念県展回顧展」開催		
		県展 50 周年記念レセプション開催、「県展史」発行		
昭和 63 年	11 月	置県百年記念「香川の工芸の 100 年展」開催		
平成 6 年	4 月			香川県教育委員会に建設準備室設置
平成 8 年	7 月			建築工事起工
平成 9 年	9 月	第 1 回 JIA25 年賞受賞		
平成 10 年	10 月		公共建築百選顕彰	
平成 11 年	3 月			建築工事竣工
	11 月			開館（16 日）
平成 12 年	4 月			開館記念特別展「徳川御三家展」開催
平成 15 年	7 月		開館 30 周年記念建造物「歴民の灯台」除幕式	
平成 17 年	11 月			文化財保護法第 53 条に基づく公開承認施設として承認される
平成 19 年	4 月		瀬戸内海歴史民俗資料館が香川県歴史博物館の分館となる	
		香川県立ミュージアム		
平成 20 年	4 月	香川県歴史博物館と香川県文化会館を統合し香川県立ミュージアム開館（1 日）		
		本館（旧歴史博物館）のほか、文化会館と瀬戸内海歴史民俗資料館の 2 分館体制となる（文化会館は改修工事のため一時休館）		
		開館記念展「静かなる情熱－藤川勇造とロダンの美」開催		
平成 21 年	4 月	文化会館の改修が終わり、県民ギャラリーがオープン		
平成 22 年	10 月	県立ミュージアム入館者 50 万人達成（13 日）		
	11 月	公開承認施設 更新		
平成 24 年	9 月	本館常設展示室 2・4・5、多目的室を改修		
平成 25 年	10 月	県立ミュージアム入館者数 100 万人達成		
		瀬戸内海歴史民俗資料館が DOCOMOMO Japan「日本におけるモダンムーブメントの建築 164」選出		
平成 27 年	3 月	瀬戸内海歴史民俗資料館所蔵「西日本の背負運搬具コレクション」310 点が国重要有形民俗文化財に指定される		
	11 月	公開承認施設 更新		
令和元年		県立ミュージアム入館者数 150 万人達成		
令和 2 年		瀬戸内海歴史民俗資料館 第 1 展示室天井耐震改修、「瀬戸内ギャラリー」開設		
	11 月	公開承認施設 更新		

II 事業の概要

本館

1 展示・企画事業

(1) 館内展示

① 歴史展示

歴史展示室では、香川県の生い立ちから現代までの歩みを通観できるよう、「かがわ今昔—香川の歴史と文化」と題して、原始・古代・中世・近世・近現代の5つの時代に分け、各時代を計20の大項目にそって展示を行っている。各時代入口には、象徴する建物や景観などを再現したメイン展示とあらましを紹介した映像（歴史ショーステージ）を配し、時代状況を捉えやすくしている。さらに、展示内容をより詳しく紹介するために、各時代の番組をタッチパネル式のモニターで放映している（詳覧映像）。

歴史展示一覧

時代	原始	古代	中世	近世	近現代
	讃岐のあけぼの	古代の讃岐	躍動する武士と讃岐	江戸時代の社会と人々の暮らし	香川県の成立と発展
歴史ショーステージ	ガイドンス映像	ガイドンス映像	ガイドンス映像	ガイドンス映像 高松城下を歩く	ガイドンス映像
メイン展示	狩りをする旧石器時代の人々 縄文の森 竪穴住居	今岡古墳出土埴輪組陶棺 乾漆聖観音坐像 讃岐五大師	志度寺縁起 白峯寺十三重塔 明王寺釈迦堂瓦 蒙古襲来絵詞	江戸講中燈籠 高松塩飽漁場争論裁許状 高松城下図屏風 四国古図 庄屋の蔵 讃岐の生んだ人物	昭和初期の教室 昭和20年代の住宅
詳覧展示	水河期を生き抜いた人々 旧石器時代の暮らし 石器をつくる 森と海に生きる人々 瀬戸内海の成立 縄文土器 自然の中で生きる(海の暮らし) 自然の中で生きる(山の暮らし) 新しい文化の伝来 米を作る暮らし 弥生の技術 弥生人の祈り 争いとムラの統合	支配者の誕生 前方後円墳の時代 ムラの暮らしと渡来系文化 律令国家と讃岐 讃岐国の成立 条里制 寒早十首の世界 仏教文化の伝来と発展 変容 国分寺と古代寺院 讃岐の高僧たち 仏教の変容と末法思想 律令体制の変容 地方政治の変質と純友の乱	武家政権の成立 崇徳上皇と源合戦 讃岐の荘園 公領 蒙古襲来 細川氏の支配と文化 細川氏と讃岐 中世の流通 中世讃岐の神仏信仰 信仰の広がり 讃岐の戦国時代 細川氏から三好氏へ 長宗我部元親と讃岐	統一政権と生駒藩 統一政権と生駒藩 生駒氏の讃岐支配 生駒騒動 三藩の成立 高松藩の成立 丸亀 多度津藩の成立 幕府領と朱印地 讃岐三白と廻船 町の暮らし 村の暮らし 讃岐廻船と湊の発達 金毘羅参詣と四国遍路 金毘羅参り 四国遍路と旅する人々 幕末の動乱 開国と攘夷のはざままで 幕末外交使節と讃岐人の活躍 明治維新と讃岐の動向	香川県の成立 藩から県へ 博文社と分県独立運動 第三次香川県の成立 文明開化と殖産興業 「開化」と人々の暮らし 博覧会と産業の近代化 デモクラシーと民衆 日清 日露戦争と農村の変化 大衆文化と観光地の発展 民衆運動のたかまり 戦中 戦後の県民生活 15年戦争のはじまり 戦後の復興
詳覧映像	瀬戸内海の2万年 銅鐸絵画の世界	讃岐の古代遺跡 讃岐のみほとけ 菅原道真と讃岐	水主神社の経函 中世の埋納銭	寛政の百姓一揆 讃岐三白 庄屋の蔵ガイドンス映像	香川の近代建築1 2 汽車が電車が香川を走る 戦後の公営住宅

歴史展示室は固定的な展示物も多いため、その内容が大きく変わることはないが、調査研究の成果を展示に反映するとともに、展示資料の保護と収蔵資料の活用を目的として資料の展示替えを実施している。令和4年度は6月、10月、3月に定期的な展示替えを行った。

【展示替え実績】

第1回	令和4年6月6日（月）	43件45点
第2回	令和4年10月17日（月）	37件47点
第3回	令和5年3月2日（木）	40件41点

②常設展示

歴史・美術にかかわるテーマの展示を、収蔵品を中心に企画し、5つの展示室で展示している。一部の展示について、観覧の補助として展示ごとの解説シートを作成し、観覧者へ無料配布した。また、各会期中には担当者によるミュージアムトークを実施した。各展示の内容・会期等は、表「常設展示一覧」参照。

〔常設展示室1〕

展示室は通年の「高松松平家歴史資料コーナー」と「テーマ展示」の二部構成からなる。

「高松松平家歴史資料コーナー」では甲冑や大名行列道具等の複製品や参勤交代等で用いられた藩主専用船の一室を復元した「御座之間」を通年展示し、松平家に伝来した書画、武具、古文書等の資料を順次展示している。

「テーマ展示」は6企画を実施した。

「あちこち旅日記」は、当館が所蔵する様々な旅日記を中心に、伊勢参詣や金毘羅参詣、四国遍路など、江戸から明治時代を中心とした旅の様子を紹介した。なお、重要文化財「木造倭迹々日百襲姫命坐像」（国所有）、（3月8日～4月24日）、国宝「藤原佐理筆詩懷紙」（4月26日～5月8日）を特別公開した。

高松藩主松平頼重誕生400年記念展を2会期、Ⅰ「京と頼重」とⅡ「頼重と寺社」を開催。高松藩主初代頼重と京や、寺社とのつながりについて紹介した。

Ⅰ「京と頼重」の主な展示資料は「浮鳥 鴨」、松平頼重「和歌書」（ともに、京都御用商人松屋資料 当館保管）など。関連事業：学芸講座「京都御用商人松屋」（6月5日）。Ⅱ「頼重と寺社」の主な展示資料は重要文化財・附「志度寺縁起等付属文書 志度道場縁起」（志度寺蔵）、館外から借用した資料として「浄願寺旧蔵 木造龍雲軒源英坐像」（法然寺蔵）、「白鳥宮御額題字」（白鳥神社蔵、東かがわ市指定有形文化財）など。関連事業：学芸講座「お殿様の祈り」（11月26日）。なお、高松藩主松平頼重誕生400年記念展では展示および解説シート作成にあたり、公益財団法人松平公益会の助成を受けた。

「夏を学ぼう！」は、夏休み子どもミュージアム企画として開催し、昔の夏のくらしや、夏休み、県内各地の海水浴場の歴史を紹介した。主な展示資料は「冷蔵庫」、『夏の友 小学三年』、「海水浴（広告）」など。関連事業：学芸講座「泳がず学べる！？海水浴場の歴史」（7月23日）

「瀬戸内泰平―「博物図譜」にみる山野海のめぐみ」は、特別展「風景が物語る瀬戸内の力」の関連企画として開催。

「高松松平家博物図譜」に描かれた動植物の同定作業などの成果をもとに、瀬戸内海や四国の魚や植物を中心に紹介した。主な展示資料は県指定有形文化財「高松松平家博物図譜」のうち「衆鱗図」、「衆芳画譜」など。

「小さきものたちの世界」は高松松平家に伝わる雛人形（雛道具）や、小品盆栽という分野を確立した松平家当主が遺した鉢や飾台、添配などの小品盆栽を彩る逸品を紹介

した。なお、重要文化財「木造倭迹々日百襲姫命坐像」（国所有）を特別公開（令和5年2月4日～4月9日）した。関連事業：学芸講座「「豆盆栽の宗家」松平頼重の最も愛した世界」（3月11日）

常設展示室1の展示にあたり公益財団法人松平公益会の助成を受け、解説シートを作成した。

〔常設展示室2〕

アート・コレクションを活用して6企画を実施した。

「20世紀の美術Ⅱ―版画の世界」は、西洋美術作品から版画を取り上げ、特に版画の装丁に注目しながら紹介した。

「絵？不思議」「絵？ふしぎ」は、絵の題材、使う道具、絵の形に注目し紹介した。「絵？ふしぎ」は、夏休み子どもミュージアム企画として開催し、ヒントパネルとともに展示した。

「瀬戸内の風物 一島・港・くらし」は、特別展「風景が物語る瀬戸内の力」の関連企画として開催。香川出身の版画家・井上員男（1932～2022）の瀬戸内の島々や港、その暮らしを取材した作品を展示した。

「20世紀の美術―フランス絵画名品選」は、ピカソ、ルオー、ヴラマンクなどフランス絵画を展示した。

「DREAM LAND―猪熊弦一郎と川島猛」は、本県出身の猪熊弦一郎（1902-1993）と川島猛のニューヨーク時代の作品を紹介した。

〔常設展示室3（空海室）〕

「弘法大師空海の生涯と事績」と題し、通年で香川県ゆかりの弘法大師空海の生涯の歩みを中心に紹介する。展示室は京都東寺の灌頂院（重要文化財）の内部空間を部分的に縮小し、曼荼羅と五大尊を掲出した内陣空間を再現し、密教儀礼の場面を演出している。曼荼羅と五大尊は実物の複製品と復元制作品を定期的に入れ替えている。

〔常設展示室4・5〕

当館のアート・コレクションを活用した2企画と新収蔵品を紹介する企画を実施した。

「戦後香川とデザインコミッティーをめぐる人々」は、特別展「戦後デザイン運動の原点」関連企画として開催。デザインコミッティーとの関りから香川県庁舎や瀬戸内海歴史民俗資料館の建築、本県出身の青峰重倫、秋山泰計の作品を紹介した。

「新収蔵品展」は、平成27年度から平成29年度に、当館で新たに収蔵した資料の中から未公開のものを中心に紹介した。主な展示資料は「松平頼重和歌書」、「白綸子地藤羽団扇模様小袖」、「陶製四斗樽」、青峰重倫「孵化」など。

「生誕140年 藤川勇造」は、香川県高松市出身の彫刻家・藤川勇造（1883～1935）の生誕140年を記念して、当館収蔵作品からその作品の魅力をひも解いた。主な展示資料は「朝露」、「ポーズせる女Ⅱ」など。

香川県立ミュージアム Collection Exhibition Vol. 128

香と頼重

高松藩初代藩主松平頼重は、元和6年(1822)に江戸生まれ、享和4年(2022)で生誕400年を迎えます。徳川幕府の末裔である高松藩(徳川頼重)の別荘川瀬陣の手であり、川瀬陣を閉じた高松藩の跡にある松屋は、寛永11年(1639)に高松藩主万石(松平頼重)を元とした藩として設立し、寛永19年には藩政機構が12万石に移り、高松藩初代藩主として治めました。本展では、幕末まで続いた高松藩の礎を築いた松平頼重の事績を、京とのつながりの視点から紹介します。

1 江戸から京へ、ふたたび江戸へ

「高松藩主(1822)松平頼重は、元々高松藩の藩政機構の礎を築いた松平頼重の末裔である高松藩(徳川頼重)の別荘川瀬陣の手であり、川瀬陣を閉じた高松藩の跡にある松屋は、寛永11年(1639)に高松藩主万石(松平頼重)を元とした藩として設立し、寛永19年には藩政機構が12万石に移り、高松藩初代藩主として治めました。本展では、幕末まで続いた高松藩の礎を築いた松平頼重の事績を、京とのつながりの視点から紹介します。」

常設展示室1「京と頼重」

香川県立ミュージアム Collection Exhibition Vol. 132

生誕140年 藤川勇造

香川を代表する彫刻家藤川勇造(1893~1935)、高松市生まれ、香川県立工業学校、東京美術学校で学んだのち渡仏。ロダンに師事して彫刻を学び、帰国後は、二科会の彫刻部部長に就任するなど、日本の近代彫刻に足跡を残しました。本展では、藤川の生誕140年を記念し、当館の収蔵作品から、勇川の活動の軌跡の一端をたどり、勇川とその作品の魅力をお話しします。

はじめに

藤川勇造は、明治26年(1893)、高松市古町に生まれました。香川県立工業学校(現高松大学)で彫刻を学び、ロダンの弟子として渡仏し、彫刻を学ぶ。帰国後は、二科会の彫刻部部長に就任するなど、日本の近代彫刻に足跡を残しました。本展では、藤川の生誕140年を記念し、当館の収蔵作品から、勇川の活動の軌跡の一端をたどり、勇川とその作品の魅力をお話しします。

第1章 ヨーロッパ滞在

香川を代表する彫刻家藤川勇造として、明治26年(1893)に高松市に生まれました。香川県立工業学校(現高松大学)で彫刻を学び、ロダンの弟子として渡仏し、彫刻を学ぶ。帰国後は、二科会の彫刻部部長に就任するなど、日本の近代彫刻に足跡を残しました。本展では、藤川の生誕140年を記念し、当館の収蔵作品から、勇川の活動の軌跡の一端をたどり、勇川とその作品の魅力をお話しします。

常設展示室4・5「生誕140年 藤川勇造」(モノクロ)

常設展示一覧

	展示名	内容	会期 [] は展示日数	トーク
常設展示室1				
1	高松松平家歴史資料	高松 12 万石を治めた大名・高松松平家に伝来する国宝や重要文化財をはじめとする名宝の数々、大名・華族のくらしや文化を物語るさまざまな歴史資料を季節や話題にあわせて紹介した。	通年 (下記テーマ展示に合わせて年6回展示替えを行った)	—
2	あちこち旅日記 No.127	当館が所蔵する様々な旅日記を中心に、伊勢参詣や金毘羅参詣、四国遍路など、江戸から明治時代を中心とした旅の様子を紹介した。	3.8(火)~5.8(日) ※3.12(土)・13(日)・19(土)~21(月・祝) 臨時休館 [50日間]	4.2(土) 5.8(日)
3	高松藩主松平頼重生誕400年記念展 I 京と頼重 No.128	生誕 400 年を迎える高松藩初代藩主松平頼重について、京とのつながりの視点から、和歌を通じた後水尾上皇との交流や京の御用商人松屋との関係について取り上げた。	5.13(金)~7.14(木) 前期 5.13(金)~6.9(木) 後期 6.16(月)~7.14(木) ※6.10(金)~15(水)、7.5(火)~7(木) 臨時休館 [48日間]	5.28(土) 7.3(日)
4	夏休み子どもミュージアム 夏を学ぼう! No.129	昔ながらの夏の行事や、子どもの夏休みの過ごし方、県内各地の海水浴場の歴史について紹介した。	7.18(月・祝)~9.11(日) [49日間]	7.18(月・祝) 9.11(日)
5	特別展開連企画 瀬戸内泰平―「博物図譜」にみる山野海めぐみ No.130	「高松松平家博物図譜」のうち、生物学的な調査研究が進められて来た「衆鱗図」と「衆芳画譜」を展示。瀬戸内海や四国に産するとされる植物を中心に紹介した。あわせて彩色材料の科学調査の結果も紹介した。	9.23(金・祝)~11.6(日) 前期 9.23(金・祝)~10.10(月・祝) 後期 10.12(水)~11.6(日) [38日間]	10.8(土) 10.29(土)
6	高松藩主松平頼重生誕400年記念展 II 頼重と寺社 No.131	頼重の事績を寺社との関わりから紹介した。頼重が関わった寺社の中から、法然寺・浄願寺・志度寺・白鳥宮(現白鳥神社)を取り上げた。	11.12(土)~R5.1.29(日) 前期 11.12(土)~12.18(日) 後期 12.20(月)~1.29(日) [63日間]	11.19(土) 12.11(日) R5.1.21(土)

7	小さきものたちの世界 No.133	高松松平家に伝わる雑道具や、小品盆栽という分野を確立した松平家 12 代当主松平頼寿が遺した鉢や飾台、添配などの小品盆栽を彩る逸品を紹介した。	R5.2.4 (土) ~4.9 (日) [50 日間]	R5.2.11 (土・祝) R5.3.26 (日)
常設展示室 2				
8	アート・コレクション 20 世紀の美術Ⅱ ー版画の世界	西洋の版画作品を紹介した。	3.23 (水) ~5.8 (日) [42 日間]	3.27 (日)
9	アート・コレクション 絵?不思議	絵の題材、使う道具、絵の形に注目し、「こんな絵もあるんだ!」という不思議な絵を紹介した。	5.10 (火) ~7.14 (木) ※6.10 (金) ~15 (水)、7.5 (火) ~7 (木) 臨時休館 [51 日間]	5.14 (土) 6.26 (日)
10	アート・コレクション 夏休み子どもミュージアム 絵?ふしぎ	作品を、その「絵」の不思議をひも解くヒントパネルとともに展示した。	7.18 (月・祝) ~9.11 (日) [49 日間]	7.24 (日) 9.3 (土)
11	アート・コレクション 特別展関連企画 瀬戸内の風物 ー島・港・暮らし	紙版画という独自の技法を生み出した、井上員男 (1932~2022) の作品から、瀬戸内の島々や港、その暮らしを映し出した一連の作品を紹介した。	9.23 (金・祝) ~11.6 (日) [39 日間]	10.1 (土) 11.3 (木・祝)
12	アート・コレクション 20 世紀の美術 ーフランス絵画名品選	フランス絵画の名品を紹介した。	11.8 (火) ~R5.2.12 (日) ※12.25 (日) ~1.1 (日)、 R5.1.17 (火) 臨時休館 [79 日間]	12.10 (土) 1.22 (日)
13	アート・コレクション DREAM LAND ー猪熊弦一郎と川島猛	ニューヨークで活躍した香川県出身の猪熊弦一郎 (1902~1993) と川島猛 (1930-) の 2 人の作家について、ニューヨーク時代の作品を紹介した。	R5.2.14 (火) ~5.14 (日) ※R5.2.27 (月) ~3.6 (月) 臨時休館 [73 日間]	R5.2.23 (木・祝) 3.18 (土) 4.15 (土) 5.6 (土)
常設展示室 3				
14	弘法大師空海の生涯と事績	空海の生涯と事績について関連資料を通して紹介。空海ゆかりの国宝・重要文化財など貴重な資料の複製品を中心に、館蔵の四国徧札図など遍路関係資料も展示した。	1 期: 3.8 (火) ~6.5 (日) 2 期: 6.7 (火) ~9.11 (日) 3 期: 9.23 (金・祝) ~12.11 (日) 4 期: 12.13 (火) ~R5.3.19 (日) 5 期: 3.21 (火・祝) ~6.4 (日)	—
常設展示室 4・5				
15	アート・コレクション 特別展「戦後デザイン運動の原点」関連企画 戦後香川とデザインコミッティーをめぐると人々	特別展に関連して、デザインコミッティーをめぐると人々を紹介した。	4.9 (土) ~5.29 (日) [45 日間]	特別展ナイトトークと併せて実施
16	新収蔵品展	平成 27 年度から平成 29 年度に、当館が新たに収蔵した、さまざまな歴史、民俗資料や近現代美術作品を紹介した。	11.15 (火) ~12.18 (日) [40 日間]	11.23 (水・祝) 12.4 (日)
17	アート・コレクション 生誕 140 年 藤川勇造 No.132	香川県高松市出身の彫刻家・藤川勇造 (1883~1935) の生誕 140 年を記念して、作品からその魅力をひも解いた。	R5.1.24 (火) ~4.16 (日) ※R5.2.27 (月) ~3.6 (月) 臨時休館 [64 日間]	R5.2.12 (日) 3.21 (火・祝) 4.9 (日)

※No. は解説シート発行番号。1「高松松平家歴史資料」及び 14「弘法大師空海の生涯と事績」についても個別解説シートを作成した。

③特別展示

令和4年度は、大規模な展覧会を含む計5回の特別展を実施した。春・夏・秋の大規模な展覧会については「瀬戸内国際芸術祭2022」の参加展覧会として開催した。

各展示ともTwitter・YouTubeなどのSNSを活用し、展示解説などの動画配信に努め、それぞれの概要を分かりやすく発信し、春・秋の特別展においては展示解説の手話解説付動画を作成して配信し、夏の特別展では初めて「バーチャル内覧会」を実施した。

春の「戦後デザイン運動の原点」は、川崎市岡本太郎美術館と共同で企画し、当館で初めてとなる本格的にデザインを取り上げた展覧会となった。

「国際デザインコミッティー（現・日本デザインコミッティー）」について、展示構成を「国際デザインコミッティー創立」、「国際交流とデザインの普及」、「サロンとしてのコミッティー」、「デザインギャラリーの展開」という大きく4つに分け、約300点の作品・資料を展示し、コミッティー創立から1960年代をたどり、国際交流、デザインの普及・啓蒙、そこから派生したプロジェクトを紹介した。とくに、こうした流れに関わる香川県庁舎（1958年竣工）といった香川の文化資源も紹介し、特別展開連企画として常設展示「戦後香川とデザインコミッティーをめぐる人々」を実施した。また、会場では一部、椅子作品に坐ることを可としたほか、レプリカの撮影を可とするなど、観覧者に体験型の鑑賞の場を提供することができた。

なお本事業は、読売新聞社と美術家連絡協議会との共催として日本デザインコミッティーの特別協力を得た。展覧会図録（本文188頁、A5縦判）は川崎市岡本太郎美術館と共同で令和3年度内に発行した。当館での事業実施にあたっては一般財団法人地域創造の助成を得た。

夏の「せとうちの大気 美術の視点」は瀬戸内のイメージから抽出される事象について10名の香川ゆかりの美術家、浅見貴子、北村大樹、藏本秀彦、得丸成人、南条嘉毅、三村昌道、水谷一、宮武かおる、宮脇慎太郎、矢野恵利子があらゆる五感を駆使した表現を目指した。作品は絵画・立体・写真・インスタレーション・映像・音源など多岐にわたった。

展覧会図録（本文56頁、B5縦判）を発行した。事業実施にあたり、公益財団法人朝日新聞文化財団の助成を得た。

秋の「風景が物語る瀬戸内の力—自然・歴史・人の共鳴—」は、瀬戸内の魅力について、瀬戸内海の風景を描いた作品を一堂に会し、美術、歴史、民俗、

自然科学などの多面的な視点から紹介した。自然と人々の共生や持続可能な開発などが求められる現代、本展を通じて瀬戸内海にある人々の暮らしや風景の力について再考し、身近な地域や風土への誇りを再認識する機会となることを目指した。

展示は、長谷川修一氏（香川大学特任教授・名誉教授）、上杉和央氏（京都府立大学准教授）、出嶋利明氏（瀬戸内むしの会）の展示指導を得て、当館収蔵作品のほか、中四国・関西圏の33の関係機関から作品を展示した。また若い世代が考える魅力ある瀬戸内風景や未来に残すべき瀬戸内風景について再発見する試みとして、県立高松工芸高等学校美術科の生徒による作品制作を共同で企画し、総展示数は68件101点になった。

様々な地域の風景が紹介され、地域の人々があらためて「瀬戸内」という基点から郷土を見直し、関心を深めることができた。普及活動では、自然や地理などの観点からの講演会・ワークショップが好評を博し、美術や歴史だけでなく、自然分野から地域の風景をとらえなおす視点を提供することができた。本展事業を通じて、県外の方にも瀬戸内地方の特性を知る機会となっただけでなく、地域の人々に再認識いただくことができた。特に島々や沿岸部に住む地元の方に、見慣れた瀬戸内の風景の素晴らしさや未来に伝えていくべき風景について考えていただく契機となった。

展覧会図録（本文160頁、A4縦判）を発行した。事業実施にあたり、独立行政法人日本芸術文化振興会の助成を得た。

「第86回香川県美術展覧会」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策をとりながら、出品者、来館者等の安全・安心に留意し開催した。第86回展では多様化する美術表現に対応できるように部門を整理し、絵画・彫刻（立体表現）・工芸・書・写真の5部門で作品を募集し、計895点の応募があった。6月13（月）～15日（水）に鑑査・審査を行い、入選474点、入賞40点を選出した。各部門の審査風景はじめ審査員による入賞作品の解説を撮影した動画をYouTubeで配信した。なお、本事業は公益財団法人南海育英会の助成を得た。

「第69回日本伝統工芸展」は、昨年度に引き続き展示数を減らして200点とした。関連行事として令和2・3年度は実施を見送った子どものための伝統工芸鑑賞事業「うるしにチャレンジ」は「彫漆技法」を児童と保護者が一緒に体験・観覧するファミリーワークショップとして実施した。なお、本事業は令和4年度文化財関係国庫補助事業として実施し、公益財団法人南海育英会、公益財団法人松平公益会の助成を得た。

特別展示一覧 *瀬戸内国際芸術祭 2022 パスポート

	展示名 観覧料	会 期	内 容	入場者数
1	戦後デザイン運動の原点 —デザインコミッティーの 人々とその軌跡 一般：1,200円 前売・団体*：1,000円	4.9(土)～5.29(日) [45日間] ※夜間開館(20:00まで)7 日[4.9を除く毎週土曜日]	戦後デザイン運動の先駆 けとなる「国際デザイン コミッティー」の創立か ら活動、メンバーの多様 な交流などを、デザイン や絵画作品、建築模型ほ か多数の関連資料により 紹介した。	5,423
2	第86回香川県美術展覧会 一般：750円 前売・団体：600円	第1期：彫刻(立体表現)・ 工芸・写真 6.28(火)～7.4(月) 第2期：書 7.8(金)～7.14(木) 第3期：絵画 7.18(月・祝)～7.24(日) [各期11日間]	公募による美術展覧会。 これまでの部門を整理 し、絵画・彫刻(立体表 現)・工芸・書・写真の5 部門で開催。 入選・入賞ほか審査員の 作品等を含む全495点を 展示した。	1期： 2,060 2期： 1,122 3期： 2,152 計5,334
3	せとうちの大地 —美術の視点 一般：1,000円 前売・団体*：800円	8.5(金)～9.4(日) [27日間] ※夜間開館(20:00まで)5 日(毎週土曜日)	香川県にゆかりある10 人の美術家たちが、瀬戸 内のイメージから抽出さ れる事象について、あら ゆる五感を駆使した表現 に取り組んだ。	2,824
4	風景が物語る瀬戸内の力 —自然・歴史・人の共鳴— 一般：1,200円 前売・団体*：1,000円	9.23(金・祝)～11.6(日) [39日間] ※夜間開館(20:00まで)7 日(毎週土曜日)	瀬戸内を、歴史、民俗、美 術、自然科学などの多面 的な視点からひも解き、 その力の再発見と可能性 を考え、中世から現代ま での瀬戸内にまつわる多 様な作品を紹介した。	4,295
5	第69回日本伝統工芸展 一般：650円 前売・団体：520円	R5.1.2(月・祝)～1.16(月) [15日間]	陶芸・染織・漆芸・金工・ 木竹工・人形・諸工芸の7 部門の重要無形文化財保 持者の作品、受賞作品及 び四国在住作家の入選作 品等200点を展示した。	4,614

戦後デザイン運動の原点—デザインコミッティーの人々とその軌跡



出品一覧

図録番号	作家名等	資料名	制作年・撮影年等	所蔵先
1 国際デザインコミッティー創立				
1-1	岡本太郎	太陽の神話	1952年	株式会社大和証券グループ本社
1-2	岡本太郎	海辺	1954年	川崎市岡本太郎美術館
1-3	坂倉準三建築研究所	岡本太郎邸 断面詳細図 (1:20)	1953-54年	国立近現代建築資料館
1-4	坂倉準三建築研究所	岡本太郎邸 立面図 [展開図]	1953-54年	国立近現代建築資料館
1-5	坂倉準三建築研究所	岡本太郎邸 1、2階平面図および1階基礎伏図、2階床伏図 1:50	1953-54年	国立近現代建築資料館
1-6	横浜国立大学理工学部建築都市・環境系学科建築EP 伊神空	岡本太郎邸模型 スケール：1/50	2017年	川崎市岡本太郎美術館
1-7	シャルロット・ベリアン、坂倉準三	選択・伝統・創造展 カタログ	1942年	国立近現代建築資料館
1-8		選択・伝統・創造展 会場風景	1941年	国立近現代建築資料館
1-9	石元泰博	シンフォニー・イン・ケープ	1944-48年	高知県立美術館
1-10	石元泰博	グラスとネット	1948年	高知県立美術館
1-11	石元泰博	ファンタジー	1948年	高知県立美術館
1-12	石元泰博	コラージュ	1948-50年	高知県立美術館
1-13	石元泰博	ハンド・スカルプチャー	1948-50年	高知県立美術館
1-14	石元泰博	フォトグラム	1948-50年	高知県立美術館
1-15	石元泰博	多重露光	1948-52年	高知県立美術館
1-16	石元泰博	ペーパーストラクチャー	1952年	高知県立美術館
1-17	石元泰博	シカゴ 街	1948-52年	高知県立美術館
1-18	石元泰博	シカゴ 街	1948-52年	高知県立美術館
1-19	石元泰博	シカゴ 雪と車	1948-52年	高知県立美術館
1-20	石元泰博	シカゴ 雪と扉	1948-52年	高知県立美術館
1-21	石元泰博	シカゴ 雪と扉	1948-52年	高知県立美術館
1-22	石元泰博	シカゴ ミース・ファン・デル・ローエとコンラード・ヴァックスマン、イリノイ工科大学にて	1952年頃	高知県立美術館

1-23	石元泰博	シカゴ こども	1959-61年	高知県立美術館
1-24	石元泰博	シカゴ 街	1959-61年	高知県立美術館
1-25	石元泰博	シカゴ ハロウィン	1959-61年	高知県立美術館
1-26	石元泰博	シカゴ 街	1959-61年	高知県立美術館
1-27	石元泰博	シカゴ 街	制作年不詳	高知県立美術館
1-28	石元泰博	シカゴ 街	制作年不詳	高知県立美術館
1-29	石元泰博	六つの作品 一	1957年	高知県立美術館
1-30	石元泰博	六つの作品 三	1957年	高知県立美術館
1-31	石元泰博	東京 街	1962-70年	高知県立美術館
1-32	石元泰博	東京 街	1962-70年	高知県立美術館
1-33	石元泰博	東京 山手線・29	1981-91年	高知県立美術館
1-34	新制作協会	新制作協会第17回展招待状(封筒共)	1953年	個人蔵
1-35	新制作協会	新制作協会第18回展招待状	1954年	個人蔵
1-36	新制作協会	新制作協会第19回展招待状	1955年	個人蔵
1-37	新制作協会	新制作協会第19回展招待券	1955年	個人蔵
1-38	池辺陽	「日本的デザイン」といかに取り組むかー討論のために問題を提起する一	1955年頃	個人蔵
1-39	例の会	「例の会・建築公開討論会」ちらし	1955年	個人蔵
1-40		「映画による建築の研究会」参加券	1955年	個人蔵
1-41	国際文化振興会	第223回理事会議事録(昭和29年1月29日)	1954年	国際交流基金ライブラリー
1-43	KSB会報	KSB会報	1951-52年	国際交流基金ライブラリー
1-44	国際デザインコミッティー	Japan Committee on International Design	1955年頃	多摩美術大学アートアーカイブセンター、日本デザインコミッティー
1-45	丹下健三(模型作成:芝浦工業大学工学部 堀越英嗣研究室)	丹下自邸(1953年) 模型 スケール:1/30	2013年	香川県立ミュージアム
1-46	横浜国立大学都市科学部建築学科 石井優歩	清家邸「私の家」(1954年) 模型 スケール:1/30	2021年	川崎市岡本太郎美術館
1-47	グロピウス会編	グロピウスと日本文化	1956年	多摩美術大学アートアーカイブセンター
1-48	Arthur Drexler	The Architecture of Japan	1955年	国際交流基金ライブラリー
1-49	堀口捨己、神代雄一郎、浜口隆一著	Architectural beauty in Japan	1955年	国際交流基金ライブラリー
1-50		ル・コルビュジエ、レジェ、ペリアン 3人展 カタログ	1955年	国立近現代建築資料館
1-51	シャルロット・ペリアン(坂倉準三訳)	ル・コルビュジエ、レジェ、ペリアン 3人展を開くに当って	1955年	個人蔵
1-52		ル・コルビュジエ、レジェ、ペリアン 3人展 会場写真	1955年	国立近現代建築資料館
参考		選択・伝統・創造展 カタログ		国立近現代建築資料館
2 国際交流とデザインの普及				
2-1		国際デザイン協会会合議事録 [1957年2月21日]	1957年	多摩美術大学アートアーカイブセンター
2-2		国際デザイン協会会合議事録 [1957年3月6日]	1957年	多摩美術大学アートアーカイブセンター
2-3		国際デザイン協会会合議事録 [1957年3月27日]	1957年	多摩美術大学アートアーカイブセンター
2-4		国際デザイン協会会合議事録 [1957年5月7日]	1957年	多摩美術大学アートアーカイブセンター
2-5		財団法人 日本国際デザイン協会(仮称)設立趣意書	1957年頃	多摩美術大学アートアーカイブセンター
2-6		日本国際デザイン協会 鏡文	1957年頃	多摩美術大学アートアーカイブセンター
2-7		第11回ミラノ・トリエンナーレ日本室 会場風景	1957年	国立近現代建築資料館
2-8		XI Triennale di Milano GIAPPONE (岡本太郎スクラップブック)	1957年	川崎市岡本太郎美術館
2-9	柳宗理	エレファントスツール	1954年	柳工業デザイン研究会
2-10	柳宗理	バタフライスツール(初期型)	1956年	柳工業デザイン研究会
2-11	柳宗理	バタフライスツール(現行型)	1960年	柳工業デザイン研究会
2-12	柳宗理	バタフライスツール(現行品)		天童木工
2-13	柳宗理	白磁土瓶	1956年	柳工業デザイン研究会

2-14	坂倉準三	坂倉準三建築研究所の所員宛書簡	1957年5月30日	個人蔵
2-15		第12回ミラノ・トリエンナーレ 日本室会場風景	1960年	国立近現代建築資料館
2-16	坂倉準三建築研究所	トリエンナーレ国内展 配置計画 高島屋8階 APR19-24 (1:100)	1960年	国立近現代建築資料館
2-17	坂倉準三建築研究所	配置図 (1:50)	1960年	国立近現代建築資料館
2-18	坂倉準三建築研究所	断面図 (1:50)	1960年	国立近現代建築資料館
2-19	坂倉準三建築研究所	學童用机 (1:5)	1960年	国立近現代建築資料館
2-20	坂倉準三建築研究所	輪型スツール詳細図3ヶ (1:5)	1960年	国立近現代建築資料館
2-21	坂倉準三建築研究所	飾棚兼戸棚 (1:10)	1960年	国立近現代建築資料館
2-22	坂倉準三建築研究所	SEZIONE DEL GIAPPONE 第12回トリエンナーレ展 平面図 (1:50)	1960年	国立近現代建築資料館
2-23	坂倉準三建築研究所	肘付安楽椅子現寸図 (1:1)	1960年	国立近現代建築資料館
2-24	坂倉準三建築研究所	肘無低座椅子現寸図 (1:1)	1960年	国立近現代建築資料館
2-25	坂倉準三建築研究所	小椅子現寸図A (1:1)	1952年	国立近現代建築資料館
2-26	坂倉準三建築研究所	小椅子現寸図B (1:1)	1952年	国立近現代建築資料館
2-27	坂倉準三建築研究所	合板小椅子	1953年	国立近現代建築資料館
2-28	坂倉準三建築研究所	小椅子 現寸図 (1:1)	1960年	国立近現代建築資料館
2-29	日本貿易振興会	坂倉準三宛 第12回ミラノ・トリエンナーレ辞令	1960年	個人蔵
2-30		"12e Triennale di Milano", Palazzo dell'Arte, Milano, 1960	1960年	個人蔵
2-31	坂倉準三建築研究所 (担当: 長大作)	小椅子	1960年	株式会社メトロポリタンギャラリー
2-32	坂倉準三建築研究所 (担当: 長大作)	小椅子 (現行品)		天童木工
2-33	坂倉準三建築研究所	低座椅子	1957年頃	個人蔵
2-34	坂倉準三建築研究所 (担当: 長大作)	低座椅子 (復刻)		天童木工
2-35	天童木工 デザイン: 杉浦康平	天童木工 パンフレット	1958年、1963年、1965年	天童木工
2-36	渡辺力	ヒモイス	1952年	株式会社メトロポリタンギャラリー
2-37	渡辺力	トリスツール	1956年	株式会社メトロポリタンギャラリー
2-38	渡辺力	ヒモイス 図面	1952年	株式会社メトロポリタンギャラリー
2-39	渡辺力	ヒモイス 青図	1952年	株式会社メトロポリタンギャラリー
2-40	渡辺力	ヒモイス 青図(デジタル出力)	1952年	株式会社メトロポリタンギャラリー
2-41	渡辺力	トリスツール 図面	1956年	株式会社メトロポリタンギャラリー
2-42	水之江忠臣	小椅子 (現行品)		天童木工
2-43	剣持勇	スタッキングスツール	1955年	個人蔵
2-44	岡本太郎	サイコロ椅子	1957年	川崎市岡本太郎美術館
2-45	柳宗理	硬質陶器N型シリーズ ティーポット	1952年頃	柳工業デザイン研究会
2-46	柳宗理	硬質陶器N型シリーズ コーヒーカップ&ソーサー	1952年頃	柳工業デザイン研究会
2-47	柳宗理	硬質陶器N型シリーズ ティーカップ&ソーサー	1952年頃	柳工業デザイン研究会
2-48	柳宗理	硬質陶器N型シリーズ クリーマー	1952年頃	柳工業デザイン研究会
2-49	柳宗理	硬質陶器N型シリーズ シュガーポット	1952年頃	柳工業デザイン研究会
2-50	柳宗理	硬質陶器N型シリーズ 水差し	1952年頃	柳工業デザイン研究会
2-51	柳宗理	硬質陶器N型シリーズ キャセロール	1952年頃	柳工業デザイン研究会
2-52	柳宗理	硬質陶器N型シリーズ プレート 5種	1952年頃	柳工業デザイン研究会
2-53	柳宗理	硬質陶器N型シリーズ 鉢 4種	1952年頃	柳工業デザイン研究会
2-54	柳宗理	ステンレスカトラリー Y60	1960年	柳工業デザイン研究会
2-55	柳宗理	ステンレスカトラリー #1250	1974-2002年	柳工業デザイン研究会
2-56	柳宗理	黒柄カトラリー #2250	1982-90年	柳工業デザイン研究会
2-57	柳宗理	スピードケトル「早く沸くヤカン」	1953年	柳工業デザイン研究会
2-58	柳宗理	ステンレスボール	1960年	柳工業デザイン研究会
2-59	森正洋	醬油さし		デザインモリコレクション 有限会社

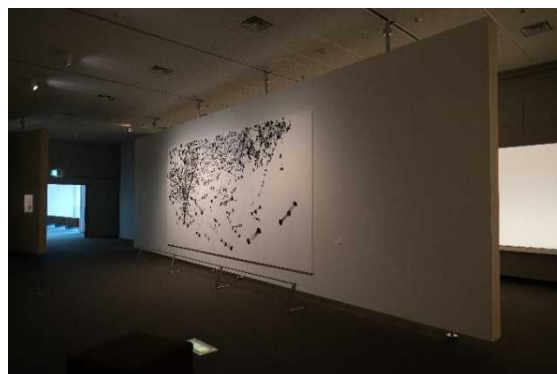
2-60	日本デザインコミッティー	選定会記録アルバム	1955-60年代	日本デザインコミッティー
2-62	松屋	グッドデザインコーナー（リーフレット）	1955年頃	日本デザインコミッティー
2-63	松屋	GOOD DESIGN CORNER（リーフレット）	1955年頃	日本デザインコミッティー
2-64	グッドデザインコミッティー	グッドデザインカタログ1960	1960年	日本デザインコミッティー
2-65	グッドデザインコミッティー	GOOD DESIGN賞1960	1960年	日本デザインコミッティー
2-66	白山陶器	GOOD DESIGN	1960年	日本デザインコミッティー
参考		グッドデザインのセールスマン		日本デザインコミッティー
参考		藝術新潮 12月号		川崎市岡本太郎美術館
参考	坂倉準三建築研究所（担当：長大作）	合皮張り椅子（復刻）		天童木工
参考		「グッド・デザイン・セクション」『リビングデザイン』		川崎市岡本太郎美術館
3 サロンとしてのコミッティー				
3-1	岡本太郎	縄文土器（井戸尻考古館／長野県出土）	1974年撮影	川崎市岡本太郎美術館
3-2	岡本太郎	縄文土器（東大人類学教室／富山県出土）	1956年撮影	川崎市岡本太郎美術館
3-3	岡本太郎	縄文土器（東大人類学教室／山梨県出土）	1956年撮影	川崎市岡本太郎美術館
3-4	岡本太郎	縄文土器 模様（井戸尻考古館／長野県出土）	1974年撮影	川崎市岡本太郎美術館
3-5	岡本太郎	縄文土器（明治大学考古学陳列館／千葉県出土）	1956年撮影	川崎市岡本太郎美術館
3-6	現代芸術研究所	現代芸術研究所の設立の趣旨	1954年頃	川崎市岡本太郎美術館
3-7	現代芸術研究所	「第2期現代芸術講座」ポスター	1955年	川崎市岡本太郎美術館
3-8	現代芸術研究所	第一期現代芸術講座規則書	1955年	川崎市岡本太郎美術館
3-9	現代芸術研究所	第二期現代芸術講座申込書	1955年	川崎市岡本太郎美術館
3-10	現代芸術研究所	現代芸術の会ニュース No.1	1956年1月	川崎市岡本太郎美術館
3-11	現代芸術研究所	現代芸術ニュース No.2	1956年2月	川崎市岡本太郎美術館
3-12	現代芸術研究所	現代芸術ニュース No.3	1956年3月	川崎市岡本太郎美術館
3-13	丹下健三計画研究室（模型制作：植野石膏模型製作所）	旧丸の内 都庁第一本庁舎 模型	1952-57年	東京都公文書館
3-14	岡本太郎	建設	1956年	川崎市岡本太郎美術館
3-15	岡本太郎	赤	1961年	川崎市岡本太郎美術館
3-16	岡本太郎	日の壁（原寸大レプリカ・部分）	1991年	川崎市岡本太郎美術館
3-17	岡本太郎	月の壁 レリーフ	1956年(1991年再制作)	川崎市岡本太郎美術館
3-18	丹下健三計画研究室（模型制作：神谷宏治+日大川岸梅和研究室）	香川県庁舎旧本館・東館（1958年） 模型 スケール：1/100	2013年	香川県立ミュージアム
3-19	丹下健三計画研究室	香川県庁舎旧本館 執務室仕切り棚	1958年頃	香川県立ミュージアム
3-20	剣持勇	香川県庁舎旧本館 知事室机	1958年	香川県立ミュージアム
3-21	剣持勇	香川県庁舎旧本館 知事室脇机	1958年	香川県立ミュージアム
3-22	丹下健三計画研究室	陶製椅子	1958年頃	香川県
3-23	石元泰博	香川県庁舎	1958年頃	高知県立美術館
3-24	丹下健三研究室、撮影：川澄明男	東京計画 1960（デジタル出力）	1960年	
3-25	丹下健三研究室	『東京計画 1960 その構造改革の提案』	1961年	国立近現代建築資料館
3-26	岡本太郎、丹下健三、勅使河原蒼風、安部公房、糸川英夫、石川充	「ぼくらの都市計画」『総合』	1957年6月号	個人蔵
3-27	財団法人世界デザイン会議日本運営会	世界デザイン会議（リーフレット）	1960年	柳工業デザイン研究会
3-28	財団法人世界デザイン会議日本運営会	世界デザイン会議報 第6・7合併号	1960年5月10日	柳工業デザイン研究会
3-29	世界デザイン会議日本実行委員会	世界デザイン会議 会員証（坂倉準三）	1960年	個人蔵
3-30	柳宗理	講演草稿	1960年	柳工業デザイン研究会
3-31	世界デザイン会議議事録編集委員会編	世界デザイン会議 議事録	1961年	国立近現代建築資料館、柳工業デザイン研究会
3-32	日本宣伝美術会	世界デザイン会議 第1部会ゼミナールレポート	1960年	国立近現代建築資料館

3-33	川添登	世界デザイン会議 資料メモ一式	1950年代後半	個人蔵
3-34	世界デザイン会議日本運営 会事務局	1960年世界デザイン会議日本紹介配 布資料『び』	1960年	多摩美術大学アートアーカ イヴセンター
3-35		A Souvenir of the Design Garden Party 世界デザイン会議 '60	1960年	日本デザインコミッティー
3-36	日本デザインコミッティー	大福帳[ハーバート・バイヤーへの寄 書き]	1979年	多摩美術大学アートアーカ イヴセンター
3-37	Herbert Bayer	herbert bayer book of drawings	1961年	多摩美術大学アートアーカ イヴセンター
3-38	Herbert Bayer	Herbert Bayer: visual communication architecture painting	1975年	多摩美術大学アートアーカ イヴセンター
3-39	丹下健三研究室(制作:石黒 建築模型)	国立屋内総合競技場(国立代々木競 技場) 模型	1963年	秩父宮記念スポーツ博物館
3-40	亀倉雄策	東京オリンピック 第1号ポスター	1961年	秩父宮記念スポーツ博物館
3-41	アートディレクション:亀倉 雄策、フォトディレクショ ン:村越襄、撮影:早崎治	東京オリンピック 公式第2号ポスタ ー	1962年	秩父宮記念スポーツ博物館
3-42	アートディレクション:亀倉 雄策、フォトディレクショ ン:村越襄、撮影:早崎治	東京オリンピック 公式第3号ポスタ ー	1963年	秩父宮記念スポーツ博物館
3-43	アートディレクション:亀倉 雄策、撮影:早崎治	東京オリンピック 公式第4号ポスタ ー	1963年	秩父宮記念スポーツ博物館
3-44	財団法人オリンピック東京 大会組織委員会	東京オリンピック「デザイン・ガイ ド・シート」	1964年	多摩美術大学アートアーカ イヴセンター
3-45	オリンピック東京大会組織 委員会編	第18回オリンピック競技大会公式報 告書	1964年	多摩美術大学アートアーカ イヴセンター
3-46	オリンピック東京大会組織 委員会	東京オリンピック組織委員会会報 (欧文)	1964年	秩父宮記念スポーツ博物館
3-47	デザイン:河野鷹思	第18回オリンピック競技大会 識章 バッジ	1964年	秩父宮記念スポーツ博物館
3-48	トーチホルダーデザイン:柳 宗理、パッケージデザイン: 杉浦康平	東京オリンピック トーチホルダー	1964年	柳工業デザイン研究会
3-49	柳宗理	東京オリンピック 運搬用聖火コン テナー	1964年	柳工業デザイン研究会
3-50	柳宗理	スタッキングチェア	1964年	柳工業デザイン研究会
3-51	デザイン 表:岡本太郎、裏: 田中一光	東京オリンピック参加記念メダル	1964年	川崎市岡本太郎美術館
3-52	岡本太郎	跳ぶ	1963年	川崎市岡本太郎美術館
3-53	岡本太郎	マラソン	1964年	川崎市岡本太郎美術館
3-54	勝見勝	「国際シンボル計画」抜き刷り『グラ フィックデザイン』	1971年6月	多摩美術大学アートアーカ イヴセンター
3-55	勝見勝	オリンピックデザイン室系統図[自 筆メモ]	1963-64年	多摩美術大学アートアーカ イヴセンター
3-56	勝見勝	東京オリンピックのための草稿	1963-64年	多摩美術大学アートアーカ イヴセンター
3-57		1964 オリンピック東京大会 design guide book 1964.2.28	1964年	多摩美術大学アートアーカ イヴセンター
3-58		歓迎装飾の基本方針について	1964年	多摩美術大学アートアーカ イヴセンター
3-59		デザインを要する品目等調	1964年	多摩美術大学アートアーカ イヴセンター
3-60		仕様書 I	1964年	多摩美術大学アートアーカ イヴセンター
3-61	勝見勝	東京大会のデザインポリシー [複製]	1964年	多摩美術大学アートアーカ イヴセンター
3-62	勝見勝	聖火台のデザインに関する覚書	1969年	多摩美術大学アートアーカ イヴセンター
3-63		デザインギャラリー 第10回「オリ ンピックのデザイン」会場風景	1964年	多摩美術大学アートアーカ イヴセンター
4-45		第52回「歩道橋計画案展」DM はがき	1968年	日本デザインコミッティー
4-46	柳工業デザイン研究会	『歩道橋計画案展』リーフレット	1968年	柳工業デザイン研究会、日本 デザインコミッティー
参考		「現代芸術講座」記録写真		川崎市岡本太郎美術館
参考	現代芸術研究所	第1期現代芸術講座 受講者証		川崎市岡本太郎美術館

参考	現代芸術研究所	現代芸術の会ニュース No.5		川崎市岡本太郎美術館
参考	現代芸術研究所	現代芸術の会ニュース No.6		川崎市岡本太郎美術館
参考	現代芸術研究所	現代芸術の会ニュース No.7		川崎市岡本太郎美術館
参考		第52回「歩道橋計画案展」準備資料		日本デザインコミッティー
4 デザインギャラリーの展開				
4-1	〈岡本太郎出品〉岡本太郎	坐ることを拒否する椅子	1963年	川崎市岡本太郎美術館
4-2	〈坂倉準三出品〉イブ・コフ オード・ラーセン	肘掛椅子 (エリザベスチェア)		個人蔵
4-3	〈石元泰博出品〉	ライカ M3		高知県立美術館
4-4	〈渡辺力出品〉アンジェロ・ マンジャロッティ	セクティコン/セクティコン (複製 品)		株式会社メトロポリタンギ ャラリー
4-5	〈柳宗理出品〉	コーヒー沸し (Chemex Coffeemaker)		柳工業デザイン研究会
4-6	〈柳宗理出品〉	レードル		柳工業デザイン研究会
4-7	〈柳宗理出品〉	花はさみ (Wilkinson Hand Pruner)		柳工業デザイン研究会
4-8	〈柳宗理出品〉	ペリカンのインク入れ		柳工業デザイン研究会
4-9	〈瀧口修造出品〉ブルーノ・ ムナーリ	灰皿	1960年	株式会社メトロポリタンギ ャラリー
4-10	日本デザインコミッティー	第一回デザインギャラリー“私の好 きなグッドデザインコレクション” 出品リスト	1964年	多摩美術大学アートアーカ イヴセンター
4-11		『デザイン』	1964年8月号	個人蔵
4-12	日本デザインコミッティー	第1回「私の好きなデザイン」DM	1964年	日本デザインコミッティー
4-13	イサム・ノグチ	あかり (AKARI 1A)	1952年	香川県立ミュージアム
4-14	イサム・ノグチ	あかり (AKARI 6A(Round))	1952年	香川県立ミュージアム
4-15	イサム・ノグチ	あかり (AKARI 10A)	1952年	香川県立ミュージアム
4-16	イサム・ノグチ	あかり (AKARI 16A)	1953年	香川県立ミュージアム
4-17	イサム・ノグチ	あかり (AKARI 3X (Square))	1963年	香川県立ミュージアム
4-18	イサム・ノグチ	あかり (AKARI 31N)	1969年	香川県立ミュージアム
4-19	イサム・ノグチ	あかり (AKARI 35N)	1969年頃	香川県立ミュージアム
4-20	イサム・ノグチ	あかり (AKARI 45XN)	1978年	香川県立ミュージアム
4-21	イサム・ノグチ	あかり (AKARI 70XN)	1978年	香川県立ミュージアム
4-22	イサム・ノグチ	あかり (AKARI 30DD)	1978年	香川県立ミュージアム
4-23	イサム・ノグチ	あかり (AKARI 70FF)	1978年	香川県立ミュージアム
4-24	イサム・ノグチ	あかり (AKARI J1)	1979年	香川県立ミュージアム
4-25		AKARI Lamps by Isamu Noguchi	1964年	日本デザインコミッティー
4-26	石元泰博	桂離宮 洲浜の飛石	1953年	高知県立美術館
4-27	石元泰博	桂離宮 松葉型襖引手 (楽器の間)	1953-54年	高知県立美術館
4-28	石元泰博	桂離宮	1953-54年	高知県立美術館
4-29	石元泰博	桂離宮 新御殿と芝庭	1953-54年	高知県立美術館
4-30	石元泰博	桂離宮 新御殿南西面	1953-54年	高知県立美術館
4-31	石元泰博	桂離宮 御輿寄前庭 延段と飛石	1953-54年	高知県立美術館
4-32	石元泰博	桂離宮 古書院一の間から中書院を 見る	1953-54年	高知県立美術館
4-33	石元泰博	桂離宮 新御殿勝手水間	1953-54年	高知県立美術館
4-34	石元泰博	桂離宮 楽器の間	1953-54年	高知県立美術館
4-35	石元泰博	桂離宮 楽器の間広縁の板敷き	1954年	高知県立美術館
4-36	石元泰博	桂離宮 茶室内部 (松琴亭)	1954年	高知県立美術館
4-37	石元泰博	桂離宮 古書院月見台展望	1954年	高知県立美術館
4-38		第24回「桂」DM はがき	1966年	日本デザインコミッティー
4-39	文：ワルター・グロピウス、 丹下健三、写真：石元泰博	『桂 KATSURA -日本建築における伝 統と創造-』	1960年	高知県立美術館
4-40	亀倉雄策	「鳥」展のための草稿	1966年	日本デザインコミッティー
4-41	亀倉雄策	展覧会準備のためのスケッチ	1966年	日本デザインコミッティー
4-42		きじ車 (岡本太郎旧蔵)		川崎市岡本太郎美術館
4-43	ヤコブ・ハーマン	Birds (岡本太郎旧蔵)		川崎市岡本太郎美術館
4-44		第25回「鳥」DM はがき	1966年	日本デザインコミッティー
4-47	日本デザインコミッティー	新しい日本のグッドデザイン展 図 録	1960年	日本デザインコミッティー
4-48	日本デザインコミッティー	グッドデザイン展 '61 図録	1961年	日本デザインコミッティー
4-49	日本デザインコミッティー	グッドデザイン展 '62 図録	1962年	日本デザインコミッティー
4-50	日本デザインコミッティー	グッドデザイン展 '64 図録	1964年	日本デザインコミッティー
4-51	日本デザインコミッティー	グッドデザイン展 '66 図録	1966年	日本デザインコミッティー
4-52	日本デザインコミッティー	グッドデザイン展 '68 デザイン フ ォア リビング 図録	1968年	日本デザインコミッティー
4-53	日本デザインコミッティー	ドイツデザイン展 図録	1967年	日本デザインコミッティー
4-54	日本デザインコミッティー	現代イタリアデザイン展 図録	1965年	日本デザインコミッティー

4-55	日本デザインコミッティー	デザインギャラリー DM はがき	1960年代	日本デザインコミッティー
4-56	日本デザインコミッティー	日本デザインコミッティー 企画展ポスター	1960-70年代	日本デザインコミッティー
4-57	勝見勝	「コミッティーと共に30年」	1982年	多摩美術大学アートアーカイブセンター
4-58	勝見勝	自筆メモ「ミラノトリエンナーレ→コミッティー」	年代不詳	多摩美術大学アートアーカイブセンター
4-59	日本デザインコミッティー	2月例会議題	1973年	多摩美術大学アートアーカイブセンター
4-60	日本デザインコミッティー	2月例会レポート	1968年	多摩美術大学アートアーカイブセンター
4-61	日本デザインコミッティー	11月例会レポート	1967年	多摩美術大学アートアーカイブセンター
4-62	日本デザインコミッティー	日本デザインコミッティー経歴	1972年	多摩美術大学アートアーカイブセンター
4-63	通産省	通産省広報（昭和52年10月27日）	1977年	多摩美術大学アートアーカイブセンター
4-64		コミッティーメンバー 旅行写真		日本デザインコミッティー
参考		第1回「私の好きなデザイン」準備資料		日本デザインコミッティー
参考		第25回「鳥」展 準備資料		日本デザインコミッティー
参考		graphic image 1973 図録		日本デザインコミッティー
参考		デザインニューウェーブ '86 都市・住居・椅子 図録		日本デザインコミッティー
参考		デザインニューウェーブ '84 日本 図録		日本デザインコミッティー
参考		TABLE35-テーブル35の大饗宴 図録		日本デザインコミッティー
参考		GROBAL EYE '78 7 NEW DESIGN POWERS 図録		日本デザインコミッティー
参考		デザインフォーラム '93 公募展 図録		日本デザインコミッティー
参考		69 世界のグッドデザイン展-グローバル アイ-図録		日本デザインコミッティー
参考		東欧7カ国展-グローバル アイ '72-図録		日本デザインコミッティー
参考		Design 19 図録		日本デザインコミッティー
参考		『メンバーズカタログ』		日本デザインコミッティー
参考		勝見勝と岡本太郎		多摩美術大学アートアーカイブセンター

せとうちの 대기 — 美術の視点



出品一覧

番号	作品名	制作年	材質等
矢野恵利子			
1	NEVER UNDER CONTROL	2021	木材、モニター(映像)、電子部品、PC、ロープ
2	We are happy-go-lucky	2022	木材、鉄、モニター(映像)、電子部品、ロープ等
三村昌道			
1	Painting on a stone I	2021	庵治石、キャンバス
2	Painting on a stone II	2021	庵治石、キャンバス
3	Painting on a stone III	2021	庵治石、キャンバス
4	Painting on a stone IV	2022	庵治石、キャンバス
5	Painting on a stone V	2022	庵治石、キャンバス
6	Painting on a stone VI	2022	庵治石、キャンバス
得丸成人			
1	無意識の投影「記憶の海」	2022	映像(3面)、プロジェクター(3台)
北村大樹			
1	そこにある音	2022	音響機器類、無指向性スピーカー
水谷一			
1	神と人の間	2022	構成要素:鉛筆(4H)の筆致で埋められた紙(B1)、アルミ製フレーム、ピンスポット照明
2	せとうちの 대기	2022	構成要素:香川県立ミュージアム2階 東ロビー(休息スペース)、本作用に配置されたソファ、テキスト、窓からの景色、その日の天気ほか
3	海と林檎	2022	構成要素:香川県立ミュージアム2階 特別展示室内ガラスケース、照明、1つの林檎から型取られた5つの石膏による林檎の複製
浅見貴子			
1	Transform 2108	2018	白麻紙、墨、顔料、樹脂膠
2	樹木図 Nagatoro 1	2022	白麻紙、墨、顔料、樹脂膠
藏本秀彦			
1	Nanten 01-09	2022	LED(5w)、アクリル、アルミ、ポリダクトシート、他
2	Sami Shima	2021	DVD デジタル映像データ(37分54秒)、アンプスピーカー(180w×2)、プロジェクター

南条嘉毅			
1	幻海 1	2022	鏡、木材、照明、映像
2	幻海 2	2022	鏡、木材、照明、映像
3	幻海 3	2022	鏡、木材、照明、映像
4	幻海 4	2022	柱時計、木材、映像
5	幻海 5	2022	柱時計、木材、映像
6	幻海	2022	蓄音機、鏡類、ランプ、ほか漁労用具類
7	Peering into the Seabed	2022	漁網、漁労具、照明、映像
宮脇慎太郎			
1	YASHIMA	2021	写真プリント
2	KOYOSHIMA	2022	写真プリント
3	KOZUCHI & OHZUCHI	2022	写真プリント
4	インタビュー映像 小与島で生まれ育った島民、中野三郎さん (78) の証言	2022	写真プリント
宮武かおる			
1	せとうちの大自然デザイン関係資料	2022	メモ、書籍など

風景が物語る瀬戸内の力—自然・歴史・人の共鳴—

the Energy of SETOUCHI found in its Scenery
— the Symphony of Nature, History and Human —

瀬戸内海航路の歴史を辿る

秋の特別展
—自然・歴史・人の共鳴—

風景が物語る 瀬戸内の力

知らなかった瀬戸内海が今ここに。
初めて見つける瀬戸内のすがた。

2022.9.23(金・祝) ▶ 11.6(日)

前期：9.23(金・祝)～10.10(月・祝) 後期：10.12(水)～11.6(日)

The Kagawa Museum
香川県立ミュージアム

会場：特別展示室、常設展示室4・5
開館時間：9:00～17:00(最終入館時間：16:00) 6ヵ月以降は16:30まで
休館日：月曜日(10月15日を除く)、祭日、10月14日(祝)
観覧料：一般1,200円 幼児・小学生600円(小学生1,000円)
※観覧料は別途予約が必要。予約料は観覧料と同額(1,200円)。
※観覧料は10歳以上、小学生未満は小学生と同額(600円)。



出品一覧

※前期 令和4年9月23日～10月10日 後期 10月12日～11月6日

作品番号	展示替	指定	資料・作品名/作者	時代	法量 (cm)	所蔵
プロローグ						
1	1	全期	瀬戸内海航路図屏風	江戸時代	102.4×369.6	堺市博物館
一の景 ユートピア						
2	1	9.23 ～10.10	重要文化財 源氏物語手鑑「須磨」 土佐光吉	慶長17年 (1612)	19.8×26.1	和泉市久保惣記念美術館

	2	10.12 ～10.23	重要文化財	源氏物語手鑑「滯標一」 土佐光吉	慶長 17 年 (1612)	19.9×26.2	和泉市久保惣記念美術館
	3	10.25 ～11.6	重要文化財	源氏物語手鑑「滯標二」 土佐光吉	慶長 17 年 (1612)	19.9×26.2	和泉市久保惣記念美術館
3		前期	重要文化財	琴弾宮絵縁起	鎌倉時代	93.5×107.7	観音寺
4	1	前期	重要文化財	志度寺縁起「御衣木之縁 起」	鎌倉～南 北朝時代	168.9×125.9	志度寺
	2	後期	重要文化財	志度寺縁起「讃州志度道場 縁起一」	鎌倉～南 北朝時代	168.2×128.3	志度寺
	3	後期	重要文化財	志度寺縁起「讃州志度道場 縁起二」	鎌倉～南 北朝時代	168.2×127.1	志度寺
5		前期		白峯山古図	江戸時代	92.3×127.4	白峯寺
6	1	後期		屋島寺縁起絵・屋島合戦図 屋島寺縁起絵	江戸時代	123.0×162.0	屋島寺
	2	後期		屋島寺縁起絵・屋島合戦図 合戦図	江戸時代	123.2×162.1	屋島寺
7		前期		源平合戦図屏風(一の谷・ 屋島) 狩野吉信	江戸時代	各 154.5×351.0	神戸市立博物館
8		後期		源平合戦図屏風(一の谷・ 藤戸)	江戸時代	各 150.3×188.6	香川県立ミュージアム
9		後期		源平合戦図屏風(屋島)	江戸時代	157.5×359.2	香川県立ミュージアム
二の景 自然							
10		全期		讃岐名勝図屏風 長町竹 石	江戸時代	各 177.0×286.0	香川県立ミュージアム
11	1	前後期 場面替		五畿七道図「五畿奇勝之図 帖」天・地 淵上旭江	寛政 8 年 (1796)	各 12.8×20.0	岡山県立美術館
	2	前後期 場面替		五畿七道図「五畿奇勝之図 帖」天・地 淵上旭江	寛政 8 年 (1796)	各 12.8×20.0	岡山県立美術館
	3	前後期 場面替		五畿七道図「五畿奇勝之図 帖」天・地 淵上旭江	寛政 8 年 (1796)	各 12.8×20.0	岡山県立美術館
	4	前後期 場面替		五畿七道図「五畿奇勝之図 帖」天・地 淵上旭江	寛政 8 年 (1796)	各 12.8×20.0	岡山県立美術館
12			中国四国名所旧跡図 西 丈	江戸時代	29.5×44.5	愛媛県歴史文化博物館	
13	1	前期	徳島県指定有 形文化財	全国名勝絵巻「敵島の巻」 守住貫魚	江戸時代	19.3×781.7	徳島県立博物館
	2-6	後期	徳島県指定有 形文化財	全国名勝絵巻「碁浦の巻」 守住貫魚	江戸時代	19.4×863.7	徳島県立博物館
	3/5/ 9	前期	徳島県指定有 形文化財	全国名勝絵巻「靱湊の巻」 守住貫魚	江戸時代	19.3×873.2	徳島県立博物館
	4	後期	徳島県指定有 形文化財	全国名勝絵巻「花栗の巻」 守住貫魚	江戸時代	19.3×883.3	徳島県立博物館
	7	前期	徳島県指定有 形文化財	全国名勝絵巻「錦帯橋の 巻」守住貫魚	江戸時代	19.9×640.3	徳島県立博物館
	8/10	後期	徳島県指定有 形文化財	全国名勝絵巻「隠渡の巻」 守住貫魚	江戸時代	19.6×652.8	徳島県立博物館
14		前後期 場面替		対州道中絵巻	文化 8 年 (1811)	40.0×1815.7	たつの市立龍野歴史文化 資料館
15	1-2	前後期 場面替		網代日記 上巻 堀惟賢	天保 5 年 (1834)	61.2×992.8	個人
	3-4	前後期 場面替		網代日記 下巻 堀惟賢	天保 5 年 (1834)	61.2×1183.8	個人
16	1	前期		讃岐国松平領海岸絵図「引 田浦」 蘆澤平馬・松尾織 之助写	文政 2 年 (1819) 写	52.0×113.0	瀬戸内海歴史民俗資料館
	2	前期		讃岐国松平領海岸絵図「宇 多津浦」 蘆澤平馬・松尾 織之助写	文政 2 年 (1819) 写	71.0×78.0	瀬戸内海歴史民俗資料館
	3	後期		讃岐国松平領海岸絵図「津 田浦」 蘆澤平馬・松尾織 之助写	文政 2 年 (1819) 写	62.0×86.0	瀬戸内海歴史民俗資料館
	4	後期		讃岐国松平領海岸絵図「志 度浦」 蘆澤平馬・松尾織 之助写	文政 2 年 (1819)	63.0×103.0	瀬戸内海歴史民俗資料館
17		全期		日照雨 小林和作	昭和 9 年 (1934)	64.2×116.7	尾道市立美術館

18	1	前期		瀬戸内海集「帆船 午前」 吉田博	大正 15 年 (1926)	55.6×40.7	愛媛県美術館
	2	前期		瀬戸内海集「帆船 夕」 吉田博	大正 15 年 (1926)	54.3×38.9	愛媛県美術館
19	1	後期		写生画「鳴門」 池田遙邨	昭和 24 年 (1949)	38.0×58.0	倉敷市立美術館
	2	後期		写生画「鳴門裸島より」 池田遙邨	昭和 24 年 (1949)	38.0×58.0	倉敷市立美術館
	3	後期		写生画「大鳴門」池田遙邨	昭和 24 年 (1949)	39.0×53.0	倉敷市立美術館
	4	後期		写生画「鳴門裸島下」池田 遙邨	昭和 24 年 (1949)	38.5×53.5	倉敷市立美術館
	5	後期		写生画「鳴門千鳥ヶ浜」池 田遙邨	昭和 24 年 (1949)	39.0×53.0	倉敷市立美術館
	6	後期		写生画「鳴門千鳥ヶ浜」池 田遙邨	昭和 24 年 (1949)	34.0×53.0	倉敷市立美術館
三の景 生活							
20		全期	大阪市指定有 形文化財	川口遊里図屏風	江戸時代	52.5×362.0	大阪歴史博物館
21		全期	香川県指定有 形文化財	高松城下図屏風	江戸時代	167.0×489.0	香川県立ミュージアム
15	5-8	前後期 場面替		網代日記 中巻 堀惟賢	天保 5 年 (1834)	61.2×1330.9	個人
22		全期		天保山風景図 狩野永泰	天保 9 年 (1838)	56.2×102.1	大阪歴史博物館
23		全期		坂出壘田図 市河恭齋書 栗本翠庵画	文政 12 年 (1829)～ 天保 4 年 (1833)	85.3×117.0	高松松平家歴史資料
24		前後期 場面替		大阪築港犬鳴採石之景 岡本月村	明治 34 年 (1901)	18.5×28.5	大阪歴史博物館
25		全期	岡山県指定重 要有形民俗文 化財	児島湾漁撈回漕図	寛政 10 年 (1798)	105.0×210.0	御前神社
26	1～3	前期		西條誌 日野和煦編 青野国平画	天保 13 年 (1842)	26.9×18.9	愛媛県歴史文化博物館
	4～6	後期		西條誌 日野和煦編 青野国平画	天保 13 年 (1842)	26.9×18.9	愛媛県歴史文化博物館
27	1・4	前後期 場面替		玉島風景図巻 巻二 中原甕塘	昭和 30 年 (1955)	28.2×859.8	倉敷市立玉島図書館
	2・3	前後期 場面替		玉島風景図巻 巻二 中原甕塘	昭和 30 年 (1955)	28.2×1059.5	倉敷市立玉島図書館
四の景 名所							
28		前期		巖島図屏風	江戸時代	151.0×334.0	広島県立美術館
29		前期		和歌浦図屏風	江戸時代	106.0×264.6	堺市博物館
30		後期		黒崎村図屏風 岡本綾江	江戸時代	各156.0×368.4	個人
31		前後期 場面替		摂津名所図会 秋里籬島編 竹原斎春ほ か朝画	寛政 8 年 (1796) ～ 10 年 (1798)	25.4×18.1	香川県立ミュージアム
32		前後期 場面替		天保山名所図会 暁鐘成編・画	天保 6 年 (1835)	17.8×11.8	大阪歴史博物館
33		前後期 場面替		住吉名勝図会 岡田玉山画	寛政 6 年 (1794)	26.5×19.3	大阪歴史博物館
34		前後期 場面替		和泉名所図会 秋里籬島編 竹原春朝齋 画	寛政 8 年 (1796)	26.0×18.2	香川県立ミュージアム
35		前後期 場面替		阿波名所図会 探古室墨海編・画	文化 11 年 (1814)	25.8×18.1	瀬戸内海歴史民俗資料館
36		前後期 場面替		播州名所巡覧図絵 秦石田編 中江藍江画	文化元年 (1804)	25.5×18.3	神戸市立博物館
37		前後期 場面替		讃岐国名勝図会 前編 梶原景紹編 松岡信正ほ か画	嘉永 6 年 (1853)	25.4×18.6	香川県立ミュージアム
38		前後期 場面替		金毘羅参詣名所図会 暁鐘成編 浦川公左画	弘化 4 年 (1847)	25.6×18.0	香川県立ミュージアム

39		全期		西国内海名所一覧 五雲亭貞秀	慶応元年 (1865)	36.7×149.4	神戸市立博物館
40	1	全期		六十余州名所図会「播磨舞 子の浜」 歌川広重	嘉永6年 (1853)	35.1×22.9	神戸市立博物館
	2	全期		六十余州名所図会「備前田 の口海浜 瑜賀山鳥居」 歌川広重	嘉永6年 (1853)	34.7×23.1	愛媛県歴史文化博物館
	3	全期		六十余州名所図会「伊豫西 條」 歌川広重	安政2年 (1855)	36.2×24.7	愛媛県歴史文化博物館
	4	全期		六十余州名所図会「長門下 の関」 歌川広重	安政3年 (1856)	35.7×24.1	愛媛県歴史文化博物館
41				昭和六十余州名所 池田遙邨	昭和9年 (1934)	35.0×26.2	龍昌院
42		全期		景勝之牛窓町鳥瞰図 吉田初三郎	昭和9年 (1934)	51.5×181.0	瀬戸内市立美術館
43		全期		小豆島鳥瞰図 寺本左近	昭和28年 (1953)	51.0×162.5	小豆島町教育委員会
44	1	全期		日本誌 ドイツ語版「大坂 図」 モンタヌス	寛文9年 (1669)	31.0×73.0	堺市博物館
	2	全期		日本誌 ドイツ語版「堺 図」モンタヌス	寛文9年 (1669)	25.9×31.0	堺市博物館
45		全期		神戸海岸通風景 (The Bund Kobe) C. B. バーナード	明治11年 (1878)	26.5×39.4	神戸市立博物館
五の景 近現代そして未来							
46		全期		讃岐國四寫燈臺 阿波國 鳴門干汐図 堀和平	明治時代	21.3×141.2	倉敷市立美術館
47		全期		富士遠望・寒霞溪図 富岡 鉄斎	明治38年 (1905)	154.7×359.6	京都国立近代美術館
48		全期		海島 小野竹喬	大正9年 (1920)	172.0×190.0	笠岡市立竹喬美術館
49		全期		冬日帖 小野竹喬	昭和3年 (1928)	各37.5×45.5	京都市美術館
50		全期		内海春色 野添平米	昭和9年 (1934)	95.5×223.0	京都市美術館
51		全期		津田の松原 平山郁夫	昭和63年 (1988)	40.0×80.0	香川県立ミュージアム
52		全期		牛 吉田博	明治43年 (1910)	66.5×99.0	高松松平家歴史資料
53		全期		寒霞溪四望眺より 中川 八郎	大正5年 (1916)	45.6×37.8	愛媛県美術館
54		全期		談古嶺より北を望む 小 林萬吾	昭和時代	21.0×27.0	高松松平家歴史資料
55		全期		女木島より直島方面を望 む 山下新太郎	昭和9年 (1934)	46.0×54.0	ひろしま美術館
56		全期		五剣山の日の出 藤島武 二	昭和7年 (1932)	37.8×45.3	香川県立ミュージアム
57		全期		神戸港の朝陽 藤島武二	昭和10年 (1935)	49.0×59.5	京都市美術館
58		全期		雪の神戸港 池田遥邨	昭和22年 (1947)	176.0×107.0	神戸市立博物館
59		全期		来島水道仲渡島附近 野 間仁根	昭和42年 (1967)	72.7×91.0	愛媛県美術館
60		全期		尾道水道の印象 中村琢 二	昭和53年 (1978)	69.9×162.4	尾道市立美術館
61		全期		オリーブ樹 佐竹徳	昭和時代	112.0×145.5	岡山県立美術館
62		全期	重要有形民俗 文化財	金生丸海難絵馬	昭和12年 (1937)	48.0×62.0	金刀比羅宮
27	5	全期		玉島風景図巻 巻四 中 原甕塘	昭和30年 (1955)	28.0×508.5	倉敷市立玉島図書館
63		全期		倒壊(下絵) 西田真人	平成7年 (1995)	73.1×96.9	神戸ゆかりの美術館
64		全期		国立公園豊島鳥瞰図 寺本左近	昭和24年 (1949)	36.0×115.0	土庄町教育委員会

65	全期		倉敷金刀比羅圖 山口晃	平成 17 年 (2005)	120.0×150.0	大原美術館
66	全期		ORTHODOX OCTOPUS ジョナサン・ハマー	2014年	58.0×69.5	丸川コレクション
67	全期		ORTHODOX OCTOPUS ジョナサン・ハマー	2020年	117.0×143.0	丸川コレクション
68	全期		ユメミルカガワ 香川県立高松工芸高等学 校美術科生徒	令和 4 年 (2022)	170.3×641.6	

第 86 回 香川県美術展覧会

香川県美術展覧会 第86回

アート県かがわの美術展です。広く作品を募集します！

会期
第1期 香川(休会期)全県写実
令和4年6月28日(火)~7月4日(日)
第2期 全県
令和4年7月8日(金)~7月14日(木)
第3期 筆写
令和4年7月18日(月)~20日(水)
会場 香川県立ミュージアム
出品種別
絵画
彫刻(立体表現)
工芸/書/写真
作品募集人
【第1期】
香川美術協会
令和4年6月10日(金)
【第2期】
全県美術協会
令和4年6月11日(土)
【第3期】
香川美術協会
令和4年6月12日(日)
会場 香川県立ミュージアム
受付 10:00~17:00
〒760-0001 香川県高松市丸の内1-1-1
TEL:087-822-0001 FAX:087-822-0002
http://www.pref.kagawa.jp/museum/



展示作品数

部門	入選数 (応募数)	無鑑 査	審 査 員	遺 作	展示 作品数
絵画	121 (203)	2	0	1	124
彫刻 (立体表現)	11 (18)	1	2	0	14
工芸	28 (48)	0	4	0	32
書	173 (386)	1	4	0	181
写真	141 (240)	1	3	3	144
合計	474 (895)	5	12	4	495

第 69 回 日本伝統工芸展

日本伝統工芸展

令和5年1/2(月・休) 16日 会場中興館

日本が誇る伝統の技と美

香川県立ミュージアム

TEL:087-822-0001 FAX:087-822-0002
http://www.pref.kagawa.jp/museum/



展示作品数

種別	展示作品数	種別	展示作品数
陶芸	34	木竹工	18
染織	17	人形	11
漆芸	78	諸工芸	22
金工	20	合計	200

④ロビー展示

エントランスのにぎわい作りや作品鑑賞の機会拡大のため、ロビーでの展示を実施した。

	期間	展示内容など	場所
1	通年	イサム・ノグチコーナー	1階図書コーナー
2	通年	ミュージアム・コレクション(剣持勇のデザイン)	1階図書コーナー・多目的室
3	5.10(火) ～5.28(土)	香川県立ミュージアム活用研究会実践報告展「香川の魅力×高松松平家博物図譜」	1階ロビー
4	9.6(火) ～10.23(日)	かがわ文化芸術祭 2022 ポスター原画展	1階ロビー
5	11.29(火) ～12.24(土)	香川県障害者芸術祭 2022 巡回展	1階ロビー
6	R5.1.2(月・祝) ～16(月)	「いま・ここにある「風流踊」を生きる—讃岐の風流踊の“これまで”と“これから”—」	1階ロビー
7	R5.1.2(月・祝) ～29(日)	オニノコプロジェクト 2023 しみる・そまる—願いをつなぐ、讃岐のり染—展	2階ロビー

⑤展示案内(委託業務)

展示室での来館者の誘導、展示資料の保守管理、展示見学補助や体験学習室(1階)での時代衣装の着付け、各種器具の保守管理、図書コーナー・ビデオライブラリーでの利用受付などを業務委託して実施している。令和4年度は、新型コロナウイルス感染防止対策として、体験学習室の利用は休止した。ただし、ビデオライブラリーは9月27日(火)より利用を再開した。なお、展示見学補助の主な内容は、各コーナーでの来館者の質問への対応であるが、業務マニュアルにはない専門的な質問については学芸員に連絡をとり対応する体制をとっている。業務日報は毎開館日の業務終了時に学芸課へ提出され、内容に応じて各担当へ報告される。

⑥音声ガイドシステム

歴史展示に関する33項目について、日本語、英語、中国語、韓国語の解説を聞くことができるポータブルROMプレーヤー10台を、歴史展示室入口で貸し出している(無料)。令和4年度は新型コロナウイルス感染症対策として利用を休止していたが、9月27日(火)より利用を

再開した。

⑦貸館事業

特別展示を行っていない期間に、2団体が特別展示室を利用して展覧会を開催した。総入場者数は、1,544人であった。

展覧会名	主催者	会期	観覧者数
第53回青龍書展	青龍書道会	R5.2.9(木) ～12(日)	1,227人
新協第65回香川記念巡回展	新協美術会	R5.3.8(水) ～12(日)	317人

(2)館外展示

当館の美術作品をより多くの県民に鑑賞してもらうため、県内の各地域と連携し、図書館・資料館等の展示スペースを活用して紹介している。

①市町等共同企画展示

東かがわ市との共催により、10月22日(土)から12月5日(月)までの42日間、東かがわ市歴史民俗資料館において「絵画で巡る瀬戸内の風景・町並み」と題して展覧会を開催した。当館収蔵の瀬戸内が描かれた絵画6点と東かがわ市歴史民俗資料館収蔵の絵葉書をはじめ12点を展示し、229人の観覧者があった。

(3)企画・広報

①広報活動

当館の認知度向上を目標とし、広報活動を「館の活動全般への理解を、広く県内外の方々から得るための活動」と位置づけて展開した。

i) 報道機関等への情報提供

展示事業、地域連携事業だけではなく、調査研究事業の成果や、ボランティア活動など、当館の活動全般について報道機関へ積極的に情報を提供し、新聞・テレビ・ラジオ・雑誌などの取材や問い合わせに対応した。主な情報提供については以下の通り。

- ・ 広聴広報課を通しての情報発信
 広報誌『THE かがわ』内「みんなの便利帳」
 ラジオ「RNC 西日本放送「ようこそ知事室へ」」
- ・ 報道機関への情報提供
 県政記者室への情報提供
- ・ インターネットでの発信
 「香川県HP」
- ・ 新聞・出版物への原稿執筆
 四国新聞「ディーブ KAGAWA」(毎週金曜日掲載)
 百十四経済研究所『調査月報』に展示・収蔵品紹介
- ・ 地元ミニコミ誌、観光案内誌などへの情報提供

ii) 広報資料の発送

当館の活動を紹介する刊行物を発行した。

特別展開催前等の時期に、県内の関連機関、学校、公民館、観光施設や、県外の博物館・美術館などを中心に、展覧会をはじめとする館の活動を紹介する宣材を発送した（令和4年度は、年6回）。発送する内容によっては、特定の広報先を設定し、効果的な広報を目指した。主な送付資料は次のとおり。

- ・年間スケジュール
- ・ミュージアム NEWS
- ・特別展などのポスター・チラシ

iii) 有料広報の展開

特別展について、以下の有料広報を行い、情報発信に努めた。

- ・新聞広告
特別展「戦後デザイン運動の原点—デザインコミッティーの人々とその軌跡」(四国新聞全5段の1/3)
特別展「風景が物語る瀬戸内のカー自然・歴史・人の共鳴—」(四国新聞全5段の1/5、半7段の計2回)
- ・デジタルサイネージ
特別展「戦後デザイン運動の原点—デザインコミッティーの人々とその軌跡」、特別展「風景が物語る瀬戸内のカー自然・歴史・人の共鳴—」(琴電瓦町駅構内)
- ・フリーペーパー
特別展「風景が物語る瀬戸内のカー自然・歴史・人の共鳴—」(テイクアート四国1ページ)
- ・地域情報雑誌
特別展「空海—史上最強、讃岐に舞い降りた不滅の巨人」(ナスタウン4月号2/5ページ)
- ・Web サイト
特別展「戦後デザイン運動の原点—デザインコミッティーの人々とその軌跡」(アートスケープ)
- ・パンフレットラック設置
当館発行の印刷物を配架(JR高松駅)

iv) WEB 等による発信

令和2年12月の香川県ホームページリニューアルの機に県立ミュージアムのホームページもその中に統合され、デザイン等も更新されて新たなホームページの運用が始まった。県政記者室への情報提供などとタイミングを合わせて情報発信した。令和4年度のホームページトップページへのアクセス数合計は159,759件であった。アクセス数は前年度(138,144件)を上回り、過去10年においても最高アクセス数であった。

また、SNSを活用した情報発信を行うため、Twitter、Facebook、YouTubeを活用し、展覧会情報、イベント情報を発信した。

② パスポート事業

平成22年度より、パスポート事業を開始している。現

在の会員に対し更新の案内をするとともに、新規会員獲得のための広報を積極的に行った。

平成29年度からは、特別展の観覧料について、2回目以降半額、同伴者1名も半額にするなど、パスポート購入者への特典を充実させ、さらに販売を促進するとともに、館の利用促進を図った。

また、平成29年度から法人特別展観覧券を新設し、県内の法人に広く周知して販売を促進した。

- i) 個人パスポート(会員数は令和5年3月31日現在)
サービス内容
 - ・歴史展示室と常設展示室(一般観覧料410円)を無料で観覧できる。
 - ・当館主催の特別展を1回目は無料で、2回目以降は半額で観覧できる(高校生以下、65歳以上、身体障害者手帳をお持ちの方は、いずれも無料)。
 - ・同伴者1人は半額。
 - ・講演会、学芸講座、ワークショップ等の参加でポイント進呈。
 - *10ポイントで記念品贈呈
 - ・会員限定のミュージアムトークに案内
 - ・当館広報誌、特別展・イベントの案内などを送付する(令和4年度は、広報誌、特別展・常設展やイベントの紹介など、計7回送付)。

金額	対象	会員数
3,130円	一般	43人
1,040円	高校生以下、65歳以上、 障害者手帳所有者	15人
有効期限	購入日から1年間	

- ii) 法人メンバーズ(会員数は令和5年3月31日現在)
サービス内容
 - ・法人特別展観覧券で従業員とその家族が特別展を無料で観覧できる。特別展観覧日に限り、歴史展示室と常設展示室(一般観覧料410円)を無料で観覧することができる。
 - ・法人メンバーズ証で歴史展示室と常設展示室を無料で観覧できる
 - ・特別展開会式に案内
 - ・特別展覧会図録を進呈
 - ※観覧券の購買冊数に関わらず1法人1冊
 - ・学芸員による特別展展示解説
 - ・学芸員が企業研修等で無料講義
 - ・会員限定のミュージアムトークに案内
 - ・当館広報誌、特別展・イベントの案内などを送付する(令和4年度は、広報誌、特別展・常設展やイベントの紹介など、計7回送付)。

金額	対象	会員数
20,370円 (法人特別展 観覧券1冊30 枚綴り)	従業員を雇用している法人・ 団体、個人事業主、法人等の 従業員及びその家族	1法人
有効期間	購入代金の入金認定日から1年間	

(4) 展覧会企画力向上事業

美術や歴史に関する展覧会の企画に関し、豊富な経験を持つ学識経験者2名をアドバイザーに委嘱し、展覧会の企画や施設の活用等について助言を得て、施設の魅力を高め利用者の増加につながるよう、企画力の向上に努めている。

アドバイザー

布谷知夫（三重県総合博物館 特別顧問）

水沢 勉（神奈川県立近代美術館 館長）

回	月日	内容等	アドバイザー
第1回	10.24(月)	・特別展講評 ・展覧会企画について ・香川県美術展覧会(県展)の改善について	水沢勉
第2回	11.2(水)	・特別展講評 ・展覧会企画について ・地域連携事業について	布谷知夫

夏の特別展「せとうちの大地 美術の視点」の開催にあたり、大岩弘子氏（コミュニケーション・アドバイザー）に依頼して、バーチャル内覧会の実施やアートプロガー等への周知、SNS 広報による成果（動向分析）について指導を受けた（オンライン）。

2 地域連携事業

博物館と学校教育との連携や生涯学習支援等に加え、地域の課題解決のために地域の人々と協働する活動にも積極的に取り組んでいる。

主な活動として、学校団体の案内、館蔵資料をはじめとする館が有する情報を利用した教材開発とその貸出しといった学校教育への支援や、講演会・講座、ボランティア活動等の生涯学習支援、文化財レスキュー計画への参画とそれに伴う地域資料保全に関わる活動等、多彩な事業を行っている。

(1) 学校教育支援事業

①ミュージアム活用研究会

当研究会は当館職員と小・中学校の教員8名で構成されている。学校との実質的な連携を促進し、当館の展示や美術作品、歴史・民俗資料を活用した学習プログラムを充実させることで、児童・生徒の学習に寄与することを目的に活動している。

令和4年度は、8月4日(木)に第1回の歴史部会と美工部会を、令和5年1月4日(水)に第2回の美工部会、1月6日(金)に第2回の歴史部会を、それぞれ開催した。

なお、美工部会の取り組みを紹介することを目的に、活用研究会実践報告展「香川の魅力×高松松平家博物図譜」を5月10日(火)～5月28日(土)に開催した。

部会名	研究テーマ
歴史部会	「HPをリニューアル!～使いたいと思える指導事例公開～」 ・貸出教材を利用した学習
美工部会	「所蔵品等を題材とした学習教材の開発」 ・高松松平家博物図譜(「衆鱗図」他)を題材とした学習 ・香川県庁舎東館を題材とした学習

②教員向けの講座(ティーチャーズプログラム)

館蔵資料・作品を教材として活用することを目的とした、教員対象の専門研修(歴史資料活用講座・美術鑑賞講座)。令和4年度は8月4日(木)に実施した。

美術教材活用講座	・貸出教材「アートカード」の体験 ・ミュージアムを活用した授業実践の紹介
歴史教材活用講座	・「先生向けの歴史展示室ツアー～原始～」 ・貸出教材「高松城下図屏風」、「丸亀藩の参勤交代」の紹介

③館蔵資料・作品の複製教材の制作、貸出

歴史資料の複製教材と、美術作品鑑賞学習教材を希望する学校に貸出した。また、県立高松高等学校通信制生徒の来館に際し、アートカードを用いて特別授業を行った(令和2年度より実施)。

<教材リスト>

教材名	原資料
「城下町」学習教材 ・8分割シート ・14分割パズル	県指定有形文化財「高松城下図屏風」(高松松平家歴史資料)
「坂出壘田図」学習教材	「坂出壘田之図」
「信長・秀吉・家康と讃岐」学習教材	丸亀市塩飽勤番所蔵 「織田信長・豊臣秀吉・徳川家康朱印状」
「丸亀藩の参勤交代」学習教材	丸亀市山北八幡神社蔵 「山北神社奉納京極侯参勤交代御船絵馬」
「イサム・ノグチ物語」	(制作物)
アートカード	館蔵美術工芸作品
漆工芸見本	館蔵備品
石臼	館蔵備品

<貸出状況>

○「城下町」学習教材

期間	学校名	学年	利用者数
5.21(土)～5.28(土)	県立高松東高等学校	3	26人
11.6(日)～11.13(日)	丸亀市立城坤小学校	6	111人

○「丸亀藩の参勤交代」学習教材

期間	学校名	学年	利用者数
9.10(土)～10.10(月・祝)	さぬき市立寒川小学校	6	22人
9.28(水)～10.20(木)	普通寺市立東中学校	2	133人
11.6(日)～11.13(日)	丸亀市立城坤小学校	6	111人

○アートカード

期間	学校名	学年	利用者数
5.22(日)	県立高松高等学校(通信制)	1～3	14人
6.11(土)～7.18(月・祝)	綾川町立昭和小学校	1～3	47人
R5.1.28(土)～2.11(土・祝)	三豊市立山本小学校	5	41人

○イサム・ノグチものがたり

期間	学校名	学年	利用者数
10.16(日)～11.6(日)	高松市立古高松中学校	1	177人
12.8(木)～12.19(月)	県立中部養護学校高等部	1	15人

④学校への広報

当館で可能な校外学習、教材貸出、出前授業等を紹介した学校向けのパンフレットを3月末までに作成し、県内の各小中学校及び特別支援学校(小学部、中学部)に送付した。



⑤校外学習等への協力

各学校の校外学習等を積極的に受け入れ、児童・生徒の歴史・美術学習を支援している。令和4年度は、新型コロナウイルス感染拡大を理由とした校外学習のキャンセルはなかった。そのため、学校団体の見学人数は2,474人と令和3年度見学人数(1,779人)を上回った。

小学校については3・5・6年生の来館が多く、歴史学習をはじめ、公共施設の役割・設備の学習を目的とした来館も見受けられた。県外への修学旅行を再開した学校の来館はなかった。

中学校については校外学習としての来館はなかった。しかし、「かがわ未来のアーティスト育成事業」の一環として、本事業に参加した中学校美術部の一部が、「しみる・そまる一顧いをつなぐ、讃岐のり染」の見学や関連行事「オニノコの日」(ワークショップ)の実施のため来館した。

高等学校については、県外の高校生が修学旅行として来館するケースが増加した。

一方、大学の視察や展示見学については、学芸員資格取得、小学校教諭免許の取得、観光業への就職を目標とした学生が来館した。

学校団体利用一覧

校種		学校団体名		月日
小学校 26校 1,579人	1	高松市立下笠居小学校6年1組	22人	4.26(火)
	2	高松市立下笠居小学校6年2組	21人	4.27(水)
	3	高松市立香南小学校6年生	74人	4.28(木)
	4	高松市立亀阜小学校6年生	90人	5.2(月)
	5	高松市立高松第一小学校6年生	100人	5.6(金)
	6	高松市立新番丁小学校6年生	138人	5.10(火)
	7	高松市立浅野小学校6年生	65人	5.17(火)
	8	高松市立木太小学校6年生	76人	5.31(火)
	9	高松市立新番丁小学3年生	35人	6.17(金)
	10	高松市立弦打小学校6年生	95人	6.24(金)
	11	多度津町立白方小学校6年生	15人	7.14(木)
	12	三豊市立下高瀬小学校5年生	40人	9.28(水)
	13	坂出市立加茂小学校6年生	43人	9.29(木)
	14	丸亀市立飯野小学校3年	53人	9.30(金)
	15	さぬき市立寒川小学校5年生	42人	10.14(金)
	16	高松市立林小学校5年生	161人	10.14(金)
	17	さぬき市立さぬき南小学校5年生	42人	10.18(火)

	18	さぬき市立造田小学校5年生	31人	10.19(水)
	19	三豊市立山本小学校5年生	45人	10.21(金)
中学校 10校 162人	20	さぬき市立長尾小学校3年生	85人	10.26(水)
	21	丸亀市立郡家小学校5年生	129人	10.28(金)
	22	三木町立白山小学校4年生	46人	10.28(金)
	23	東かがわ市立白鳥小学校5年生	59人	11.9(水)
	24	坂出市立府中小学校5年生	17人	11.11(金)
	25	観音寺市立高室小学校5・6年生	42人	11.16(水)
	26	坂出市立西庄小学校6年生	13人	11.17(木)
		1	学校組合立三豊中学校美術部	12人
	2	高松市立紫雲中学校美術部	31人	1.7(土)
	3	東かがわ市立白鳥中学校美術部	7人	1.7(土)
	4	香川大学教育学部附属高松中学校美術部	11人	1.8(日)
	5	高松市立国分寺中学校美術部	27人	1.8(日)
	6	東かがわ市立大川中学校美術部	10人	1.14(土)
	7	三木町立三木中学校美術部	23人	1.14(土)
	8	さぬき市立さぬき南中学校美術部	6人	1.14(土)
	9	小豆島町立小豆島中学校美術部	17人	1.15(日)
	10	さぬき市立長尾中学校美術部	18人	1.15(日)
高等学校 13校 594人	1	県立高松工芸高等学校美術科1~3年生	78人	4.19(火)
	2	県立高松工芸高等学校デザイン科3年生	28人	4.26(火)
	3	県立高松高等学校 通信制課程	23人	5.22(日)
	4	県立高松工芸高等学校デザイン科1年生	30人	7.19(火)
	5	県立高松工芸高等学校美術科2年生	23人	7.19(火)
	6	県立高松工芸高等学校美術科3年生	19人	7.20(水)
	7	県立高松工芸高等学校デザイン科1年生	26人	9.2(金)
	8	県立高松工芸高等学校美術科1年生	24人	9.27(火)
	9	県立高松工芸高等学校美術科3年生	24人	10.4(火)
	10	本郷高等学校2年生①	128人	10.19(水)
	11	本郷高等学校2年生②	124人	10.21(金)
	12	若溪学園高等学校2年生	46人	10.21(金)
	13	穴吹学園高等学校1~3年生	21人	11.2(水)
特別支援学校 4校 70人	1	丸亀養護学校中学部2年生	26人	9.28(水)
	2	中部養護学校高学部1年生	14人	11.2(水)
	3	善通寺養護学校小学部6年生	5人	11.22(火)
	4	丸亀養護学校小学部6年生	25人	R5.2.2(木)
大学等 4校 69人	1	徳島文理大学 文学部	20人	5.14(土)
	2	徳島文理大学 文学部	22人	8.24(水)
	3	せとうち観光専門職短期大学	10人	10.13(木)
	4	高松大学 発達科学部	17人	12.10(土)

⑥職場体験学習・インターンシップへの協力

令和4年度の職場体験学習の受け入れは5校17名だった。

月日	学校	内容
7.5(火)・8(金)	香川県立高松工芸高等学校 デザイン科 5名	展示見学、展示補助、展示 解説動画製作
8.5(金)・6(土) ・9(火)～11(木) ・13(土)・14(日) ・16～21(日)・ 23(火)～25(木) ・28(日)、9.3(土)	高松短期大学秘書科 3名	行事・受付の補助
9.8(木)・9(金)	三木町立三木中学校 3名	館内見学・展示解説動画製 作等
10.5(水)・6(木)	高松市立玉藻中学校 1名	館内見学・展示解説動画製 作等
10.26(水) ・27(木)	香川県立高松北中学校 2名	館内見学・展示解説動画製 作等
12.8(木)・9(金)	高松市立桜町中学校 3名	館内見学・展示解説動画製 作等

⑦大学との連携

i) 館内見学等受入

月日	大学	種別	人数	備考
5.14(土)	徳島文理大学 文学部	学芸員資格単位取得	20人	再掲
8.24(水)	徳島文理大学 文学部	学芸員資格単位取得	22人	再掲
10.13(木)	せとうち観光専門職短 期大学		10人	再掲
12.10(土)	高松大学 発達科学部	小学校教諭免許単位 取得	17人	再掲

ii) 館外講師派遣

月日	大学	テーマ	派遣職員	備考
6.16(木)	香川県立保健医療大学	満濃池につ いて	川邊優佑	
7.11(月) ～15(金)	四国学院大学	博物館資料 保存論	高木敬子 鹿間里奈 川邊優佑 黛友明	博物館学

⑧博物館実習

当館では、学芸員資格の取得課程の一環として、大学からの依頼により実習生を受け入れている。令和4年度は、10人の実習生を受け入れた。

実習は8月23日(火)～27日(土)の期間で実施した。

<実習生の大学別内訳>

愛媛大学2人、京都府立大学1人、同志社女子大学1人、京

都女子大学3人、広島大学1人、奈良大学1人、神戸女子大学1人

実習日程

月日	実習内容
8.23(火)	館内あいさつ、実習について、展示見学、ミュージアムの機能とバックヤード見学、展示資料プレゼンテーションの説明・準備①
8.24(水)	県立ミュージアムの仕事、講義(企画・地域連携・収集管理)・質疑応答、展示企画について、展示資料プレゼンテーションの準備②
8.25(木)	特別展「せとうちの大地」展示見学、ワークショップについて、資料整理①
8.26(金)	資料整理②、展示資料プレゼンテーション準備③
8.27(土)	展示資料プレゼンテーション準備④、展示資料プレゼンテーション、講評、実習の感想共有

⑨その他の学校等との連携

i) 出前授業等

令和4年度は、4校において出前授業を実施した。

月日	学校名・学年	人数	テーマ
5.26(木)			博物館を考えよう
6.2(木)	香川大学教育学部	各回	～博物館譜を使った作品の展 示をとおして～
6.6(月)	附属坂出中学校	35人	
6.9(木)			
7.13(水)	県立高松西高等学校	20人	課題探究学習についての指 導・助言
10.26(水)		24人	
10.27(木)	高松市立木太小学校	72人	中野武富
11.8(火)	香川大学教育学部	各回	つまみ人形の制作
11.15(火)	附属高松小学校	35人	
R5.2.17 (金)	県立高松西高等学校	45人	展覧会ができるまでの準備、資 料収集方法、展示方法について

ii) 香川県中学校美術教育研究会との連携

香川県中学校美術教育研究会との共同主催でオニノコプロジェクト2022「しみる・そまるー願いをつなぐ、讃岐のり染」を実施した。学習成果物の展示は下記のとおり。また、令和5年3月25日(土)に行われた「風流まいまいフェスタ」では会場を飾るインスタレーションとして展示した。

日程・参加校数	行事内容	会場
R5.1.2(月・祝)～29(日) 県内22校3,348人	香川の魅力を伝えるオニノ コプロジェクト2022「し みる・そまるー願いをつなぐ、 讃岐のり染」展	1F～3F エントラ ンス吹き抜け

iii) 香川県立高松工芸高等学校との連携

令和4年度特別展「風景が物語る瀬戸内の力ー自然・歴史・人の共鳴ー」では、高松工芸高等学校美術科に協力を依頼し、高校生が考えるこれからの瀬戸内をテーマに作品「ユメミル

カガワ」を制作し展示した。

iv) 香川県立高松高等学校通信制との連携

高松高等学校通信制の生徒を対象に、当館職員がファシリテーター役となり、アートカードを使ったレクリエーションを実施した（5月22日(日)実施）。

⑩体験学習室

体験学習室では、近年見かけることが少なくなった伝統的な玩具が用意され、昔の遊びを体験できる。また、十二単や甲冑の試着ができるコーナーもある。ただし令和4年度は、新型コロナウイルス感染症対策として利用を休止した。

体験学習室備品一覧

衣装	十二単	桧扇	
	甲冑	弓	
	貫頭衣	古墳時代の甲冑（厚紙製）	
遊具	盤双六	絵双六	
	けん玉	ヨーヨー	
	お手玉	投扇興	
	将棋	囲碁	
	こま	力士ごま	かわりごま
	ベーゴマ	ベーゴマ台	コマまわし台
	めんこ	ビー玉	おはじき
	トントンずもう	だるま落とし	
	かるた	百人一首	貝合わせ
	土器パズル	絵パズル	組み木パズル
	むかしばなし	紙芝居用舞台	
楽器	篠笛	龍笛	能管
	ひちりき	尺八	神楽鈴
	拍子木	小鼓	カンカン石
帽子	折烏帽子	張貫立烏帽子	御冠
その他	姿見	源内のぞきめがね	
	千両箱	箱枕	箱膳
	張子の虎	奉公さん	高松張子
	みとり（綿繰り機）	獅子頭	竹製水鉄砲
	昔遊びの本	十二支パズル	
	香川県のパズル	香川県を探せパズル	
	マナーフィッシュ		

⑪図書コーナー

図書コーナーは、体験学習室に隣接して設置している。約4,000冊の蔵書（歴史、民俗、美術に関係するもの）を常備し、利用者が自由に閲覧できる。令和4年度は、新たに図鑑や一般書、児童書等29冊を配架した。

⑫ビデオライブラリー

3階歴史展示室内の詳細映像や、香川県の民俗行事の映像（下記一覧表参照）を自由に選べるタッチパネル操作のモニター画面を設置している。

また、314本のビデオテープを常備し、来館者は希望すれば映像を閲覧できる。令和4年度は当初、新型コロナウイルス感染症対策として利用を休止していたが、9月27日（火）より利用を再開している。

<ビデオライブラリー制作番組一覧>

ジャンル	考古	発掘調査に挑戦 銅鑼絵画の世界 瀬戸内海の2万年 讃岐の古代遺跡
	歴史	讃岐の古代仏教 若き日の弘法大師空海 菅原道真と讃岐 悲劇の上皇崇徳院 志度の玉取り伝説 水主神社の経函 中世の埋納銭 ヤジさんキタさん金 毘羅へいく 江戸の科学 寛延の百姓一揆 讃岐三白 香川の近代塩業 戦後の公営住宅 汽車が電車が香川を走る 坂出・宇多津変りゆく郷土 香川の近代建築1・2
	美術	香川の国宝 讃岐のみほとけ
	民俗	肥土山農村歌舞伎 安田おどり 坂本念仏踊 滝宮の念仏踊り～雨乞奉納～～常例奉納～ 櫃石ももて祭 北条念仏踊 綾南の親子獅子舞 庵治締太鼓 祇園座 勅使本村の獅子舞 直島女文案 虎頭の舞 尺経獅子舞 南川太鼓 家浦二頭獅子舞 生里ももて祭 賀茂神社長床神事 さいさい踊 田野々雨乞踊 吉津夫婦獅子舞 和田雨乞踊 綾子踊 神野神社湯立神事（神楽） 蹴鞠 木熊野神社特殊神事 シカシカ踊り 垂水神社湯立神事（神楽） 南鴨念仏踊 弘法大師信仰 讃岐雨乞物語
香川県全域	水とくらし	

(2) 地域連携活動

①職員の講師等の派遣

月日	派遣職員	テーマ・内容	主催	参加者数
6.4(土)	黛友明	高松市讃岐国分寺跡資料館友の会	高松市讃岐国分寺跡資料館友の会	27人
6.8(水)	御厨義道	しんとみ発見学びフロンティア塾「大名の序列」	新富町教育委員会（宮崎県児湯郡）	36人
6.19(日)	御厨義道	リレー・シンポ 讃岐のエジソン 久米通賢	公益財団法人山陽放送 学術文化・スポーツ振興財団	80人
7.8(金)	三好賢子	近世讃岐の丈六仏 総本山善通寺の本尊 木造薬師如来坐像について	大野原中央公民館	32人

7.13 (水)	高木理光	課題探究学習について、テーマ、問い、夏休み中の活動計画について指導・助言。	香川県立高松西高等学校 教育研究部	20人
8.20 (日)	御厨義道	高松城下町について	高松田町商店街振興組合	10人
8.28 (日)	野村美紀	リレー・シンポジウムから見た大久保 謙之丞	公益財団法人山陽放送 学術文化・スポーツ振興財団	80人
9.12 (月)	櫻木拓	愛鳥週間ポスター原画コンクール	香川県環境森林部みどり保全課野生生物グループ	5人
9.15 (木)	櫻木拓	「家庭の日」ポスター	香川県・青少年育成香川県民会議	7人
10.13 (木)	三好賢子	弘法大師空海の生涯と事績〜とくに入唐前後を中心に	公益社団法人香川県観光協会	66人
10.26 (水)	高木理光	生徒がひとりひとり考えてきた課題探究学習テーマについて指導・助言。	香川県立高松西高等学校 教育研究部	24人
10.26 (水)	田口慶太	秋山泰計の帯からくり研究	穴吹デザインカレッジ	20人
11.3 (木・祝)	御厨義道	日本刀の楽しみ方	柳川市史編さん委員会	40人
12.3 (土)	高木理光	香川県の映画館について	さぬき市教育委員会事務局 生涯学習課	10人
12.20 (火)	御厨義道	時と暦のものがたり	丸亀市蓬萊歴史研究会	25人
12.26 (月)	古野徳久	馬が鼻狼煙場跡近辺の遺跡調査	さぬき市教育委員会	-
R5.1.5 (木)	御厨義道	讃岐の大名	かかや健康福祉機構長寿社会部	102人
1.6 (金)	御厨義道	讃岐の大名	かかや健康福祉機構長寿社会部	28人
1.7 (土)	川邊優佑	讃岐のため池について	さぬき市教育委員会事務局 生涯学習課	10人
1.29 (日)	御厨義道	久米通賢について	東京理科大学校友会	19人
1.26 (木)	田口慶太	秋山泰計の帯からくり研究	香川県漆芸研究所	9人
2.17 (金)	高木理光	展覧会ができるまでの準備、資料収集方法、展示方法について。	香川県立高松西高等学校 教育研究部	45人
2.25 (土)	古野徳久	前田東・中村遺跡を中心とした三木町北部の歴史	三木町教育委員会・三木町文化財保護協会	30人
3.1 (水)	三好賢子	龍燈院の十一面観音	綾川町立滝宮公民館	93人

		立像について		
--	--	--------	--	--

②地域資料調査

平成30年度より県文化芸術振興計画が新しく策定され、あわせて当館の中期活動計画も改訂された。文化芸術振興計画中の「文化財や文化遺産の整備保存と積極的な活用」、中期活動計画の「地域の文化資源の掘り起こし・磨き上げ・活用」に沿った活動として以下の活動を実施した。

新型コロナウイルス感染症の影響および瀬戸内国際芸術祭秋会期の会場としての使用により、不定期かつ実施回数が少なくなったが、地域資料の所在把握調査のモデル地区とした多度津町において、有志によって行われている旧合田家住宅（以下「合田邸」）における所在資料の整理作業や活用に関し、当館職員も協力した。邸内の2階物置に収納されている生活道具等の概要把握を実施した。合田邸のあゆみを示す資料群としての活用に向けた活動である。建物の耐久性の問題があるため、邸内での調査活動が大きく制限されることになり、従来の調査方法の見直しが必要となっている。また、合田邸が所在する本町地区について重要伝統的建造物群保存地区の指定に向けた活動が活発化しており、地区における中心的な建造物となる合田邸の資料調査の意義は高まっている。

令和2年度から取り組んでいる、観音寺市の常磐地区（旧植田村近辺）に残る旧家資料の整理・調査を地域住民とともにに行った。対象となる旧家は、植田村庄屋や大庄屋を務めた家であり、近代以降も地主として地域に影響を持った。屋敷は解体され、敷地の一部はコミュニティセンターとして利用されているが、蔵とその横に建てられた2階建てのプレハブ建物に、書画・什器・文書記録資料が収納されている。具体的な活動は、不定期ながら、館職員（1～3名）が現地に赴き、資料整理・調査を行うというものである。段ボール箱や木箱などに収納された状態であることから、収納容器ごとの概要を把握した。本年度は、さらに今後の調査に向けて、経過を地域の参加者と共有するため、6月に什器類の概要および文書記録資料の概要についての説明会を開催した。

③ボランティア

令和4年度のボランティア登録人数は、10名の新規応募を含め82名（うち活動休止8名）であった。

ボランティアは、解説、ギャラリートーク、普及、資料整理、高校生、分館の5つのグループに分かれて活動している。他のグループへの異動や複数グループへの登録も可能で、グループ別の活動のほか、全グループが参加できる活動も行っている。

令和4年度は、引き続き、新型コロナウイルス感染症対策として、全体および各グループで縮小した活動内容であった。展示室での解説とギャラリートークは年間を通して休止した。ワークショップや資料整理は対策を取った上で開催したり、作業を実施した。

○各グループの活動

※複数グループの登録者がいるため、合計数が登録実人数より多くなっている（各グループの人数は休止者数を除く）。

<解説グループ> 13名

3階歴史展示室にて、毎週土曜日および特別展会期中の土・日曜日の13時30分～16時に、希望者を対象に展示解説を実施してきたが、令和4年度は休止した。

毎月1回、第4土曜日を中心に定例会を開き、活動状況などに関する情報交換を行うとともに、グループ員が持ち回りで興味関心をもったテーマについて研究報告する勉強会を実施し、県内の歴史や民俗等に関する知識を深めた。

<ギャラリートークグループ> 12名

2階常設展示室にて、日曜日の11時～12時に、美術に関する展覧会の展示内容紹介（ギャラリートーク）を、また、特別展「日本伝統工芸展」での展示品解説を実施してきたが、令和4年度は休止した。

毎月1回、第2土曜日に定例会を開催し、活動計画や活動状況報告、勉強会等を行った。

<普及グループ> 15名

本年度は3つのワークショップを企画・実施した。（※詳細は(3)普及活動の項を参照）

また、平成17年からミュージアムが実施する調査の一環として、あらかじめ定めた地点で継続的に写真撮影を行い、景観の変化等を記録し資料化する定点観測を実施している。本年の調査はミュージアム職員とともに11月19日（土）に実施した。

なお、これらの活動を企画・運営するために毎月1回、第3日曜日に定例会を開催し、行事に向けての準備、打ち合わせや館外研修（屋島）を行った。

<資料整理グループ> 15名

毎月2回の定例活動日（第1日曜日・第3土曜日）に次のような作業を行った。

全国から送付される博物館・美術館の展覧会チラシや寄贈図書等の整理、発送刊行物の封入作業補助、図書コーナーの図書確認等。整理された展覧会チラシは都道府県別にファイリングし、来館者が閲覧できるように整理して2階ロビーに設置した。

<高校生グループ> 8名

高校生の新規応募が多かったことから、令和3年度より高校生グループを設置している。歴史と美術の2班に分かれて活動を行い、両班とも小学生対象のワークショップを企画し、実施した。（※詳細は(3)普及活動の項を参照）

<分館グループ> 35名

活動内容の詳細は、分館 瀬戸内海歴史民俗資料館 2地域連携学習支援事業（p.52）に掲載。

④香川県資料館協議会

香川県資料館協議会は、当館に事務局を置き、県内市町等

の資料館・博物館の職員の資質向上のための研修や、情報交換をはじめ、展示企画・教育普及・調査研究・資料管理にかかる加盟館相互の交流を図るため、年2回の会議・研修等を実施している。令和4年度末現在、加盟館は42館。令和4年度事業は以下のとおり。

①第1回会議

月日：令和4年5月19日（木）

場所：県立ミュージアム

参加館：20館

議事：令和2・3年度事業報告、令和4年度事業計画、各館情報・意見交換、その他

研修：「資料の取り扱い（3）—資料の取り扱いと梱包—」

（講師：県立ミュージアム 御厨義道）

視察：県立ミュージアム特別展・常設展

②第2回会議

月日：令和4年11月18日（金）

場所：宗吉かわらの里展示館（三豊市三野町吉津甲153-1）

参加館：11館

情報・意見交換会：各館情報・意見交換、その他

視察・研修：宗吉かわらの里展示館

<参考>「香川県資料館協議会会則」

（名称）

第1条 本会は、香川県資料館協議会という。

（組織）

第2条 本会は、香川県内の資料館及びこれに類する施設をもって組織する。

（事務局）

第3条 本会の事務局は、香川県立ミュージアムに置く。

（目的）

第4条 本会は、香川県の資料館事業の普及発達を図り、もって地域文化の発展に寄与することを目的とする。

（事業）

第5条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

①資料館相互の連絡及び情報交換

②資料の調査、収集、保存、展示などに関する協力

③資料館事業に関する研究会、講演会及び講習会などの開催

④その他本会の目的達成に必要な事業

（役員）

第6条 本会に、会長1名及び副会長1名を置く。

2 会長は、香川県立ミュージアム館長の職にある者をもって充てる。

3 会長は、会務を総理する。

4 副会長は、会長があらかじめ指名する。任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、任期満了後、新役員が選

任されるまでは、なお、その職務を行う。役員任期途中において、人事異動その他のやむを得ない事由により退任した場合は、当該役員が所属する施設の後任者をもってその任に充てるものとする。この場合の任期は当該役員が残任期間とする。

5 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代行する。

(会議)

第7条 会議は、会長が招集し、その議長となる。

2 会議は、年2回開催し、別に臨時会を開くことができる。

3 議決を要する事項は、出席会員の過半数で決する。

4 会議を招集するいとまがなく緊急に処理を要する事項は、会長が決する。

(経費)

第8条 事業にともない経費が必要となった場合は、臨時に徴収することがある。

(委任)

第9条 この会則に定めるものの他、本会の運営について必要な事項は、会長が別に定める。

附則

1 本会則は、昭和59年5月22日から実施する。

2 本会則は、平成10年7月30日に一部改正する。

3 本会則は、平成13年4月1日に一部改正する。

4 本会則は、平成14年7月18日に一部改正する。

5 本会則は、平成20年4月1日から施行する。

5 本会則は、平成21年4月1日から施行する。

附則(平成21年4月1日)

上記の規定にかかわらず、平成21年3月31日に監事の職にあるものは、平成21年度決算が承認されるまでその職務を行うこととする。

(3) 普及活動

①ワークショップ

ボランティア普及グループが主体的に企画・運営する一般向けの体験講座を1回実施した。

	月日	ワークショップ名	参加者(申込者)	参加料
1	R5.2.18(土) ・19(日)	県立ミュージアムボランティアと「高松張子をつくろう」	19人 (22人)	600円

②キッズワークショップ

ボランティア(普及グループおよび高校生グループ)が、主体的に企画・運営する小学生向けの体験講座やワークショップを実施した。

普及グループは、7月に「屋島の立体模型」をつくる講座を実施した。夏休み期間ということもあり、多くの申込があった。自由研究の一環として参加する家族もあった。また

11月に「つまみ人形」をつくる講座を実施した。両講座とも、制作体験に加えて、ボランティアの解説を聞き、屋島や張子づくりの歴史についても学ぶことができた。

8月には夏休み子どもミュージアム「夏を学ぼう」及び「絵?ふしぎ」関連イベントとして、バックヤードツアーをはじめ、解説会や資料等を用いた体験学習等を行った。

高校生グループは3月に歴史と美術の2班で企画・実施した。歴史班は3階歴史展示室を利用して、香川に関連する歴史上の人物や史跡などを説明した後、クイズ大会を実施した。美術班は、工作室でオリジナルノート作りの技法を伝えた後、2階常設展示室2「DREAM LAND」を解説鑑賞し、再び工作室にてオリジナルノートを制作した。

	月日	ワークショップ名	参加者(申込者)	参加料
1	7.30(土)	県立ミュージアムボランティアと「屋島の立体模型をつくろう」(普及グループ実施)	16人 (54人)	500円
2	8.10(水)	ミュージアム☆バックヤードツアー	32人 うち保護者 12人 (88人)	無料
3	8.11(木) 8.13(土)	歴史を探検☆1「高松城下をのぞいてみよう」	2人 15人	無料
4	8.11(木) 8.13(土)	歴史を探検☆2「夏を学ぼう!解説会」	5人 3人	無料
5	8.12(金) 8.14(日)	美術を探検★絵?ふしぎ 鑑賞会	17人 10人	無料
6	11.20(日)	県立ミュージアムボランティアと「つまみ人形をつくろう」(普及グループ実施)	5人 (5人)	500円
7	R5.3.21(火・祝)	県立ミュージアム高校生ボランティアとミュージアム教室 鑑賞&体験【歴史】どれだけ知ってる?香川のこと〜クイズ王はだれだ!」	8人	無料
8	3.21(火・祝)	県立ミュージアム高校生ボランティアとミュージアム教室 鑑賞&体験【美術】オリジナルノートを作ってみよう〜」	7人	100円

③特別展等関連行事

新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮しながら各関連行事を実施した。特別展関連では、春・夏・秋の大規模展事業において瀬戸内国際芸術祭会期中の土曜日は夜間開館とし、職員によるナイトトークを実施した。また動画配信は、春・秋の大規模展事業において手話解説動画を製作し、夏季特別展「せとうちの大地」で内覧会の開催を動画配信に替えて初めて実施した。

	日時	行事名	講師等	参加人数
--	----	-----	-----	------

特別展「戦後デザイン運動の原点ーデザインコミッティーの人々とその軌跡」関連				
1	4.10 (日) ①11:00～ ②14:00～	スペシャルトーク	佐藤玲子(川崎 市岡本太郎美 術館学芸員)	①15人 ②21人
2	①4.16 (土) ②4.23 (土) ③4.30 (土) ④5.7 (土) ⑤5.14 (土) ⑥5.21 (土) ⑦5.28 (土) 各日 18:30～ 30分間程度	ナイトトーク	当館職員	①6人 ②18人 ③9人 ④6人 ⑤12人 ⑥7人 ⑦17人
3	4.17 (日) ①10:00 ～12:00 ②13:00 ～15:00	ピンホールカメラで撮影し よう 参加料:400円	当館職員	①7人 ②9人
4	4.29 (金・祝) ～5.5 (木・祝) 9:00～17:00	私たちの好きなデザイン	—	延べ30人
5	①4.29 (金・祝) ②4.30 (土) ③5.1 (日) 各日 10:00～12:00 13:00～16:00	ペーパークラフトでつくる 県庁インテリア 参加料:100円	—	①12人 ②7人 ③5人 ほか材料の み購入 1名
6	①5.3 (火・祝) ②5.4 (水・祝) ③5.5 (木・祝) 各日 10:00～12:00 13:00～16:00	つくろう!ミニチュア・坐 ることを拒否する椅子 参加料:100円	—	①36人 ②36人 ③28人
特別展「せとうちの大地 美術の視点」関連				
1	8.6 (土) 13:30～15:00	ラウンドトーク 1回目	藏本秀彦、南条 嘉毅、水谷一、 宮脇慎太郎	29人
2	8.20 (土) 13:30～15:00	ラウンドトーク 2回目	浅見貴子、得丸 成人、三村昌道、 宮武かおる、矢 野恵利子	32人
3	①8.6 (土) ②8.13 (土) ③8.20 (土) ④8.27 (土) ⑤9.3 (土)	ナイトトーク	①南条嘉毅、 水谷一 ②藏本秀彦、 田口慶太 ③浅見貴子、 宮武かおる	①13人 ②12人 ③13人 ④15人 ⑤45人

			④得丸成人、 矢野恵利子 ⑤矢野恵利子、 三村昌道、 宮脇慎太郎	
特別展「風景が物語る瀬戸内の力 ー自然・歴史・人の共鳴ー」関連				
1	①10.8 (土) ②10.9 (日) ③10.10 (月・ 祝)	ワークショップ「瀬戸内ロ ックバランス」 参加料:100円	—	①12人 ②11人 ③17人
2	10.22 (土) 9:00～12:00	ワークショップ「屋島は物 語る」 参加料:500円	長谷川修一(香 川大学特任教 授・名誉教授)	20人
3	①9.24 (土) ②10.1 (土) ③10.8 (土) ④10.15 (土) ⑤10.22 (土) ⑥10.29 (土) ⑦11.5 (土) 各日 18:30～ 40分程度	ナイトトーク	当館職員	①16人 ②17人 ③21人 ④12人 ⑤14人 ⑥22人 ⑦42人
特別展「第69回 日本伝統工芸展」関連				
1	R5.1.7 (土) ①9:30 ～12:30 ②13:00 ～16:30	ファミリーワークショップ 「うるしにチャレンジ」 (風呂漆) 参加料:1,000円	石原雅員	①22人 ②26人
2	1.8 (日)	スライドトーク (漆芸)	竹内幸司	34人
3	1.14 (土)	スライドトーク (陶芸)	亀田緑光	25人
4	1.15 (日)	スライドトーク (漆芸)	藪内江美	55人

動画配信

	アップ ロード日	タイトル	制作者
特別展「戦後デザイン運動の原点ーデザインコミッティーの人々とその軌跡」関連			
1	R4.3.27 (日)	手話動画 戦後デザイン運動の原点 手話動画①②③	香川県聴覚障 害者福祉セン ター
特別展「第86回 香川県美術展覧会(県展)」関連			
1	6.24 (金)	86回県展鑑審査(絵画)*スマートフォン専用	当館職員
2	6.24 (金)	86回県展鑑審査(彫刻・立体表現)*スマート フォン専用	当館職員
3	6.24 (金)	86回県展鑑審査(工芸)*スマートフォン専用	当館職員
4	6.24 (金)	86回県展鑑審査(書)*スマートフォン専用	当館職員
5	6.24 (金)	86回県展鑑審査(写真)*スマートフォン専用	当館職員

6	6.29 (日)	第86回県展ギャラリートーク【彫刻(立体表現)】解説者：大西康彦、成田浩彰	当館職員
7	6.29 (日)	第86回県展ギャラリートーク【工芸】解説者：北岡省三、齊藤朋子、角田佳武、山下哲二	当館職員
8	6.29 (日)	第86回県展ギャラリートーク【写真】解説者：上原耕作、大津佳子	当館職員
9	7.9 (土)	第86回県展ギャラリートーク【書】解説者：上原華園、岡野幽翠、筒井麗子、東京吐雲	当館職員
10	7.9 (土)	高校生の展示解説！	当館職員
11	7.21 (木)	第86回県展ギャラリートーク【絵画】解説者：古草敦史	当館職員
特別展「せとうちの大気 美術の視点」関連			
1	8.2 (火)	バーチャル内覧会①【せとうちの大気】	当館職員
2	8.3 (水)	バーチャル内覧会②【せとうちの大気】作家コメント	当館職員
3	8.4 (木)	バーチャル内覧会③【せとうちの大気】ドローン撮影による会場風景	当館職員
4	8.6 (土)	せとうちの大気PV	当館職員
常設展示 夏休み子どもミュージアム関連			
1	8.6 (土)	「夏を学ぼう！」津田の松原編	当館職員
2	8.12 (金)	「絵？ふしぎ」砂を混ぜてみよう編	当館職員
特別展「風景が物語る瀬戸内の力—自然・歴史・人の共鳴—」関連			
1	9.13 (火)	手話動画 風景が物語る瀬戸内の力①②③	香川県聴覚障害者福祉センター
2	9.14 (水)	中学生が考えるせとうちの魅力①	当館職員
3	10.15 (土)	中学生が考えるせとうちの魅力②	当館職員
4	10.23 (日)	ワークショップ「屋島は物語る」 講師：長谷川修一先生 (10.22 (土)開催分)	当館職員
5	11.3 (木・祝)	中学生が考えるせとうちの魅力③	当館職員
特別展「第69回 日本伝統工芸展」関連			
1	12.20 (火)	中学生が紹介する香川の漆芸	当館職員
香川県中学校美術教育研究会連携事業			
1	1.13 (金)	オニノコプロジェクト2022「しみる・そまる—願いをつなぐ、讃岐のり染—」展覧会の様子	当館職員
2	1.20 (金)	のり染のある風景 (オニノコプロジェクト2023「しみる・そまる—願いをつなぐ、讃岐のり染—」)	当館職員
特別展「空海—史上最強、讃岐に舞い降りた不滅の巨人」関連			
1	3.25 (土)	手話動画 空海—史上最強、讃岐に舞い降りた不滅の巨人①②③	香川県聴覚障害者福祉センター

④講演会

特別展に関連したテーマや話題性の高い魅力的なテーマを設定し、講演会を計6回実施した。

	月日	演題	講師	受講人数
1	4.23(土)	講演会 「グラフィックデザインの現在(いま)」 *デザイン展関連	色部義昭(グラフィックデザイナー/アートディレクター)	67人
2	8.6(土)	ラウンドトーク *せとうちの大気展関連	藏本秀彦、南条嘉毅、水谷一、宮脇慎太郎	29人
3	8.20(土)	ラウンドトーク *せとうちの大気展関連	浅見貴子、得丸成人、三村昌道、宮武かおる、矢野恵利子	32人
4	10.2(日)	講演会 「大地の成り立ちからみた瀬戸内の風景」 *瀬戸内の力展関連	長谷川修一(香川大学特任教授・名誉教授)	123人
5	10.23(日)	講演会 「くらしが紡ぐ瀬戸内の風景」 *瀬戸内の力展関連	上杉和央(京都府立大学准教授)	71人
6	R5.1.9 (月・祝)	講演会 「祈りのひとがた」 *第69回日本伝統工芸展関連	中村信喬(人形作家)	92人

⑤学芸講座

当館職員が香川の歴史や民俗、古美術、日本美術や西洋美術について、特別展や常設展示のテーマ、調査研究等に関連して講座を10回実施した。

	月日	タイトル	講師	受講人数
1	5.15(日)	社会に開かれたデザインへ—香川県庁舎をめぐる—	日置瑠子	54人
2	6.5(日)	京都御用商人松屋	御厨義道	44人
3	6.26(日)	民俗調査40年—調査・収集現場から現代社会を見る	田井静明	65人
4	7.23(土)	泳がず学べる!?海水浴場の歴史	黛友明	18人
5	9.25(日)	瀬戸内を旅する	川邊優佑	44人
6	10.15(土)	画家たちが眺めた瀬戸内海	窪美西嘉子	30人
7	10.30(日)	讃岐十景と讃岐百景	田井静明	65人
8	11.26(土)	お殿様の祈り—頼重公の造寺造仏からみる—	三好賢子	45人
9	R5.2.25(土)	ミュージアム・プレゼンテーション2023 研究って、すごく密なので	黛友明、井奥亮太、野村美紀、窪美西嘉子、三好賢子	71人
10	3.11(土)	「豆盆栽の宗家」松平頼寿の最も愛した世界	古野徳久	47人

3 調査研究事業

調査研究事業は、香川県立ミュージアム規則第2条第3項「資料に関する専門的又は技術的な調査研究を行うこと」に基づき実施し、種々のミュージアム事業を展開していく上で、その原動力となるものである。

当館では、前身の歴史博物館時代より県内寺社調査や歴史資料の所在確認調査を行い、『調査研究報告』や展示、講座等でその成果を公表してきた。また、文化会館の美術部門では、県ゆかりの作家・作品の調査を行い、展示に反映させてきた。歴史博物館と美術館の機能が一体となったミュージアムにおいては、更に多角的に調査・研究活動を行い、失われつつある歴史や民俗、先人の残した優れた作品や現在活躍中の美術作家作品等を掘り起こし、本県文化の新たな創造に寄与することを目指している。

(1) 調査研究活動

① 寺社総合調査

令和4年度も引き続いて、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、館外での調査活動等に制限があったが、以下の活動を行った。

・善通寺古文書・古記録調査

善通寺総合調査は平成12年度より5カ年計画で開始し、宝物館を中心に諸堂に所在する彫刻、書画、工芸品、古記録類ほか什物の調査を行った。すでにその成果は「特集善通寺総合調査報告(1)(2)(3)」(『調査研究報告』第2、3、4号/香川県歴史博物館発行)をはじめ、平成18年度特別展『創建1200年 空海誕生の地 善通寺』等で公表してきた。

平成18年度より、善通寺境内にある「土蔵」内の文書・記録資料の調査を開始し、その成果を『ミュージアム調査研究報告』で継続的に公表している。平成23年度からは、愛媛大学を始め、香川大学や徳島文理大学と共同して調査に取り組んでおり、令和4年度は、愛媛大学と共同で、265件の基本データ採取、約400枚の資料画像撮影を行った。

② 収蔵資料の調査研究

収蔵資料について、学術的な意義や歴史的な位置づけ、作家・作品の特徴などを明確にするため、より詳しい調査研究に取り組んだ。

i) 高松松平家博物図譜の総合調査

香川県指定有形文化財「高松松平家博物図譜」4種13帖について、自然系人文系に偏らない視点を持ちつつ、各専門分野による研究を総合的にすすめ、本図譜の歴史的文化的な価値を明らかにしようとするものである。令和4年度は、秋山純子氏(東京文化財研究所保存科学研究

センター保存環境研究室長)等により、「博物図譜」について科学的な分析調査を共同で実施した。

ii) 展示開催にかかる収蔵品調査

常設展示の開催にあたり、収蔵資料等の調査に取り組み、いずれも展示解説シートや展示パネル等にその成果を反映させた。また、主な成果を当館が発行する『ミュージアムNEWS』(以下『NEWS』と略す)において紹介した。

・ミュージアムガイドンス 「調査は続くよ、どこまでも～「私の町にも映画館があった」後日談～」『NEWS』57号

・調査研究ノート vol. 44 「高松松平家博物図譜」の調査研究 これまでとこれから」『NEWS』58号

・調査研究ノート vol. 45 「多度津藩政資料から見る多度津藩庁移転」『NEWS』59号

・収蔵品紹介「雛道具のうち十種香道具」『NEWS』59号

iii) その他

預託されている資料について、整理・調査を行った。整理が完了したものについては収蔵に向け準備をすすめた。

高松松平家歴史資料の内、「小品盆栽」について、詳細情報の採取および記録写真撮影を行った。

③ 資料所在等の確認調査

県内外にある香川県の歴史・美術に関わる資料調査、民俗資料・情報調査等を、東かがわ市、高松市、坂出市、観音寺市、三豊市、直島町、小豆島町、多度津町、まんのう町、愛媛県新居浜市、京都府八幡市などで実施し、一部については収蔵を検討した。調査においては瀬戸内海歴史民俗資料館と共同で実施した他、資料・情報の所在する地域に関連する方々の協力を得た。また、収蔵予定資料に関する情報を得るため、所蔵者からの聞き取り調査を行った。

直島町での調査は直島地域総合調査として、分館の瀬戸内海歴史民俗資料館、香川県埋蔵文化財センターと共同で実施した。

④ その他の調査

本堯寺(高松市東山崎町)にある松平家霊廟露盤の調査を京都国立博物館の尾野善裕氏や県教委生涯学習・文化財課とともに実施した。

法然寺(高松市仏生山町)において行われた国立博物館による彫刻調査について、当館職員も参加した。

⑤ 展示に係る調査

常設展示及び特別展示の開催などに係る調査を、次表のとおり実施した。これらの調査成果によって展示を企画し、館外から資料借用をしたほか、展示図録・解説シート・パネル・キャプションの解説文などに反映させた。

展示名	主な調査先
特別展「瀬戸内の力」に係る調査	金刀比羅宮（琴平町）、堺市博物館（大阪府）
常設展「夏を学ぼう！」に係る調査	海水浴場（廃止になったものを含む）、さぬき市、坂出市、土庄町、小豆島町、佐文公民館（まんのう町）、香川県立図書館（高松市）
常設展「頼重と寺社」に係る調査	白鳥神社（東かがわ市）、法然寺（高松市）
次年度以降特別展・常設展	金刀比羅宮（琴平町）、勝造寺（三豊市）、井戸寺（徳島県）、国立映画アーカイブ、早稲田大学演劇博物館、東京都公文書館、日本カメラ博物館（すべて東京都）、高松市立菊池寛記念館（高松市）、個人宅内キネマミュージアム（徳島県）、二十四の瞳映画村（小豆島町）、さぬき市

⑥レファレンス等による対応・調査

一般的には図書館業務として知られるレファレンスサービスであるが、歴史・民俗・美術と取り扱う分野が幅広い当館の専門性を利用者へ提供する機能として重要な業務である。

当館には電話・電子メール・郵便・来訪などにより問い合わせがある。展示観覧中に案内員を通じて問い合わせが寄せられる場合もある。

こうした問い合わせに対する対応を、本項における「レファレンス」として取扱っている。

その内容は、美術・歴史・民俗に関する「質問」、当館への作品・資料の収蔵に関わる「寄贈・寄託希望」、作品・資料や習俗についての「調査依頼」、作品・資料等に関する「資料情報」、展示やホームページ、行事に関する内容や会期等の「運営・運用」に分類される。

令和4年度全体では144件の問い合わせがあり、その内訳は下記のとおりである。

令和4年度レファレンスの内容別件数

項目	件数
質問	80
寄贈・寄託希望	18
調査依頼	6
資料情報	4
運営・運用	29
その他	7
合計	144

※このうち、ホームページの「お問い合わせフォーム」、電子メールを利用したレファレンスは27件。

i) レファレンス概要

レファレンスは受付後内容をメモに記録し課内での引継ぎを確実にし、迅速に回答するように努めている。レファレンスを通じて価値ある資料の所在や資料情報の把握に至る例も少なくない。

「質問」の内容は一般的なものから専門的なものまで幅広くあるが、専門性を要する質問については本館の各専門分野の担当者や分館の瀬戸内海歴史民俗資料館の担当者が協力して対応し、必要に応じて館外の有識者の助力を仰ぐなどして、回答内容の精度を保つよう努めている。

収蔵資料などの画像利用、閲覧、貸出といった「特別利用」に関する問い合わせには、「香川県立ミュージアムの歴史、美術及び民俗に関する資料利用要綱」に基づいて対応している。

ii) 資料(作品)の寄贈・寄託の申し出に伴う調査

令和4年度に、レファレンスとして寄贈・寄託の申し出が寄せられたのは18件であった。申し出に対しては、「香川県政策部文化芸術局の歴史、美術及び民俗に関する資料収集方針」及び同「要綱」に基づき、資料の概要や性格などの基本情報を踏まえて、原則現物資料のコンディションを実地調査によって把握し、その後収蔵後の活用価値などを見極めて対応している。

iii) 自治体・他機関などからの依頼

このほか、以下の機関から依頼を受けて、調査または調査指導・助言などを行った。

- ・綾川町教育委員会
- ・県教育委員会事務局生涯学習・文化財課
- ・金刀比羅宮

⑦他機関との共同研究

i) 共同研究・分担など

野村美紀・芝野有純

- ・披雲閣関係資料調査（高松市と共同）

高木敬子

- ・科学研究費「様々な文化財に使用された彩色材料への赤外線画像による面的調査の検討（研究代表者 秋山純子・東京文化財研究所）

野村美紀・三好賢子・御厨義道・黛友明・藤井俊輔

- ・覚城院資料調査（大阪大学と共同）

ii) 自治体や他機関からの委嘱など

野村美紀

- ・三豊市公文書等管理委員会委員
 - ・坂出市文化財保護審議会委員
- 三好賢子

・高松市文化財保護審議会委員

⑧各種研修の受講

博物館事業の充実と質の向上に努めるため、各種研修等に職員を派遣している。令和4年度は以下について参加した。

月日	研修名	派遣職員	会場
6.15(水)	令和4年度 公開承認施設担当者会議	御厨義道 藤井俊輔	オンライン 開催
6.16(木)	令和4年度 国宝・重要文化財(美術工芸品)防災・防犯対策研修会	御厨義道 藤井俊輔	オンライン 開催
8.1(月) ～8.4(木)	令和4年度博物館・美術館等資料保存研修(基礎コース)	川邊優佑	黒田記念館
11.7(月) ～11(金)	令和4年度歴史民俗資料館等専門職員研修会	芝野有純	国立歴史民俗博物館
11.16(水) ～18(金)	第70回全国博物館大会	黛友明	高知県立県民文化ホールほか
11.21(月)	国立文化財防災センター講習会(香川県教育委員会文化財専門研修会)	御厨義道 川邊優佑 黛友明	香川県立ミュージアム
12.1(木) ・2(金)	令和4年度文化をつなぐミュージアム研修	鈴木香里 日置瑤子 川邊優佑	オンライン 開催
12.8(木)	令和4年度文化財(美術工芸品)保存修理講習会	窪美西嘉子 高木敬子 鹿間里奈	オンライン 開催
12.12(月)	大名道具收藏館研究会 テーマ:「殿様とその周辺の記録・古文書」	御厨義道 鹿間里奈 川邊優佑	オンライン 開催
R5.3.20(月)	全国美術館会議 学芸員研修会 テーマ:「美術館の防災対策」	窪美西嘉子 日置瑤子	オンライン 参加

(2) 成果物公表

①研究成果の公表

i) 『ミュージアム調査研究報告 第14号』の刊行目次

- ・善通寺調査 (14)
善通寺文書調査について (13)
善通寺文書目録 (CD-ROM)
- ・香川県立ミュージアムの資料保存に関わる展示・收藏環境について 高木敬子
- ・網漁具における「袖付打瀬網」「定置式袋網」の分類について 真鍋篤行
- ・江戸時代～昭和時代の薬看板とその変遷 長井博志
- ・神懸山の風景観 信里芳紀
- ・本堯寺松平頼該霊廟の調査 一高松藩主松平家墓所の

系譜における位置— 渡邊誠・竹内裕貴・降幡順子・尾野善裕・野村美紀・古野徳久

- ・慶應義塾大学壁画《デモクラシー》原寸大複製 一令和3年度特別展「空間に生きる画家 猪熊弦一郎—民主主義の生活空間と造形の試み」博学連携事業について— 柳友子

ii) 特別展図録の刊行

- 『せとうちの大地 美術の視点』
- 『風景が物語る瀬戸内の力 一自然・歴史・人の共鳴—』

iii) 論文・報告・紹介など

※以下の公表業績にかかる掲載事項は、すべて各人の申告による。

〈学術的著述〉

野村美紀

- ・「松平家による高松城跡の整備と利用①払い下げから整備着手まで」高松市教育委員会『高松松平家歴史資料近代資料群調査報告書 第1冊 高松松平家歴史資料近代資料群調査報告書(絵図・地図)』(R5.3)

三好賢子

- ・「弘法大師の御影と四国遍路—香川の中世彫像からみる—」四国八十八ヶ所霊場会監修『へんろ』第461号(伊予鉄不動産株式会社発行、R4.8)

高木理光

- ・コラム「昭和の香川県の風景地選定—讃岐十景と香川観光地百景—」(田井静明共同執筆)『風景が物語る瀬戸内の力』(R4.10)

窪美西嘉子

- ・コラム「近代風景のめざめ—吉田博「牛」より」『風景が物語る瀬戸内の力』(R4.10)

日置瑤子

- ・岐南町・笠松町友好交流事業 展覧会「佐倉密展—ウチュウニオヨブテツガク」解説テキスト(R4.11)

川邊優佑

- ・コラム「近代日記 から見る瀬戸内の旅」『風景が物語る瀬戸内の力』(R4.10)

黛友明

- ・「問題提起 25 近代における芸能者と移動」『地方史研究』419号 (R4.10)
- ・「伊勢大神楽の支配頭と太夫組織」『京都民俗』40号 (R4.11)

芝野有純

- ・「平和産業」の含意の変遷とその歴史的背景『立命館平和研究』24号 (R5.3)

藤井俊輔

- ・「戦国大名毛利氏と鉄炮—吉川氏を中心に—」『史学研究』147号 (R5.3)

田口慶太

- ・「せとうちの今に想う」『せとうちの大地 美術の視点』(R4. 8)
- ・コラム「貫魚のみた実景図 全国名勝絵巻「巖島の巻」『風景が物語る瀬戸内の力』(R4. 10)

〈普及的著述 (館内)〉

古野徳久

- ・「小さきものたちの世界」常設展示解説シート 133

三好賢子

- ・「特集 空海—史上最強、讃岐に舞い降りた不滅の巨人」NEWS 第 59 号

高木理光

- ・「ミュージアムガイドンス vol. 45 調査は続くよ、どこまでも～「私の町にも映画館があった」後日談～」NEWS 第 57 号

鹿間里奈

- ・「展示室だより アート・コレクション 絵?ふしぎ」NEWS 第 57 号
- ・「収蔵品紹介 雑道具のうち十種香道具」NEWS 第 59 号

窪美西嘉子

- ・「ミュージアムガイドンス vol. 44 みんなで楽しむミュージアム—“夏休み子どもミュージアム”を開催します」NEWS 第 57 号
- ・「特集 特別展 風景が物語る瀬戸内の力—自然・歴史・人の共鳴—」NEWS 第 58 号
- ・「展示室だより 瀬戸内の風物—島・港・くらし」NEWS 第 58 号
- ・「展示室だより 平山郁夫—祈りの讃岐路をゆく」NEWS 第 59 号

櫻木拓

- ・「トピック 第 86 回香川県美術展覧会—シン・ケンテンへの道」NEWS 第 58 号
- ・「ミュージアムガイドンス vol. 47 オニ ing(おにんぐ)—こんな「つづける」があったのか! ?—」NEWS 第 59 号

日置瑤子

- ・「アート・コレクション 生誕 140 年 藤川勇造」常設展示解説シート 132

御厨義道

- ・「高松藩主松平頼重生誕 400 年記念展 I 京と頼重」常設展示解説シート 128
- ・「高松藩主松平頼重生誕 400 年記念展 II 頼重と寺社」常設展示解説シート 131

高木敬子

- ・「調査研究ノート vol. 44 「高松松平家博物図譜」の調査研究 これまでとこれから」
- ・「瀬戸内泰平—「博物図譜」にみる山野海のめぐみ」常

設展示解説シート 130

川邊優佑

- ・「多度津藩政資料から見る多度津藩庁移転」NEWS 第 59 号

黛友明

- ・「展示室だより 夏を学ぼう!」NEWS 第 57 号
- ・「夏休み子どもミュージアム 夏を学ぼう!」常設展示解説シート 129

芝野有純

- ・「ミュージアムガイドンス vol. 46 5 年ぶりの新収蔵品展—こんなもの集まりました!!」NEWS 第 58 号

田口慶太

- ・「特集 特別展 せとうちの大地 美術の視点」NEWS 第 57 号

〈普及的著述 (館外)〉

以下、香川経済研究所『調査月報』は『調査月報』、『四国新聞』ディープ KAGAWA は『四国 DK』、『朝日新聞』掲載第 69 回日本伝統工芸展作品解説は『伝統解説』と略す。

古野徳久

- ・「小品盆栽鉢 (染付)」『調査月報』431 号 (R5. 2. 1)

野村美紀

- ・「明治に建てられた本山寺五重塔」『四国遍路と世界の巡礼 上』(愛媛大学四国遍路・世界の巡礼研究センター R4. 7)
- ・「地域総合調査研究事業から (2) 写真資料の可能性」『四国 DK』(R4. 7. 15 付)
- ・「資料の収集から活用まで」『四国 DK』(R4. 11. 25 付)
- ・「史料から見た大久保謙之丞」記録集『輝ける讃岐人 2—小西和・田村剛・大久保謙之丞・景山甚右衛門・菊池寛・保井コノ—』(放送学術文化・スポーツ振興財団 R5. 4)

三好賢子

- ・「松平頼重公の肖像」『四国 DK』(R4. 11. 18 付)

高木理光

- ・「風景が物語る瀬戸内の力(4) 讃岐十景を訪ねてみた!」『四国 DK』(R4. 10. 17 付)

鹿間里奈

- ・「戦後デザイン運動の原点 (3) デザインギャラリーの展開」『四国 DK』(R4. 4. 29 付)
- ・「夏休み子どもミュージアム 絵?ふしぎ 作品のざらつき」『四国 DK』(R4. 8. 5 付)
- ・「玉藻城蒔醬水指」『伝統解説』(R4. 1. 4 付)

窪美西嘉子

- ・「風景が物語る瀬戸内の力(6) 新たな瀬戸内の風景—過去から未来へ」『四国 DK』(R4. 10. 21 付)
- ・「伊予絁着物「暁鐘」」『伝統解説』(R4. 1. 11 付)

- ・「川島猛「ドリームランド パープル」」『調査月報』432号 (R5. 3. 1)

櫻木拓

- ・「風景が物語る瀬戸内の力 (3) 行ってみた__瀬戸内の港」『四国DK』(R4. 9. 30 付)

日置瑤子

- ・「戦後デザイン運動の原点 (1) デザインコミッティー創立」『四国DK』(R4. 4. 15 付)
- ・「森正洋《G型しょうゆさし》」『調査月報』422号 (R4. 5. 2)
- ・「戦後デザイン運動の原点 (4) 香川とデザインコミッティー」『四国DK』(R4. 5. 6 付)
- ・「佐倉密の宇宙ロケットに乗り、私たちは宇宙飛行士になる」『佐倉密展—ウチュウユニオオブテツガクに寄せられたふたつの佐倉密論』(R4. 11)
- ・「青白磁鉢「流」」『伝統解説』(R4. 1. 10 付)

御厨義道

- ・「「寄り道」する遍路」『四国遍路と世界の巡礼 上』(愛媛大学四国遍路・世界の巡礼研究センター R4. 7)
- ・「京と頼重 (1) 幼いころの頼重」『四国DK』(R4. 5. 20 付)
- ・「京と頼重 (2) 京の御用商人「松屋」」『四国DK』(R4. 5. 27 付)
- ・「《浮鳥 鴨》」『調査月報』423号 (R4. 6. 1)
- ・「久米通賢の活動」記録集『輝ける讃岐人—中野武彦・空海・西嶋八兵衛・久米通賢—』(公益財団法人山陽放送学術文化・スポーツ振興財団、R4. 12)

高木敬子

- ・「ミュージアムの裏側」『四国DK』(R4. 9. 9 付)
- ・「風景が物語る瀬戸内の力 (5) 博物図譜に見る瀬戸内の風景」『四国DK』(R4. 10. 14 付)

川邊優佑

- ・「江戸時代の旅日記」『四国DK』(R4. 4. 8 付)
- ・「風景が物語る瀬戸内の力 (1) 理想郷から真景へ、移り変わる瀬戸内の風景」『四国DK』(R4. 9. 16 付)
- ・「源平合戦図屏風」『調査月報』426号 (R4. 9. 1)

黛友明

- ・「夏休み子どもミュージアム 夏を学ぼう! 海水浴場探訪」『四国DK』(R4. 7. 29 付)
- ・「海水浴 (広告)」『調査月報』425号 (R4. 8. 1)

芝野有純

- ・「陶製四斗樽「師団一」」『調査月報』426号 (R4. 11. 1)

田口慶太

- ・「戦後デザイン運動の原点 (2) 国際交流とデザインの普及」『四国DK』(R4. 4. 22 付)
- ・「せとうちの大地 美術の視点 (1) ~ (2)」『四国DK』(R4. 8. 12・19 付)
- ・「硝子水指「風竹」」『伝統解説』(R4. 1. 13 付)

②刊行物

- i) 香川県立ミュージアム年間スケジュール
令和4年度に開催する展示情報を掲載。館内で配布するほか、県内の博物館・資料館、文化・教育施設や、全国の関係機関に配布した。
・2022. 4~2023. 3
A2 変形判屏風折 カラー刷 20,000部
- ii) 常設展示解説シート 各2,000部
令和4年度に開催の常設展示に関する内容を紹介した解説シートを展示ごとに印刷、発行した。
A3 判・二ツ折、カラー刷 (展示タイトル、内容についてはII-1(2)常設展示の項参照)
- iii) 特別展解説シート・パンフレット等
・「第69回日本伝統工芸展」出品目録
A4 縦判、カラー刷 8頁 5,000部
令和4年12月16日発行
- iv) 図録等(展覧会・その他)
・『せとうちの大地』
B5 縦判 変形 カラー刷 56頁 500冊
令和4年8月10日発行
・『風景が物語る瀬戸内の力—自然・歴史・人の共鳴—』
A4 縦判 変形 160頁
うち、カラー刷120頁、モノクロ40頁 1,000冊
令和4年10月1日発行
- v) 香川県立ミュージアムNEWS
A4 判 カラー刷 8頁
・第57号(夏号) 6月21日発行 3,000部
・第58号(秋号) 8月2日発行 4,000部
・第59号(春号) 3月2日発行 4,000部
- vi) ミュージアム調査研究報告 第14号
A4 判 モノクロ112頁・CD-ROM付 650冊
令和5年3月31日発行
- vii) 収蔵資料目録13
A4 判 単色刷30頁・CD-ROM付 470冊
令和5年3月30日発行
- viii) 香川県立ミュージアム年報 第14号 (令和3年度)
A4 縦判 89頁 令和4年8月31日発行
(第10号より印刷なし、ホームページにPDFデータを掲載)

4 資料の収集・整理・保管事業

香川県の歴史及び文化、芸術を理解するうえで必要な資料を収集して、体系的に整理し、保存のために必要な処置を行い、最適な条件で保管することは博物館の最も基本的な機能である。

当館では「香川県政策部文化芸術局の歴史、美術及び民俗に関する資料収集方針」に基づき、歴史、芸術及び民俗に関する実物のほか、標本・模写・文献・図表・写真・フィルム・レコード等多岐にわたり、購入・寄贈・寄託等の方法で資料を収集している。寄贈や寄託の申し入れがあった資料については、調査に向いて、資料を預かり、調査・整理作業の結果、収蔵すべきであると判断されたものについて手続きを行う。受け入れ後は殺虫処理をし、引き続き詳しい調査研究・整理を行って資料目録を作成して、順次、館蔵品データ検索システムに登録する。また『収蔵資料目録』を、県内外の関係機関に配布し、展示をはじめ、館外からの特別利用に応じる等、収蔵資料の公開活用を行っている。

資料収集状況（令和5年3月末現在）

	令和3年度 末まで	令和4年度 手続分	合計
購入	22,396	0	22,396
寄贈	206,029	7,936	213,965
寄託	54,208	-3,883	50,325
移管・ その他	40,736	0	40,736
合計	323,369	4,053	327,422

(1) 資料収集活動（各掲載の順序は、手続き順による）

① 購入資料

なし

② 寄贈資料

計6428件7936点

- ・日本建築の系譜を図示した資料（藤森照信資料）
1件1点
- ・西岡茂八郎作品
19件19点
- ・秋山泰計資料。平成25年度に収蔵した資料の追加寄贈（秋山照子資料（2））
108件108点
- ・在郷軍人会、消防関係資料（花崎直次郎資料）
106件114点
- ・金刀比羅山全景案内図（和久井喜人資料）
1件1点
- ・同人雑誌『映画街』関連資料（個人寄贈資料XXV）

344件344点

- ・小森秀雲作品

1件1点

- ・江戸健作品（2）

2件5点

- ・江戸健資料

10件13点

- ・江戸時代の讃岐における海鼠収獲・産業、書画。寄託から寄贈への変更を含む。（濱崎謙一資料）

36件36点

- ・屋島焼を開窯した三谷林叟の末裔に伝わった資料。寄託から寄贈への変更を含む。（三谷林叟家資料）

3607件3779点

- ・江戸時代に高松藩を治めた高松松平家の資料。一部寄託から寄贈への変更を含む。（高松松平家歴史資料）

200件769点

- ・森本康雄氏が撮影した写真等の資料。（森本康雄資料（2））

1161件1276点

- ・源内焼と関連資料。（多田將士資料）

2件2点

- ・県指定有形文化財青貝微塵塗鞘および大小拵と関連資料。（田尾壱良資料）

9件9点

- ・香川県内を中心とする盆踊りやご当地ソング等のレコード類。（三谷米二資料）

125件295点

- ・戦前の生活資料や旅行案内・はがき類等、平成25年度に収蔵した資料の追加寄贈。（徳田カヨ子資料（2））

696件1164点

③ 寄託資料

計2件2点

- ・文政10年（1827）に高松藩領羽床下村で発生した敵討ち事件の関連資料。（浄覚寺資料）

2件2点

- ※濱崎謙一資料、三谷林叟家資料、高松松平家歴史資料の一部、森本康雄資料、田尾壱良資料が寄託から寄贈に変更及び小西裕二資料が返却となった（計3,885点）。

④ 移管・その他

なし

⑤ 文献資料

文献資料は、調査研究をはじめ展示や学習支援事業をより豊かなものにするために必要不可欠なものであるため、事典、辞書、香川県に関する地方史誌、史料集、芸術・

美術に関する書籍等を中心に収集している。また、最新の研究動向の情報を収集するため、学術雑誌を逐次購入している。全国の博物館や美術館、研究機関が刊行する図録、紀要、事業報告、広報誌も交換、恵与により収集を続けている。

- ・逐次刊行物等受付冊数 1,437 冊
- ・購入雑誌
月刊文化財、季刊考古学、日本歴史、日本史研究、古文書研究、歴史評論、歴史学研究、史学雑誌、國華、季刊ミューズ、芸術新潮、美術手帖、MUSEUM、文化財発掘出土情報、木簡研究、美術大鑑

(2) 資料整理保管活動

① 収蔵資料管理システム

平成 26 年度に、早稲田システム開発株式会社の「I. B. MUSEUM SaaS」を導入し運用することで、収蔵品についての情報の一元管理をしている。これにより、職員各自に配備された PC による操作が可能となり、データの入力・整備や収蔵品の検索等に利用されている。

【データベースの内容】

- ・収蔵資料の管理
収蔵資料について、名称・年代・法量・資料内容・画像から、収蔵場所・所蔵、時系列で記録される展示・貸出・修理等の履歴など、その資料・作品に係るほとんど一切の情報を一元的に登録している。資料・作品の管理のみならず展示準備等でも利用される。
- ・図書、視聴覚資料、アルバムの管理
資料・作品だけでなく、館蔵の図書データ入力も進めている。他にもビデオ、フィルム等の視聴覚資料、写真アルバムの管理も可能であり、順次進めていく予定である。
- ・一般公開のデータについて
収蔵資料のデータベースは、インターネット公開機能を利用し、館のHPにリンクを貼ることで公開している。検索は、キーワードのほか、歴史資料では資料群、美術作品では作家ごとの一覧から選択することもでき、資料の基本情報（名称、数量、時代、法量、概説、画像等）を閲覧することができる。データの公開は画像・解説文等公開のための条件を満たした資料・作品について、漸次進めている。

② 虫菌害対策

i) 資料等の殺虫・殺菌処理

収集した資料や借用した資料は、必要がある場合、一時保管庫に搬入、仮収蔵し、適期に殺虫・殺菌した後、収蔵庫へ搬入、また展示等に活用している。

令和 4 年度は、写真撮影室にて、業者委託による二酸化

炭素を用いた殺虫処理を 1 回（10 月 23 日（日）～11 月 6 日（日）、24 m³（w=3 m、d=4 m、h=2 m）のテントを仮設）、酸化エチレンを用いた殺菌処理を 2 回（1 回目：9 月 12 日（月）～15 日（木）、12 m³（w=2 m、d=3 m、h=2 m）のテントを仮設、2 回目：令和 5 年 2 月 27 日（月）～3 月 2 日（木）、54 m³（w=3 m、d=9 m、h=2 m）のテントを仮設）実施した。なお、小規模な二酸化炭素殺虫処理は、職員により実施した。

ii) モニタリング

展示室、収蔵庫等、館内数箇所に粘着トラップ等を設置し、定期的に観察して館内における生物発生状況を調査している。

また、収蔵庫・展示室を中心とした館内各所について、年間 3 回（7 月、10 月、令和 5 年 1 月）の虫・カビ調査、および年間 8 回（5 月、6 月、8 月、9 月、11 月、12 月、令和 5 年 2 月、3 月）の虫の生息調査を、専門業者に委託して実施した。

(3) 館外特別利用状況

(凡例) ◎国宝, ◎重要文化財, ○重要美術品, □県指定文化財

①貸出利用

番号	資料名	点数	利用者	目的	貸出期間
1	猪熊弦一郎「座像」 1929年	1	横須賀美術館	生誕120年 猪熊弦一郎展	8.27～11.24
	猪熊弦一郎「ホテル・レゼジィ」 1939年	1			
	猪熊弦一郎「自由」 1951年	1			
	猪熊弦一郎「人と猫I」 1954年	1			
	妙音寺出土軒丸瓦	1			
2	讃州圓亀城之図(写)	1	丸亀市立資料館	企画展「丸亀城と城下町」	10.6～12.2
3	福富絵	1	高松市歴史資料館	第80回企画展「万物流転 ～語られるイメージと時間～」	R5.1.20～3.23
	◎志度寺縁起 第二幅 讃州志度道場縁起(一)	1			
	◎志度寺縁起 第三幅 讃州志度道場縁起(二)	1			
	◎琴弾宮絵縁起	1			
	源氏物語画帖	1			
	石清尾八幡宮祭礼図巻	1			
	水戸御祭礼図 第一巻	1			

②閲覧利用

番号	資料名	利用者	目的
1	書状(讃岐国三野郡箱浦勝間屋森家文書) 全1件1点	個人	先祖に関する資料調査
2	消暑漫筆 全1件1点	個人	高松市錦町日妙寺についての調査
3	仕上ル一札之事(佐伯家文書補遺)ほか 全467件467点	個人	令和4年度大野原中央公民館古文書講座「古文書入門編」テキスト選定
4	讃州圓亀城之図(写)ほか 全2件2点	丸亀市立資料館	企画展「丸亀城と城下町」開催のための資料調査
5	御判物御目録等入日記ほか 全18件19点	個人	近代における大名華族の役割と所蔵品公開に関する調査研究
6	野生司香雪「窟院の朝」ほか 全3件4点	個人	宗教画とインドに魅せられた日本近代画家達についての博士論文作成
7	当家代々之記録ほか 全2件2点	個人	高松藩士の調査研究
8	御秘事御道具図絵 全1件1点	高松市歴史資料館	高松市歴史資料館学習室において開催するスポット展示「ズドンー頼重と鉄砲一」のための調査研究
9	松平頼寿大礼服ほか 全2件2点	個人	大礼服製作を目的とした調査
10	高松藩松平家譜 全1件1点	個人	卒業論文作成
11	◎藤原佐理筆詩懐紙 全1件1点	個人	原稿執筆のための調査
12	秋山泰計「人魚・レスリング」ほか 全7件7点	個人	学業で制作している作品の参考調査
13	源氏物語画帖ほか 全5件13点	高松市歴史資料館・東京大学大学院人文社会系研究科	高松市歴史資料館第80回企画展にて借用予定の資料の事前調査
14	◎絹本著色琴弾宮絵縁起ほか 全3件3点	高松市歴史資料館・東京大学大学院人文社会系研究科	高松市歴史資料館第80回企画展にて借用予定の資料の事前調査
15	讃岐国阿野郡瀧宮村切支丹宗門御改出家・社人・山伏帳ほか 全2件2点	個人	近世讃岐における修験者等民間宗教者の活動についての調査研究
16	◎法華経 全1件8点	中之島香雪美術館	令和6年度開催予定特別展に関する調査

17	広島平和記念資料館 丹下健三 全景（ホンマタカシ作品）ほか 全4件4点	横浜美術館	丹下健三に関する展示企画準備に伴う調査
18	柴野栗山筆「七言古詩」ほか 全2件2点	大阪歴史博物館	森狙仙の猿図の研究に係る制作年が明らかかな作品の調査
19	錦絵讃岐名所ほか 全18件18点	個人	大名庭園「縮景園」と栗林公園との比較研究
20	『歴朝要紀』（天保11.8.27校）ほか 全25件43点	東京大学史料編纂所	『歴朝要紀』の編纂および献上過程に関する調査・研究
21	山下義人作 蒔醬色紙箱「遙か」 全1件1点	高松市美術館	特別展の出品候補作品調査
22	十二月倭歌帖 全1件1点	サントリー美術館	幕末狩野派の作例の調査
23	賀川先生産書 全1件1点	個人	当該資料と三豊市所在「賀川先生産書」との校合
24	土器川筋夫婦岩付近之図 全1件1点	個人	土器川を含む丸亀平野における治水や水利用の実態調査
25	御龍子ほか 全2件2点	高松市歴史資料館	令和5年度開催予定の収蔵品展のための資料調査

③画像利用

番号	資料名	利用者	目的	利用区分
1	イサム・ノグチ「ミラー」	日本文教出版株式会社	令和6年度文部科学省検定図画工作科教科書等	掲載
2	鉄道馬車通行之図	公益財団法人 山陽放送学術文化・スポーツ振興財団	リレー・シンポ「輝ける讃岐人」動画	掲載
3	花月対座論	個人	『中世真名軍記の研究』（汲古書院）	掲載
4	江戸大絵図	個人	個人HP	掲載
5	□高松城下図屏風、旧高松御城全図	高松市教育委員会	『史跡高松城跡桜御門復元パンフレット』及び桜御門内展示パネル	掲載
6	写真（東館竣工式高層棟屋上で）	個人	中條文化振興財団発行季刊誌『文化通心』	掲載
7	小品盆栽道具（全体）、松平頼壽墓副葬品（籐製バスケット、翡翠製鏢、ガラス製金魚）	株式会社近代出版	『月刊 近代盆栽』7月号	掲載
8	写真（銅像の壮行式）	高松工芸高校	高松工芸高等学校工芸ギャラリー展示パネル	掲出
9	相渡申畑地証文之事、屋敷売買仕一札之事、売買仕一札之事、田地売買一札之事、出生送り手形之事、送り手形之事、送り手形之事、借用手形之事、借用証文一札之事、借用証券	大野原中央公民館	令和4年度大野原中央公民館 古文書講座テキスト	掲載
10	中野武當仮装写真（甲冑姿の中野武當）	KSB 瀬戸内海放送	ニュース放送	放映
11	□高松藩飛龍丸船明細切絵図	一般社団法人香川県進路指導研究部	テスト問題	掲載
12	井上孟「自画像」	宇多津町教育委員会	井上孟氏絵画展の展示パネル	掲出
13	満濃池水掛村々之図	有限会社風媒社	『古地図で楽しむ瀬戸内・香川』	掲載
14	高松城下図屏風複製、六歌仙図	玉藻公園	玉藻公園 PR 映画	放映
15	関係者の記念写真（人物は丹下健三）、写真（東館ピロティ）、写真（東館1階ロビー）、写真（東館市街地からの眺め）	日本郵便	オリジナルフレーム切手等	掲載
16	讃州圓亀城之図（写）	丸亀市立資料館	企画展「丸亀城と城下町」広報	掲載
17	栗林図、栗林分間図、栗林公園之図、栗林公園真景	個人	『栗林公園と歴代藩主』（美巧社）	掲載

18	写真（香川県庁南庭）	個人	「瀬戸内海文明圏これからの建築と新たな地域性研究会」講演録	掲載
19	林巖石「月氏（ブツダガヤ）を想う」	三木町政策課	『広報みき』9月号	掲載
20	□「衆鱗図」第三帖（裏5-2アメノ魚、裏8-2小アユ、裏13-2ワダコ、14-2ケタハス、22-3湖ハゼ）	個人	『琵琶湖の生物はいつ、どこからきたのか』（サンライズ出版株式会社）	掲載
21	◎藤原佐理筆詩懐紙	別冊太陽編集部	『別冊太陽 篠田桃紅特集』	掲載
22	弘法大師像（善通寺御影）	四国遍路世界遺産登録推進協議会	四国遍路世界遺産登録推進協議会普及啓発用パンフレット	掲載
23	葉商鑑札	個人	映画製作の参考資料	参考
24	御秘事御道具図絵、高松城下屋敷割図	高松市歴史資料館	高松市歴史資料館スポット展示「ズドン -頼重と鉄砲-」展示パネル	掲載
25	香川県讃岐国繁栄名誉鏡 完	個人	参考資料	参考
26	□松尾寺 木造弘法大師坐像	個人	『月刊 へんろ』461号	掲載
27	中野武宮仮装写真（甲冑姿の中野武宮）	公益財団法人 山陽放送学術文化・スポーツ振興財団	『輝ける讃岐人1』	掲載
28	写真（香川県立体育館建築現場全景北西から）写真（香川県営一宮住宅団地外観）、写真（南庭造成作業）、写真（建築関係者打ち合わせ）、写真（関係者の海釣り）	個人	『IUW2022』	掲載
29	物類品隣	個人	「しこく遍路考」『朝日新聞』	掲載
30	写真（香川県庁舎前の丹下）、写真（高松一宮団地）	四電ビジネス株式会社	四国電力広報誌『ライトアンドライブ』9・10号	掲載
31	□「衆鱗図」第二帖（表30-1うみどちやう、表30-2やなぎどじやう）、□「衆鱗図」第三帖（裏2-1鯉、裏3-1鮒、裏4-1源五郎鮒、裏5-2アメノ魚、裏7-1ピワヒガイ、裏7-4鮎、裏8-2小アユ、裏12-3川モロコ、裏12-4ピワヒガイ、裏13-2ワダコ、裏14-2ケタハス、裏20-2油ヒガイ、裏20-3ヒガイ、裏21-1ゲザル、裏22-1砂スリ・伏見川ハセ、裏22-3湖ハゼ、裏23-1伏見川ハセ）	個人	2022年度日本魚類学会年会における口頭発表	掲載
32	◎藤原佐理筆詩懐紙	ノートルダム清心女子大学	大学HP 日本語日本文学科ブログ	掲載
33	□高松城下図屏風	高松市広聴広報課	『広報 高松』8月号	掲載
34	松平頼重像、□高松城下図屏風	高松市広聴広報課	高松市テレビ広報番組	放映
35	◎藤原佐理筆詩懐紙、香川県立ミュージアム外観写真	公益財団法人 日本習字教育財団	日本習字かな部12月号	掲載
36	猪熊弦一郎「座像」、猪熊弦一郎「ホテル・レゼジィ」、猪熊弦一郎「自由」、猪熊弦一郎「人と猫I」	横須賀美術館	横須賀美術館開催企画展「猪熊弦一郎展」図録	掲載
37	極密銃、風砲、煽風機	公益財団法人 山陽放送学術文化・スポーツ振興財団	『輝ける讃岐人1』	掲載
38	鉄道馬車通行之図	公益財団法人 山陽放送学術文化・スポーツ振興財団	『輝ける讃岐人1』	掲載
40	神野神社湯立神楽の記録映像	神野神社	湯立神楽継承のための参考資料	参考
41	□「衆鱗図」第一帖～第四帖、□「衆鱗図」第一帖（表1鯛牡、表27鯉、表40カラコギ、胡麻笠子、蓑笠子、裏41鮎）、□「衆鱗図」第二帖（裏27すゞめふく・付札なし・墨書なし・い	株式会社ネクサス	テレビ番組「開運！なんでも鑑定団」	放映

	しふく)、□「衆鱗図」第三帖(表45ウドン海月)			
42	旧高松御城全図、□高松城下図屏風	高松市教育委員会	『史跡高松城跡既存調査報告書①(天守関連調査)』	掲載
43	□高松城下図屏風	RSK山陽放送株式会社	テレビ番組「ひょうげ祭り」	放映
44	栗林図	有限会社風媒社	『古地図で楽しむ瀬戸内・香川』	掲載
45	□彩色蒔髷御料紙硯箱、堆黒松ヶ浦香合	公益財団法人山陽放送学術文化・スポーツ振興財団	リレー・シンポ「江戸文化に輝いた二人」プログラム	掲載
46	観光の多度津港、写真(仲多度郡の大地主の上位11人)	瀬戸内国際芸術祭実行委員会	瀬戸内国際芸術祭2022「多度津街中プロジェクト」展覧会展示パネル	掲載
48	松平頼重陶像、松平頼儀像、松平頼胤像、松平頼聰写真、松平頼寿写真、松平頼該自賛自画像	個人	『栗林公園と歴代藩主』	掲載
49	邨田丹陵筆「屋島合戦面帖」(「義経弓流し」、「那須与一」)	株式会社叢文社	『図説渋谷一族の歴史と源平合戦』	掲載
50	陶製松平頼重公坐像	株式会社テレパック	テレビ番組「偉人・素顔の履歴書 2時間スペシャル～時代劇ヒーローたちの実像～」	放映
51	大東亜共栄圏めぐり双六	株式会社山川出版社	『詳説世界史図録 探究版』	掲載
52	中野武當仮装写真(甲冑姿の中野武當)	NHK高松放送局	ニュース放送、特集サイト	放映・掲載
53	写真「国分寺」(『讃岐写真帖』より)	高松市讃岐国分寺跡資料館	特別史跡指定70年記念企画展「特別史跡 讃岐国分寺跡」後期展図録	掲載
54	黒田綾山筆「祖谷鳴滝図」、長町竹石筆「讃岐名勝図屏風」、長町竹石筆・柴野栗山賛「山水図」、三木算柳筆「魚介図」、三木文柳筆「花鳥図」	高松市歴史資料館	講演会資料	掲載
55	伊達錦五十四郡、愛護稚名歌勝鬨、相馬太郎葎文談 五段続	個人	京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター展示等	掲載
56	写真(市街地の中の香川県庁舎)	日本赤十字社香川県支部	香川県赤十字有功会会報誌『有功かがわ』vol.20	掲載
57	法然寺墓所(般若台)墓石番号図(『高松藩松平家墓所調査報告書』より)	個人	香川県埋蔵文化財センター考古学講座「高松藩松平家と子墓造営」資料	掲載
58	内陣之鏡	個人	論文『「内陣之鏡」に描かれた《頼該の芝居》』、『アトリサーチセンター紀要』23号	掲載
59	乾漆花瓶	文化振興課	『家庭画報』	掲載
60	福富絵、◎志度寺縁起 第二幅 讃州志度道場縁起(一)、◎志度寺縁起 第三幅 讃州志度道場縁起(二)、◎琴弾宮絵縁起、源氏物語画帖、石清尾八幡宮祭礼図巻、水戸御祭礼図	高松市歴史資料館	高松市歴史資料館 第80回企画展「万物流転 ～語られるイメージと時間～」図録等	掲載
61	姻袖鏡、花軍寿永春・関取千両幟	個人	京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター展示等	掲載
62	中野武當仮装写真(甲冑姿の中野武當)	NHK高松放送局	ニュース放送	放映
63	畠山基国書状	八尾市	『新版八尾市史 通史編1』	掲載
64	弘法大師像(善通寺御影)	交流推進部観光振興課	旅行会社向け販売促進用資料	掲載
65	○扁平鈕式六区袈裟褌文銅鐸	牟礼町ビデオクラブ	高松市牟礼町岡遺跡発掘調査説明会DVD映像	掲載
66	中野武當仮装写真(甲冑姿の中野武當)	中野武當顕彰会	『中野武當顕彰会会報』5	掲載
67	◎藤原佐理筆詩懷紙	教育出版株式会社	令和7年度版中学校国語科書写用教科書『中学書写』等	掲載
68	極密銃	一般財団法人東京大学	『忍者学大全』	掲載

		出版会		
69	渡海絵図（瀬戸内海航路図）	個人	『てのしま資料集』	掲載
70	中野武宮肖像写真	教育委員会義務教育課	小・中学生用教材「かがわふるさと百人一首」	掲載
71	池川敏幸「箱の記憶 I」、池川敏幸「いのち」、池川敏幸「気まぐれの旅立ち」、池川敏幸「生きていてください」、池川敏幸「流れ星のメッセージ」	個人	絵葉書	掲載
72	○一角印籠、□彩色蒔髷御料紙硯匣、狭貫彫堆黒 翁 香器、堆朱文箱、紅花緑葉 饌盒、○狭貫彫堆黒 松ヶ浦香合、紅花緑葉 鞍 菊螭螂模様、□堆朱二重彫 鼓箱 上模様牡丹下菊	個人	『輝ける讃岐人 3』	掲載
73	出生送り手形之事	大野原中央公民館	大野原中央公民館 古文書講座テキスト	掲載
74	屋島寺縁起絵、屋島合戦図	個人	古代山城研究会における配布資料	掲載
75	大久保謙之丞肖像写真、新線沿道巡回雑誌、新道工費之義ニ付上申書、阿讃国境伊之鼻工事場、長谷川安二郎書簡（明治 24 年 12 月 1 日）、讃岐鉄道開業式の祝辞草稿、讃岐鉄道開業式の祝辞、大久保謙之丞家族写真、大久保タメ書簡（明治 24 年 12 月）、大久保彦三郎書簡（明治 24 年 12 月）	個人	『輝ける讃岐人 2』	掲載
76	中世の宇多津景観想像図、絵馬「網裏眺望青山真景図」	うたづの町家とおひなさん実行委員会	「うたづの町家とおひなさん」における説明パネル	掲載
77	[満濃池苗田・東高篠村までの絵図]	四国地方整備局 香川河川国道事務所	第 5 回土器川流域学識者会議資料	掲載
78	十二月倭歌画帖（二月・三月・五月・七月・十月の花図・鳥図）	サントリー美術館	論文「転換期の歌絵—住吉広守筆〈十二月花鳥和歌手鑑〉」『サントリー美術館研究紀要 2023』	掲載
79	□「衆芳画譜」菓草第二（知母・蒼朮）	公益財団法人 根津美術館	論文「江戸後期における蒔絵表現の諸相—飯塚桃葉作「百草蒔絵菓草笥」を中心に—」	掲載
80	旧高松御城全図、□高松城下図屏風、□堆朱鼓箱	高松市教育委員会	『史跡高松城跡（桜御門復元整備工事）』	掲載
81	◎太刀 銘 真守造	株式会社ホビージャパン	『天下五剣とゆかりの刀』	掲載
82	両竹鑑	個人	論文「江戸の浄瑠璃本板元・大坂屋秀八と外題目録『両竹鑑』について」	掲載
83	三光尉	個人	A Companion to Nō and Kyōgen（英語版能楽全書）	掲載
84	大久保謙之丞肖像写真、大久保謙之丞家族写真、讃岐鉄道開業式の祝辞	NHK 高松放送局	ニュース放送	放映
85	中野武宮肖像写真、木守	高松リビング新聞社	『リビングたかまつ』2023 年 3 月 17 日号	掲載
86	刀 銘 一竿子忠綱彫同作、脇指 銘 栗田口一竿子忠綱彫同作	株式会社ホビージャパン	『刀剣画報』 vol. 20	掲載
87	□西嶋八兵衛肖像	香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構	留学生向け HP	掲載
88	雨月物語（西行と崇徳上皇図）	個人	「しこく遍路考」『朝日新聞』	掲載
89	蒔髷鏡	個人	『輝ける讃岐人 3』	掲載

90	◎金銅錫杖頭国宝、◎一字一仏法華經 序品、□絹本着色稚児大師像、□木造 天台大師坐像・弘法大師坐像、◎絹本 著色法華曼荼羅図、◎木造不動明王及 童子像、弘法大師像（善通寺御影）	弘法大師空海御誕生 1250年祭実行委員会	記念切手シート等	掲載
----	--	--------------------------	----------	----

分館 瀬戸内海歴史民俗資料館

1 展示・企画事業

(1) 館内展示

①常設展示

第1～8展示室において、「瀬戸内の里海」および「香川の里山文化」について紹介したほか、収蔵庫の一部を活用した展示を行った。また、展示資料の部分的な更新や、ロビー展示ケース、休憩室展示ケース、季節展示コーナー等を利用して、定期的な資料の入れ替えにより収蔵資料の活用をはかった。

そのほか、第1展示室中2階に開設している「瀬戸内ギャラリー」において、「瀬戸内」や「島」、「くらし」、「自然」、「環境」などをテーマに年間4回の企画展示を行い、歴史・民俗・美術横断的な視点で瀬戸内文化の発信を行った（「⑦瀬戸内ギャラリー企画展示」に別掲）。

各展示室のテーマ構成

第1展示室	第2展示室	第3展示室	第4展示室
【瀬戸内の里海文化】			
瀬戸内海の漁撈用具と船、香川県の現代漁業 [国重有民]	瀬戸内海の船大工用具と木造船の製作現場 [国重有民]	瀬戸内海の海運と海の信仰 [国重有民他]	自然環境の変化と海ゴミ宇高連絡船と機帆船
第5展示室	第6展示室	第7展示室	第8展示室
【香川の里山文化】			
瀬戸内の自然環境と産業	ため池・水利・雨乞 里山環境の変化	香川の農具 (稲作用具)	香川の祭り と民俗芸能

i) 第1展示室

国の重要有形民俗文化財に指定されている漁具・船などを通じて、瀬戸内海の漁撈文化、特に漁師の知恵と技について紹介。

職員の調査研究の成果や、関連する所蔵資料を紹介する「香川県の伝統的な漁業」、「香川県の現代漁業」コーナーを設置し、可変展示を行った。

中2階の「瀬戸内ギャラリー」で展示を行った（別掲）。

ii) 第2展示室

国の重要有形民俗文化財に指定されている船大工用具や和船の造船現場を展示し、船大工の技術やそこで用いられたさまざまな道具などを紹介。

iii) 第3展示室

瀬戸内海の家船や航海安全を祈った奉納模型船や絵馬、海に生きる人々の神仏への信仰について紹介。

iv) 第4展示室

瀬戸内沿岸の干潟や浜辺など、自然環境の変化と海ゴミ問題などについて紹介。また、本州と四国を結んだ宇高連絡船、瀬戸内の各都市を結んで物流を担った機帆船について紹介。

v) 第5展示室

瀬戸内の自然環境を生かし、香川県の特産品となった讃岐三白（塩・砂糖・綿）に関わる道具を紹介。

また湿田や島などの段畑の農業、柑橘栽培、花崗岩地帯の地質特性を利用した石材産業に関わる用具を紹介。

vi) 第6展示室

香川県の生業環境の特徴であるため池や水利、用水管理に関わる用具を紹介。雨乞籠や「雨乞踊」などについて映像で紹介。また、落ち葉や雑木を利用したり薪炭が盛んだった頃、山が荒れイノシシやヌートリアが里山や島のくらしを脅かす現在の里山への環境変化について紹介。

vii) 第7展示室

稲作に用いたさまざまな用具を展示し、高度経済成長期前後の米作りの道具の変化などを紹介。

viii) 第8展示室

香川県内の祭りや行事、民俗芸能に関わる用具を展示し、香川県の祭りの特色を紹介。

さらに小豆島農村歌舞伎衣装や獅子舞用具などを展示するとともに、「香川の祭り」動画を映像で紹介。

②収蔵展示

歴史収蔵庫の一部を活用し、収蔵展示として国の重要有形民俗文化財「西日本の背負運搬具コレクション」を常時公開している。また、「さまざまな日本各地の船」については、来館者の要望に応じて適宜公開している。

収蔵庫1	収蔵庫2
背負運搬具コレクション [国重有民] 常時公開	さまざまな日本各地の船 (船のルーツを考える) 適宜公開

③中央ロビーでのケース展示

- ・「ハイカゴ」 令和4年4～5月
- ・「水口祭」 同年5～6月
- ・「喫煙具一式」 同年6～7月
- ・「電気扇風機」 同年7～8月
- ・「釣用ランプ」 同年9～11月
- ・「陶製醬油樽」 同年11月～令和5年1月
- ・「702C型魚群探知機」 令和5年2月～

④第1展示室での漁撈用具調査研究報告展示

- ・「津田漁民の漁場開拓の軌跡」 令和4年3月～6月

- ・「満州国皇帝のタイ網漁見物」 同年6～8月
- ・「漁網の製作用具」 同年8～11月
- ・「潜水漁の道具」 同年11月～

⑤休憩コーナーでの館蔵資料展示

- ・「はえ縄釣の道具」 令和4年3～6月
- ・「北洋漁業への挑戦」 同年6～8月
- ・「網漁に使われた樽」 同年8～11月
- ・「イケス」 同年11月～

⑥休憩コーナーでの季節展示

- ・「3月上巳の節供」 令和4年3～5月
- ・「夏の涼」 同年5月～9月
- ・「灯」 同年9～11月
- ・「正月」 令和4年11月～令和5年3月

⑦「瀬戸内ギャラリー」企画展示

第1展示室中2階の「瀬戸内ギャラリー」(約100㎡)において、「瀬戸内」、「海」、「くらし」、「自然」、「環境」などのテーマで展示し、新たな瀬戸内文化の魅力の発信に取り組んだ。館蔵資料を中心に展示を行ったほか、歴史・美術・自然など分野を超えた外部の諸団体や個人と連携し企画展示等を開催した。年間4回実施。

	会期	展示名	内容
1	4.1(金)～ 6.26(日) [開催日数 76日]	香川県立ミュージアム特別展開連企画 戦後香川の“新たな産業工芸” 創出 —ジェトロ収集 海外優秀商品と 古民芸に学ぶ—	昭和40年代に設置された栗林公園民芸館や香川県技術開発センターデザイン研究所(当時)などの活動から、デザインで生活を豊かにしようとした戦後香川の新たな産業工芸創出に向けた試みについて紹介した。
2	7.9(土)～ 9.11(日) [開催日数 56日]	大人も楽しめる 昆虫のファッションショー —自然の芸術祭— ※協力:瀬戸内むしの会	瀬戸内国際芸術祭の開催に際し、デザイン性豊かな昆虫の色彩や模様、造形などを展示し、自然の創造力や多様性などを紹介するとともに、「瀬戸内の昆虫」についても特集展示し、瀬戸内地域の自然環境と

			昆虫について考える展示を実施した。
3	10.1(土)～ 12.18(日) [開催日数 68日]	いにしによる —断片たちの囁きに、耳を— ※共催:(一社)トピカ	高松市塩江町、内場ダム湖のほとりに石垣を抱いて建つ古民家。地域の人たちが用事の帰りによく立ち寄っていた『いにしによる』家。地域住民と文化人類学者、芸術家が歴史のレイヤーを一枚一枚めくりながら、断片の声を聞き、息吹を注ぎ込んだ、そのプロセスを展示した。
4	R5.1.4(水)～ 3.19(日) ※臨時休館 R5.2.13(月)～ 2.17(金) [開催日数 61日]	高橋克夫民俗写真展—瀬戸内の 景観・くらし・ひと—	当館開館時期の民俗専門職員であった高橋克夫が長年にわたり撮影した、高度経済成長後の瀬戸内の景観、生業、くらし、祭りのようすを紹介した。



「大人も楽しめる昆虫のファッション」解説シート(左)

「いにしによる —断片たちの囁きに、耳を—」チラシ(右)

⑧テーマ展示

第9・10展示室において、館蔵資料の積極的な公開や新たな視点で「民俗文化」を紹介したり、自然分野から生活環境をみたりするなど、以下のテーマ展を開催した。

	会期	展示名	内容
1	R4. 3. 19 (土)～ 6. 19(日) [開催日数 78日]	記録にみる香川の 地震	他県にくらべ香川 県は比較的地震災 害が少ないといわ れているが、江戸 時代以降に記され た古文書などの記 録類には、複数回 発生した地震に関 する記事を見つけ ることができる。地 震発生時の様子や その後の対応など を詳細にひも解き、過去の震災記 録から現代の防災 について考える展 示を行った。
2	7. 9(土)～ 11. 6(日) ※臨時休 館 9. 12(月) ～ 9. 16(金) ・19 (月・祝) [開催日数 100日]	くらしの道具の技 術革新 —実用新案と特許 —	特許大国といわれ る現代日本の技術 発展の礎の一つと される実用新案法 (明治38年)に注 目して民俗資料を 見直し、くらしの道 具の技術革新や在 来産業、特に地方 の職人や工場の 技術革新への取り 組みの一端を紹介 した。

(2) 広報

館独自のホームページを更新し、アクセス数の増加を図った。令和4年度のホームページトップページへのアクセス数合計は17,367件で、前年度(12,929件)より増加した。

2 地域連携学習支援事業

当館が専門とする歴史・民俗の分野を中心に、自然や環境などの視点も積極的に加えながら、学校や地域の人たちと学びを深め、共に活動する取り組みを行っている。

令和4年度は、当館を活用した学校団体等への学習支援のほか、各地域での講演会・講座への講師派遣、市町や国立機関・大学等と連携した調査研究等の取り組み、継続的なボランティア活動などを行った。

(1) 学校教育支援活動

令和4年度の学校団体利用は、7団体232人であった。昨年度から引き続き、県外中学校の修学旅行や県内小学校の校外学習利用が見られるほか、大学の授業や実習での利用も見られた。なお一般団体の見学利用は28団体556人であり、昨年度から倍増している。

なお、学校教育との連携を図っていくため、常設展示見学の際に用いる資料や、学校向けの当館活用ガイドを作成した。

(2) 地域連携活動

①職員の講師等の派遣

令和4年度は各団体主催の17回の講演会・講座等に職員を派遣し、2,530人の参加者があった。

月日	派遣職員	テーマ・内容	主催	参加者数
6.18(土)	松岡明子	本門寺所蔵日蓮聖人画像について	三豊史談会	29人
7.19(火)	田井静明	西讃の四国八十八ヶ所写し霊場について	蓬萊歴史研究会	17人
9.14(水)	松岡明子	世界遺産の視点から考える四国遍路	(一社)四国八十八ヶ所霊場会	730人
10.15(土)	松岡明子	四国遍路の札所における大師堂	総本山善通寺	50人
10.19(水)	田井静明	瀬戸内の祭りとお木島の祭り	女木コミュニティセンター	13人
11.3(木・祝)	真鍋篤行	海民の足跡を辿る旅—網漁と信仰を中心に—	周防大島町教育委員会	25人
11.7(月)	松岡明子	遍路文化を学ぶ～四国遍路の歴史と特質	徳島文理大学	315人
11.12(土)	真鍋貴匡	讃岐の風呂文化について	さぬき市教育委員会	20人
11.20(日)	松岡明子	未来を拓く 細川林谷記念館・美術館のあり方を求めて	さぬき市文化財保護協会	120人
11.22(火)	田井静明	香川県の祭り、三豊市の祭り	財田町公民館	17人
12.6(火)	田井静明	瀬戸内の石の文化	せとうち備讃諸島日本遺産推進協議会	20人
12.11(日)	田井静明	香川県内コロナ禍	獅子舞王国	89人

		における祭り・民俗 芸能の実施状況	さぬき実行 委員会	
12.20(火)	田井静明	瀬戸内国際芸術祭 の島々の民俗	財田町公民 館	18人
R5.1.21 (土)	田井静明	香川県の写し壺場	讃岐国分寺 跡資料館	27人
2.18(土)	田井静明	栗林公園民芸館ツ アー(案内人)	栗林公園観 光事務所	21人
2.19(日)	田井静明	栗林公園民芸館ツ アー(案内人)	栗林公園観 光事務所	19人
3.25(土)	田井静明	風流まいまいフェス トークショー	香川県教育 委員会	1,000 人

②他機関との連携、地域の活動への協力

i) 小豆島町教育委員会

小豆島町教育委員会より、個人収集の民俗資料の確認方法や作業方法について指導依頼があり対応した。

ii) 観音寺市教育委員会文化振興課

文化庁の地域活性化のための伝統行事等振興事業の祭礼用具修理申請にかかる指導等を行った。

iii) 国立歴史民俗博物館

国立歴史民俗博物館広領域連携型基幹研究プロジェクト「フィールドサイエンスの再統合と地域文化の創発」の共同研究員として参加し、研究を行った。

iv) 香川大学創造工学部

令和5年度の開館50周年に向けて、館の情報発信や展示方法の改善などについて共に検討を行った。

v) 香川県・東京藝術大学連携事業

瀬戸内海分校プロジェクトに協力し、高校生のリサーチ活動の一部を当館で開催した。

③ボランティア

県立ミュージアムボランティアの分館グループとして活動し、令和4年度は35名の登録を得た。

令和4年度も新型コロナウイルス感染防止の観点から、展示案内は活動を見送り、その他の活動については、感染防止に留意し、寄贈手続き予定資料の整理や王越町の分布調査、展示室の環境整備などを中心に活動した。また、令和5年度の開館50周年に向けて、ボランティアの自主企画による企画会議を実施した。

i) 展示案内

令和4年度も活動を見送った。

ii) 資料整理 歴史・民俗資料の整理

19名が延べ130回の活動を行い、近代の漁業関係資料、館蔵図書、漁網資料の計測、昭和広告資料、昭和～平成全国民芸品土産資料等の整理を実施した。

iii) 館外調査

6名のボランティアが延べ13回活動を行い、坂出市王越町地域調査として、分布調査や瓦、石造物の調査を実施した。

iv) 館行事(イベント)補助他

21名が延べ19回の活動を行い、ワークショップ「瀬戸内探訪」・「れきみん常設展示ツアー」の補助や、れきみん講座の受付、特別開館の準備実施補助などを行った。

v) 環境整備

6名のボランティアが延べ2回の活動を行い、館内展示室の露出展示資料や展示ケース内の資料の清掃を職員と一緒に実施した。

vi) 開館50周年事業

11名が11回の活動を行い、令和5年度の開館50周年事業に合わせたボランティア企画の展示にむけた企画会議を行い、テーマ、章立て、展示資料等について打ち合わせを実施した。

内容	活動者計	活動者数	活動回数/ 総人数
展示案内	39名	—	—
資料整理		19名	130回/175名
館外調査		6名	13回/33名
イベント補助		21名	19回/86名
環境整備		4名	2回/5名
開館50周年事業		11名	11回/89名
合計			175回/382名

(3) 普及活動

①れきみん講座

当館職員が調査・研究成果などを分かりやすく紹介する「れきみん講座」を、研修室を会場として6回実施した。新型コロナウイルス感染拡大防止対策として1・2回目は昨年通り午前(10:00～11:00)・午後(13:30～14:30)の二部制とし、定員を各回12人、(+受付ボランティア)で実施した。その後、感染拡大防止対策の段階的な緩和により、3回目は二部制を維持しつつ定員を各14人に増員し、4～6回目は定員を24人に増員した上で午前のみ実施の一部制とした。

	日時	テーマ	担当	受講人数
1	6.25(土)	戦後香川の“新たな産業工芸”創出	田井静明	午前 15人 午後 4人
2	7.23(土)	くらしの道具の発明	真鍋貴匡	午前 7人 午後 0人

3	9.24(土)	香川の主な漁業の歴史	川西敦	午前 9人 午後 8人
4	12.17(土)	瀬戸内海歴史民俗資料館の開館と五色台	松岡明子	20人
5	R5.1.21(土)	民俗写真に写し出された海辺の生業の風景	真鍋篤行	11人
6	2.4(土)	高橋克夫民俗写真からわかること	田井静明	21人



講座「瀬戸内海歴史民俗資料館の開館と五色台」実施風景

②ワークショップ

「瀬戸内探訪」は、屋島と志度で実施し、海上交通や古戦場として古い歴史をもつこれらの地を訪ね、貴重な文化遺産についての理解を深めた。新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、午前・午後の二部制とし、定員は各回15人(1組3人まで応募可のため最大17人)で実施したが、いずれも定員を割ることなく、特に屋島は応募総数が71組97人と過去最多となった。

また、当館の魅力発信のため、「夜のれきみんを楽しむ」と題した特別開館を実施した。館蔵の船舶灯、提灯、行灯などに照明器具を仕掛け展示し、y-工房のさとうゆうじ・ゆき氏の協力を得て館長室や玄関前等に作品を展示したほか、イサム・ノグチ《AKARI》(香川県立ミュージアム蔵)を館長室に陳列し、館内ツアーも実施した。

そのほか、新型コロナウイルス感染症による臨時休館のため令和4年度に実施できなかった「常設展示ツアー」を瀬戸内国際芸術祭2022の会期に合わせて実施したほか、「春のれきみん探訪ツアー」と題して、常設展示室や収蔵庫の一部、敷地内の石造物等を解説するツアーを実施した。

	月日	テーマ	担当	参加人数 (事前 申込数)
1	5.29(日)	瀬戸内探訪①	当館職員	午前17人

		-屋島-		(56人) 午後17人 (41人)
2	8.21(日)	れきみん常設 展示 解説ツアー	当館職員	午前10人 (7人) 午後3人 (7人)
3	10.8(土)～ 10(月・祝)	特別開館 夜の れきみんを楽しむ	当館職員・ ボランティア	8日44人 9日34人 10日44人 (先着順)
4	11.27(日)	瀬戸内探訪② -志度-	当館職員	午前17人 (24人) 午後17人 (15人)
5	R5.3.19(日)	春のれきみん 探訪ツアー	当館職員	23人 (20人)



「瀬戸内探訪② -志度-」実施風景



「特別開館 夜のれきみんを楽しむ」実施風景

③展示関連イベント

瀬戸内ギャラリーの展示にあわせて、2件のイベントを開催した。「大人も楽しめる昆虫のファッションショー」では、身近な瀬戸内地域の昆虫について学ぶ講座と展示会場

での解説からなるミニ講座を実施した。また、「いにしによる」では、展示関係者が研修室や展示室で語るギャラリートークを開催した。

	月日	テーマ	講師等	参加人数
1	7.31(日)	ミニ講座 「瀬戸内の昆虫」	出嶋利明 (瀬戸内むしの会)	15人
2	10.1(土)	ギャラリートーク 「いにしによるとは」	小野環 服部志帆 横谷奈歩 村山淳	23人

④その他

香川県立ミュージアムで以下の講座を実施した。

	月日	テーマ	担当	参加者数
1	6.26(日)	学芸講座 「民俗調査 40年」	田井静明	65人
2	R5.2.25 (土)	ミュージアム・プレゼン テーション 2023 「志々島の交易について」	井奥亮太	71人

3 調査・研究事業

(1) 調査研究活動

①歴史民俗総合調査研究

当館近郊の高松市亀水町の民俗行事の記録を行うとともに、坂出市王越町の地域調査を実施した。王越地区ではボランティアとともに寺社瓦紋調査や梅宮神社の金石文調査を行った。

また、香川県埋蔵文化財センター・香川県立ミュージアムとともに、直島総合調査を行い、その成果報告会を令和4年6月(令和3年度分)、令和5年3月(令和4年度分)に行った。報告内容は以下のとおり。

	月日	テーマ	担当	参加人数
1	6.11(土)	古文書が語る直島の 自然災害	芳澤直起 (県文化振興課)	50人
2	R5.3.4 (土)	直島と崇徳院ー江戸 時代末期～昭和時代 の史実・伝説をたど るー	田井静明	60人

②有形民俗資料の調査研究

収蔵している民俗資料の一部をロビー等で展示公開した。また、収蔵している網漁具について、ボランティアとともに再確認調査を実施し、調査成果を県立ミュージアム調査研究報告に掲載した。

既収蔵のミセエドやイワシ地びき網船の確認調査として、徳島県牟岐町及び愛媛県伊予市上灘において、再度、聞き取り調査を行った。

また、広島県尾道市の家船の釣り漁の記録調査や尾道市向島の櫓屋調査を行った。

③無形民俗資料の調査研究

新型コロナウイルス禍のもと、香川県内の秋祭り等の行事がどのような影響を受けたのか、またどのような工夫をして実施したのかなど、現況調査を行った。

④展示に係る調査

テーマ展「くらしの道具の技術革新」、ギャラリートーク「高橋克夫民俗写真展」に関連する調査を行った。

⑤レファレンス等による調査

i) レファレンス対応

令和4年度に対応したレファレンスは以下のとおり。

項目	件数
質問	76
寄贈・寄託希望	6
調査依頼	5
資料情報その他	22
合計	109

ii) 資料の寄贈・寄託の申し出に伴う調査

16件の寄贈申込みを受けて調査した。そのうち、さぬき市で船大工資料、三豊市・高松市で土器や化石を含む海揚げ資料、善通寺市でたばこ生産用具、観音寺市で供膳具などを調査し、寄贈手続きを行った。

⑥教育普及に伴う調査

れきみん講座やワークショップ「瀬戸内探訪」などに関連した調査を行い、これらの調査成果を反映させた。

(2) 成果物の公表

①研究成果の公表

i) 論文・報告・紹介など(館外)

以下、香川経済研究所『調査月報』は『調査月報』、『四国新聞』ディープ KAGAWA は『四国 DK』と略す。

井奥亮太

- ・「瀬戸内海を渡ってきた昆虫」『四国DK』(R4. 8. 26 付)
- ・「糸荷廻船絵馬」『調査月報』429号 (R4. 12. 1)

川西 敦

- ・かがわ漁業塾「香川の漁業の歴史」(R4. 5)

田井静明

- ・出演「中村獅童の灯台見聞録 2 瀬戸内海編」(BS テレビ東京) R4. 7. 21
- ・「小豆島霊場」愛媛大学四国遍路・世界の巡礼研究センター『四国遍路と世界の巡礼 上』R4. 7. 30
- ・講演「地域社会の伝承母体を考える」(香川歴史学会 R4. 8. 7)
- ・「戦後デザイン運動の原点(5) 関連企画「戦後香川の“新たな産業工芸”創出」」『四国DK』(R4. 5. 13 付)
- ・「風景が物語る瀬戸内の力(2)「生活景」と「名所景」、人々の暮らしの様子が描かれた瀬戸内の風景」『四国DK』(R4. 9. 23 付)
- ・「地域総合調査研究事業 今年度の調査成果(2) 過去に採録されたカセットテープから」『四国DK』(R5. 1. 20 付)

真鍋篤行

- ・口頭報告「近代日本に於ける漁網の資料修正作業の経過と若干の事例報告」(日本民具学会研究発表会 R3. 12. 4)
- ・「林田漁民のタイ網営業許可申請書中のタイ網図について」『坂出市史研究』10号 (R4. 1)

真鍋貴匡

- ・テーマ展解説シート「くらしの道具の技術革新—実用新案と特許—」R4. 7. 9
- ・「道具に取り入れられた先人の工夫」『四国DK』(R4. 9. 2 付)

ii) 自治体や他機関からの委嘱など

田井静明

- ・観音寺市教育委員会「観音寺市ふるさと学芸館運営委員」委嘱
- ・国立歴史民俗博物館基礎研究プロジェクト「地域における歴史文化研究拠点の構築」共同研究者
- ・公益財団法人四国民家博物館理事
- ・坂出市史編さん委員

松岡明子

- ・観音寺市教育委員会「観音寺市文化財保護審議会委員」委嘱

iii) 当館刊行物及び香川県立ミュージアム刊行物

田井静明

- ・コラム「自ら発見し描いた瀬戸内の風景」、「昭和の香川県の風景地選定」(写真・高木理光)、「瀬戸内の風景の魅力」『風景が物語る瀬戸内の力』(R4. 10)

真鍋篤行

- ・コラム「『児島湾漁撈回漕図』—近世に於ける干潟と海の生業風景の自画像—」、「風景が物語る瀬戸内の力」(R4. 10)
- ・「網漁具における「袖付打瀬網」「定置式袋網」の分類について」『香川県立ミュージアム調査研究報告』第14号 (R5. 3)

真鍋貴匡

- ・歴史テーマ展解説シート R4-2 「くらしの道具の技術革新—実用新案と特許—」(R4. 7)

松岡明子

- ・コラム「海の霊験の風景」『風景が物語る瀬戸内の力』(R4. 10)

iv) 『香川県立ミュージアムNEWS』での調査研究・資料紹介等

川西敦

- ・「海中での漁の様子を伝える漁具模型」(れきみんだより・NEWSvol. 58)

真鍋篤行

- ・「れきみん 50周年を前にして—瀬戸内海民俗文化の探求の軌跡—」(れきみんだより・NEWSvol. 59)

真鍋貴匡

- ・「くらしの道具にみられる表示」(れきみんだより・NEWSvol. 57)

②刊行物

i) テーマ展解説シート

- 「くらしの道具の技術革新—実用新案と特許—」(A3判・2ツ折、モノクロ刷、2,000部)

ii) せとうちギャラリー企画展解説シート

- 「大人も楽しめる昆虫のファッションショー—自然の芸術祭—」(A3判・2ツ折、カラー刷、2,000部)

4 資料の収集・整理・保管事業

(1) 資料収集活動 (令和5年3月末現在)

令和4年度収集数 ※移管他に採集を含む

部門	購入	寄贈	寄託	移管他	計
民俗	0	1,636	0	0	1,636
歴史	0	0	0	0	0
資料	0	0	0	0	0
計	0	1,636	0	0	1,636

令和4年度末累計

部門	館蔵(購入・寄贈・移管他)	寄託	計
民俗	30,039	0	30,039
歴史	84,662	12,573	97,235
考古	253	947	1,200

資料	76	0	76
計	115,030	13,520	128,550

①民俗資料(掲載の順序は、原則手続き順による)

・さぬき市津田町の大工道具	185点
・坂出市の海揚がり資料	2点
・観音寺市の町屋生活資料	145点
・三豊市豊中町の生活用具	92点
・東かがわ市引田の漁撈用具	641点
・高松市庵治町の海揚がり資料	94点
・三豊市仁尾町の漁撈用具	2点
・高松市の商家信仰資料	5点
・高松市国分寺町の生活資料	24点
・坂出市の農具	1点
・善通寺市の煙草生産用具	24点
・三豊市詫間町の海揚がり資料	43点
・東かがわ市の農家生活用具	16点
・徳島県海部郡牟岐町の漁撈用具	2点
・三豊市高瀬町のレコード関連資料	354点
・高松市の和船模型、地曳網模型	6点

計 1,636点

②文献資料

- i) 報告書・図書等の寄贈点数 297点
- ii) 購入雑誌 日本民俗学、民具研究 2点

(2) 資料整理保管活動

①資料整理活動

簡易目録化を終えた高橋克夫資料について、寄贈手続きのための確認作業を実施した(継続中)。また、荘内半島地主資料の整理も継続中である。

②収蔵資料管理システム

県立ミュージアムのデータベースシステムを当館でも運用している。寄贈資料情報1,636点(令和4年度末まで)を入力した。

(3) 資料の特別利用

利用区分一覧 利用申請 計39件

利用区分		件数	点数
貸出		1	1
閲覧		19	250
画像利用	出版	10	36
	放映(再放送を含む)	3	3
	掲出(パネル展示等)	1	1
	WEB等掲載	0	0
	DVD等掲載	0	0
	撮影・複写・紙焼等	1	61
複製製作		0	0
その他		3	9

※一申請で複数の利用区分がある場合があるため、利用総数と区分別の総数は異なる。

①貸出利用

番号	資料名	利用者	目的	利用
1	イノシシ (はく製)	三豊市	栗島芸術家村事業で展示	展示

②閲覧利用

番号	資料名	点数	申込者	利用目的	区分
1	三浦家文書「南海治乱記」など	14	個人	過去の地震災害の研究	閲覧
2	三野郡隠岐村宝寿院文書「浪打八幡宮」など	61	個人	調査研究	閲覧
3	松浦正文庫「漆原家系譜」など	5	個人	高松藩士に関する調査研究	閲覧
4	長尾武夫資料「製品模型(碎土器模型)」	1	個人	調査研究	閲覧
5	藤原家船図面等「船寸法之図(複写)」など	2	ユニコム株式会社	ユニコム株式会社 40 周年記念誌に掲載	閲覧
6	瀬戸内海及び周辺地域の漁撈用具「ジャコタテ網」など	3	岡山理科大学生物地球学科	漁撈用具の調査研究	閲覧
7	松浦正文庫「荘園志料 昭和十九年三月写し」など	5	個人	書籍作成、調査研究	閲覧
8	松浦正文庫「生駒家分限帳 寛永 16 年 3 月」など	13	個人	生駒家家臣佐藤氏の調査研究	閲覧
9	那珂郡藤田家文書「豊田元良小傳」など	2	早稲田大学国際情報研究センター	「土族授産の研究」の論文作成	閲覧
10	大内郡引田村日下家文書「御用留」など	24	東かがわ市歴史民俗資料館	引田の歴史的町並み調査	閲覧
11	大内郡引田村日下家文書「月番帳」など	13	個人	四国遍路研究	閲覧
12	松浦正文庫「郷土博物館第三回陳列目録」	15	鎌田共済会郷土博物館	鎌田共済会郷土博物館の活動調査	閲覧
13	瀬戸内海及び周辺地域の漁撈用具「マテツキ用具」	1	個人	修士論文執筆	閲覧
14	瀬戸内海及び周辺地域の漁撈用具「定置網の沈子」など	8	個人	管状土錘の製作研究	閲覧
15	志々島上田家(伊勢屋)文書「萬貫覚帳」など	2	東京文化財研究所	碁石茶の流通・利用調査	閲覧
16	ゴオノミサン、水口札など	10	個人	香川県内の水口祭の調査・研究	閲覧
17	瀬戸内海及び周辺地域の漁撈用具「アワビガネ」	20	横須賀市自然・人文博物館	調査研究	閲覧
18	岡田村への避病院設置をめぐる行政争訟に関する研究	2	個人	調査研究	閲覧
19	松浦正文庫の讃岐国分寺等に関する資料の調査研究	49	個人	調査研究	閲覧

③画像利用

番号	資料名	点数	申込者	利用目的	区分
1	「さとう車」など	8	個人	瀬戸内国際芸術祭の関連プログラム	掲載
2	ナマセン(『瀬戸内の漁船・廻船と船大工道具調査報告』第2年次)	1	明石市	明石市立文化博物館 企画展「明石の木造船」展示パネル	掲載

3	松浦正文庫「小神野筆帖(仁)」	1	高松市教育委員会	『桜御門内展示パネル』	掲載
4	三野郡詫間村宝寿院文書「浪打八幡宮」	61	東京大学史料編纂所	研究・編纂業務の参照	研究
5	松浦正文庫「栗林御庭図」	1	個人	学術書籍	掲載
6	有柄式磨製石剣	1	国立歴史民俗博物館	企画展示「いこしえが、好きっ！—近世好古図録の文化誌—」の展示図録等	掲載
7	瀬戸内海歴史民俗資料館竣工間際の写真(外観)	1	個人	書籍	掲載
8	讃岐国松平領海岸絵図 引田浦碁の浦ヨリ安戸池迄	1	公益財団法人山陽放送学術文化・スポーツ振興財団	シンポジウム記録集	掲載
9	合田栄作資料「直島本浦地区」	1	株式会社日経映像	テレビ東京「新美の巨人たち」	放送
10	松浦正文庫「小神野筆帖(仁)」	1	高松市広聴広報課	高松市広報番組「高松、歴史礼賛」	放送
11	草薙金四郎文庫「借耕牛実写」	1	個人	雑誌『歴史研究』	掲載
12	松浦正文庫「史蹟名勝天然記念物調」	1	土庄町教育委員会	『特別天然記念物宝生院のシンパク保存活用計画書』	掲載
13	『香川県の民謡』番号37-4など	3	NHK 大阪放送局	NHK2023年度後期 連続テレビ小説『ブギウギ』劇中歌の参考	その他
14	瀬戸内海歴史民俗資料館撮影「西山神社の神楽(鉦女)」など	11	坂出市史編さん所	文化史さかいでシリーズ「坂出のまつり 祀りと祭り——(仮称)」	掲載
15	香川県民家第1次調査表 仲多度郡・三豊郡「香川県72001」など	3	個人	卒業論文作成	その他
17	「ゴオノミサン」など	10	個人	学術雑誌『香川の民俗』	掲載
18	イカナゴ込込網模型	1	高松市広聴広報課	高松市広報番組「高松、歴史礼賛」	放送
19	北条念仏踊平成6年度中踊り記録映像データ	3	坂出シニアライオンズクラブ	北条念仏踊(県指定無形民俗文化財)の復活の参考	その他

分館 香川県文化会館

1 展示事業

会期	展示名・内容	入場者数
R5.2.4(土)～19(日)	香川県文化芸術新人賞展 主催：県立ミュージアム	454人

2 貸館事業

(1) 県民ギャラリー

場 所	内 容	件 数	日 数
全 展 示 室	美術展、書道展など	10件	53日
2階展示室	書道展、写真展、絵画展など	9件	82日
3階展示室	書道展など	3件	18日
合 計		22件	153日

(2) 芸能ホール

場 所	内 容	件 数	日 数
芸能ホール	邦楽演奏会、日本舞踊、寄席など	49件	59日
合 計		49件	59日

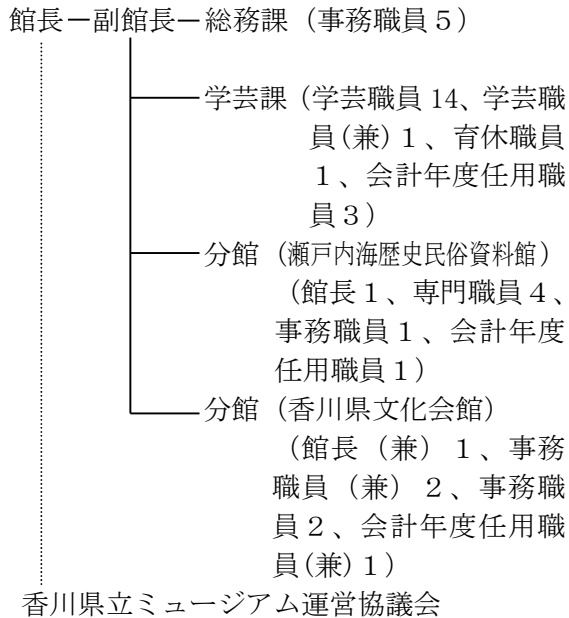
(3) 和室

場 所	内 容	件 数	日 数
和 室	茶会など	97件	104日
合 計		97件	104日

III 組織と運営

1 組織・職員

(1) 組織図 (令和5年3月31日現在)



(2) 職員名簿

館長	象山 稔彦
副館長	古野 徳久
＜総務課＞	
総務課長	鈴木 香里
副主任	福永 ゆかり
主任	大西 伸司
主任主事	乃万 悟
主任主事	植田 有貴
＜学芸課＞	
学芸課長	野村 美紀
主任専門学芸員	御厨 義道 [収集管理]
主任専門学芸員	三好 賢子 [企画]
主任専門学芸員	窪美西 嘉子 [地域連携]
主任専門職員	櫻木 拓 [地域連携]
主任専門職員	高木 理光 [企画]
専門学芸員	高木 敬子 [収集管理]
専門学芸員(兼)	一柳 友子
専門学芸員	鹿間 里奈 [企画]
主任主事	岡本由貴子 [企画] (育休)
学芸員	日置 瑤子 [収集管理]
学芸員	川邊 優佑 [収集管理]

学芸員	黛 友明 [収集管理]
主事	石井 優美 [地域連携]
学芸員	芝野 有純 [収集管理]
学芸員	藤井 俊輔 [企画]
会計年度任用職員	田口 慶太
	[美術コーディネーター]
会計年度任用職員	芳地 智子
会計年度任用職員	小野 麻美

＜分館 (瀬戸内海歴史民俗資料館)＞

館長	松岡 明子
専門職員	真鍋 貴匡
専門職員	井奥 亮太
専門職員	真鍋 篤行
専門職員	田井 静明
主任	川西 敦
会計年度任用職員	白石 公信

＜分館 (香川県文化会館)＞

館長(兼)	古川 京司
次長(兼)	新 一郎
主任(兼)	武田 美里
主任	坂本 聖二
主任	大方 和男
会計年度任用職員(兼)	上島 美香

2 予算

予算は管理運営費と事業費からなる。

令和4年度当初予算 (単位：千円)

管理運営費	事業費	計
372,934 ※1、※2	66,440	439,374

※1 職員給与費を含む

※2 文化芸術振興基金事業を含む

3 香川県立ミュージアム運営協議会

県立ミュージアムの事業をはじめとする運営全般について意見を求める香川県立ミュージアム運営協議会の会議を次のとおり開催した。

- ・第1回運営協議会
日 時：令和4年10月21日
会 場：香川県立ミュージアム 会議室
議 事：令和3年度事業実績について
香川県立ミュージアム中期活動計画の取り組み状況について

- ・第2回運営協議会
日 時：令和5年3月16日
会 場：香川県立ミュージアム 会議室
議 事：香川県立ミュージアム中期活動計画の取り組み状況について
次期香川県立ミュージアム中期活動計画（案）について
令和5年度事業計画について

- 2 委員は、学識経験者、文化芸術団体、学校教育、家庭教育、利用者団体等の関係者から、館長が委嘱する。
- 3 委員の任期は、2年とし、再任されることを妨げない。ただし、委員に欠員を生じた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。（会長および副会長）

- 第3条 協議会に会長及び副会長1人を置く。
- 2 会長及び副会長は、それぞれ委員が互選する。
- 3 会長は、会務を総理する。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。（会議）
- 第4条 協議会の会議は、館長が招集し、会長がその議長となる。（庶務）

- 第5条 協議会の庶務は、香川県立ミュージアムにおいて行う。

附 則

- 1 この要綱は、平成20年4月1日から施行する。
- 2 協議会設置当初の委員の任期は、第2条第3項本文の規定にかかわらず、平成22年3月31日までとする。
- 3 香川県歴史博物館事業懇談会設置要綱(平成19年4月1日施行)は、廃止する。

香川県立ミュージアム運営協議会委員
(五十音順)

氏 名	所 属 等
生田真理子	おいでまい町家プロジェクト in 香川 TADOTSU (代表) 多度津町まねきねこ課推進員
胡 光	愛媛大学法文学部教授
大西忠	NHK高松放送局放送部長
大西由子	香川県立ミュージアムパスポート会員
岡克典	四国新聞社編集局生活文化部長
熊田知香	香川県小・中学校文化連盟事務局長
藏本秀彦	高松工芸高校教諭
小西智都子	ROOTS BOOKS 代表
紫和恵理子	香川県PTA連絡協議会 母親代表委員会委員長
圖子秀達	香川県美術家協会洋画部門会員
守田逸人	香川大学教育学部教授

香川県立ミュージアム運営協議会設置要綱
(設置)

- 第1条 香川県立ミュージアムの運営について意見を求めるため、香川県立ミュージアム運営協議会（以下「協議会」という。）を設置する。

(組織)

- 第2条 協議会は、15人以内の委員で組織する。

4 利用状況

(単位：人)

令和4年度(令和5年3月31日現在)		
特別展	戦後デザイン運動の原点—デザインコミッティーの人々とその軌跡	5, 4 2 3
	第86回香川県美術展覧会	5, 3 3 4
	せとうちの大地—美術の視点	2, 8 2 4
	風景が物語る瀬戸内の力—自然・歴史・人の共鳴—	4, 2 8 9
	第69回日本伝統工芸展	4. 6 1 4
	計	2 2, 4 8 4
常設展(歴史展示+企画展示)		2 9, 4 7 0
教育普及活動等利用者		3, 3 3 5
貸館		5, 0 1 2
本館 合計		6 0, 3 0 1
分館瀬戸内海歴史民俗資料館		1 2, 3 6 1
分館文化会館		
主催展	香川県文化芸術新人賞展	4 5 4
貸館		1 8, 3 4 2
分館文化会館 合計		1 8, 7 9 6
県立ミュージアム 総計		9 1, 4 5 8

IV 施設の概要

(令和4年4月1日現在)

本館

1 建築等の概要

● 建設の概要

敷地面積	5,016.77 m ²
建築面積	3,419.60 m ²
延床面積	19,656.99 m ²
塔屋1階	86.70 m ²
6階	811.57 m ²
5階	1,273.69 m ²
4階	1,782.11 m ²
3階	3,702.19 m ²
M2階	3,150.68 m ²
2階	980.84 m ²
1階	2,606.37 m ²
B1階	2,600.64 m ²
B2階	2,734.20 m ²
階数	地上7階、地下2階、塔屋1階
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造及び鉄骨造・鉄筋コンクリート造
高さ	GL+44.19m

● 設備の概要

空気調和設備

■空調設備 ・一般系統 ・収蔵庫系統 ・展示室系統	室の用途に応じて次のように対応 単一ダクト方式+FCU 単一ダクト方式 直接空調、間接空調併用 単一ダクト方式 展示ケースはケース周囲空調による間接空調
■自動制御設備	デジタル方式による空調設備温湿度制御及び省エネルギー制御。中央監視盤による各動力機器の自動・遠隔発停、状態監視、記録、温湿度の監視、記録、電力設備のデマンド制御、状態監視、記録を行う。
■燻蒸設備	固定設備

電気設備

■照明器具設備	
・展示室 (特別、企画)	一般照明はミニハロゲンランプ、展示ケースは美術館、博物館用AAA蛍光ランプ
・展示室 (歴史)	メタルハライドランプによる間接照明
■音声ガイド	ポータブル ROM プレーヤーによる音声ガイドシステム。1台で4ヶ国語の解説が聞ける設定。33項目の解説で、所要時間約47分
■監視	中央監視室・警備員室で次の監視を行う。
・中央監視室	受電盤及び発電機の操作状況監視 照明副制御盤 自動火災報知機副受信盤 親時計
・警備員室	非常放送 監視カメラ 自動火災報知機副受信盤 防犯監視 照明主制御盤 身障者呼出し
■監視設備 (ITV)	

・展示室系統	展示室にカメラ16台
・駐車場系統	地下1、2階にカメラ16台
	それぞれ警備員室、管理事務室にモニター設置
■防犯設備	赤外線センサー、シャッター、ドアセンサー、カードリーダー、テンキー、電気錠
■自動火災設備 (防排煙含む)	中央監視室にGR型複合受信盤
■講堂設備	
・おもな機器	ハイビジョン対応プロジェクター1式、音響機器架3架、映像送出力架1架、固定式調整卓1式、移動調整ワゴン1式、マイクコンセント、インカム子機、オーバーヘッドカメラ、ワイヤレスアンテナ、メインスピーカー、ステージスピーカー、ハネカエリスピーカー
■研修室設備	
・おもな機器	ハイビジョン対応プロジェクター1式、音響・映像機器架1架、移動式調整卓1式、マイクコンセント、ワイヤレスアンテナ、メインスピーカー

給排水衛生設備

■中水設備	引込管、副受水槽を経由し、地中梁内利用受水槽 (200m ³ 2槽式) 高架水槽 (5m ³ 2槽式)
■雨水利用設備	屋上雨水管より雨水槽へ (50m ³)、ろ過装置經由後中水槽へ

消火設備

■イナージェンガス設備	展示室、収蔵庫、電気室、中央監視室、ビデオ編集室、薬品庫など20区画、ボンベ125本
■スプリンクラー消火設備	歴史展示室にブリアクションタイプ。地下階各居室ゾーンに設置
■屋内消火栓設備	イナージェンガス設備範囲外のすべての部分

昇降機設備

■エレベーター	
No.1、2号機	来館者用乗用エレベーター (地下2階～3階) 11人乗り 積載量750kg
No.3号機	乗用エレベーター (地下2階～6階) 17人乗り 積載量1,150kg
No.4号機	荷物用エレベーター (1階～5階) 積載量3000kg 開口4,000mm×奥行3,000mm
No.5号機	乗用エレベーター (地下2階～1階) 11人乗り 積載量750kg

設計・施工

設計	建築設計 展示設計	㈱日建設計 ㈱丹青社
施工	建築 電気 空調 給排水 昇降機 展示	清水・フジタ建設共同企業体 住友電設・久保電気建設企業体 大氣社・新英工業建設共同企業体 大氣社・新英工業建設共同企業体 ㈱東芝 ㈱丹青社

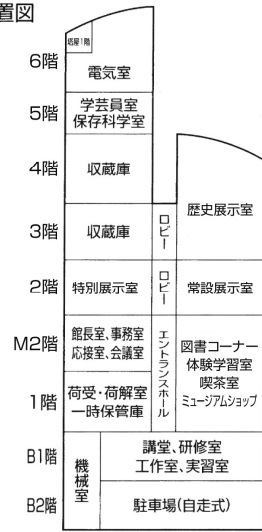
2 面積

部門名	おもな諸室	階数	面積 (㎡)	
展示部門	歴史展示室	3	1,188.65	
	常設展示室-1	2	332.76	
	常設展示室-2	2	78.57	
	常設展示室-3	2	139.23	
	常設展示室-4	2	150.73	
	常設展示室-5	2	130.19	
	常設展示室ロビー	2	293.96	
	特別展示室	2	726.13	
	展示準備室	2	78.06	
	パネル庫	2	77.30	
	その他		92.11	
		小計		3,287.69
学習支援部門	図書コーナー	1	274.58	
	体験学習室	1	113.33	
	準備室	1	18.53	
	準備室	1	58.68	
	講堂	B1	285.98	
	準備室	B1	84.72	
	研修室	B1	114.96	
	工作室	B1	64.84	
	実習室	B1	68.05	
	準備室1	B1	26.46	
	準備室2	B1	18.86	
	ボランティア室	B1	28.80	
	その他		4.33	
	小計		1,162.12	
調査・研究部門	学芸員室	5	260.04	
	整理作業室	5	36.17	
	整理分析室1	5	49.45	
	整理分析室2	5	122.47	
	保存科学室	5	143.73	
	薬品庫	5	20.60	
	資料鑑定室	5	35.42	
	書庫	5	164.36	
	資料閲覧室	5	12.77	
	情報処理室	5	21.56	
	資料保管庫	5	44.75	
	写真撮影室	4	81.32	
	暗室	4	17.14	
	ビデオ編集室	4	28.96	
	その他		286.50	
		小計		1,325.24
	収蔵部門	特別収蔵庫	3	200.12
		低湿収蔵庫	3	106.45
高湿収蔵庫		3	106.39	
歴史収蔵庫		3	586.37	
考古収蔵庫		3	411.62	
前室		3	156.19	
フィルム庫		4	193.87	
美術工芸収蔵庫		4	389.82	
民俗生活収蔵庫		4	593.82	
前室		4	88.48	
資材庫		1	33.46	
梱包資材庫		1	34.97	
修復室		1	30.11	
燻蒸庫		1	23.36	
一時保管庫		1	62.95	
荷受・荷解室		1	163.82	
トラックヤード		1	121.32	
その他			511.07	
		小計		3,814.19
管理部門	館長室	M2	56.25	
	応接室	M2	37.17	

	事務室	M2	110.31	
	印刷室	M2	13.44	
	書類庫	M2	30.42	
	展示案内員室	2	30.20	
	警備員室	1	22.86	
	救護室	1	17.32	
	授乳室	1	9.25	
	会議室	M2	110.34	
	休憩室	M2	34.28	
	更衣室	M2	54.09	
	器具庫	M2	15.13	
	物品庫	M2	17.55	
	清掃員控室	B1	32.95	
	中央監視室	B1	68.69	
	その他		384.04	
	小計		1,044.29	
機械関係	機械室	B2	215.13	
	熱源機械室	6	91.62	
	ポンプ室	B2	44.07	
	電気室	6	102.08	
	イナージェンボンベ室	6	83.09	
	排気ファン室	B2	27.12	
	氷蓄熱槽置場	6	138.79	
	その他		1,188.24	
		小計		1,890.14
	共用部分	エントランスホール (1階)	1	427.81
ロビー (2階)		2	388.68	
ロビー (3階)		3	433.73	
ゴミ庫		B1	40.77	
その他			2,616.55	
	小計		3,907.54	
喫茶・売店	喫茶室	1	113.84	
	ミュージアムショップ	1	42.11	
	その他		5.27	
	小計		161.22	
駐車場	駐車場	B2	1,961.04	
	業務用駐車場	B1	413.19	
	車路スロープ	B1・2	137.66	
	その他		552.67	
	小計		3,064.56	
総計			19,656.99	

3 各階配置図・平面図

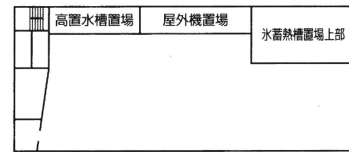
各階配置図



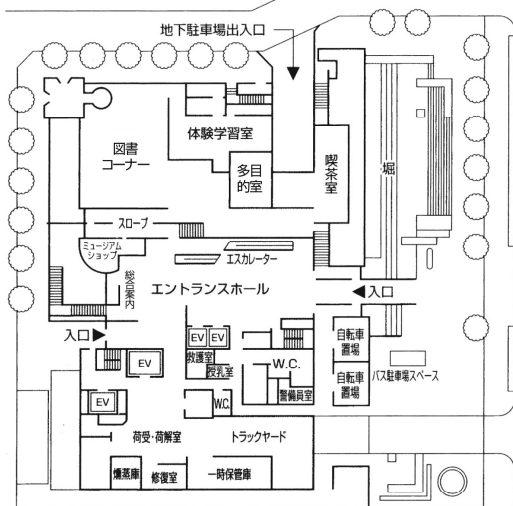
6階平面図



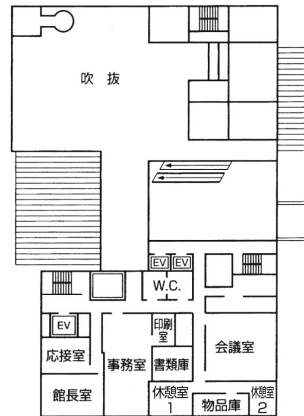
塔屋1階平面図



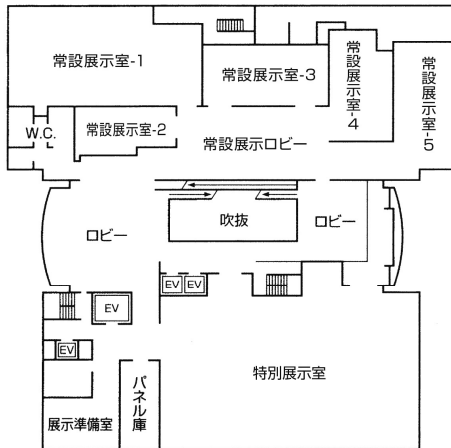
1階平面図



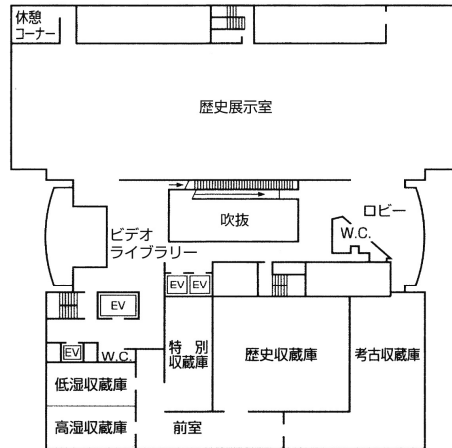
M2階平面図



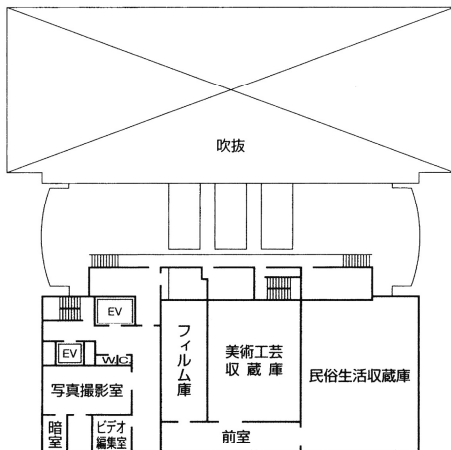
2階平面図



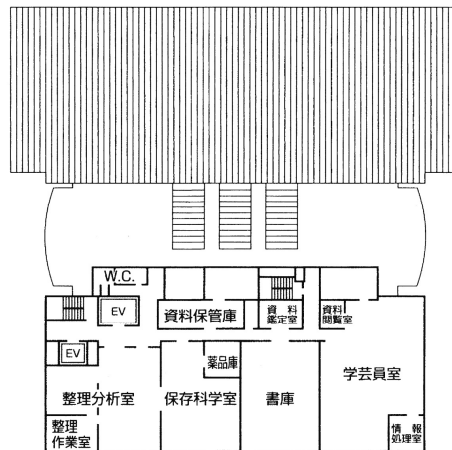
3階平面図



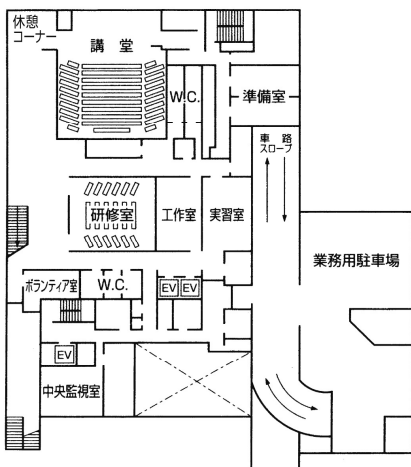
4階平面図



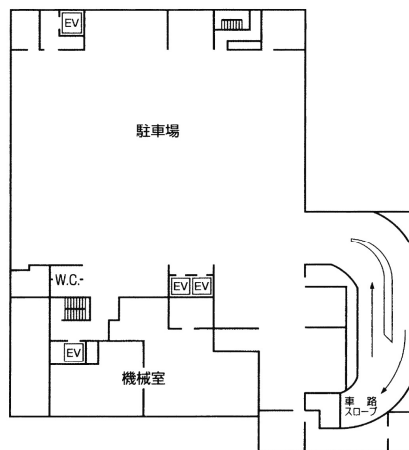
5階平面図



地下1階平面図



地下2階平面図



分館 瀬戸内海歴史民俗資料館

1 建築概要

設計 建築：香川県建築課
 協働：山本坦設計事務所
 構造：木村俊彦構造設計事務所
 設備：香川県建築課

監修 文化庁建造物課
 監理 香川県建築課

施行 建築：(株)高岸工務店
 電気：近畿電気工事(株)高松営業所
 給水・衛生・空調：第一設備工業(株)
 四国出張所

石壁：和泉政敏
 造園：(株)桂組

鉄筋コンクリート造
 平屋建（一部中2階）

外部 コンクリート打放し及び石積み

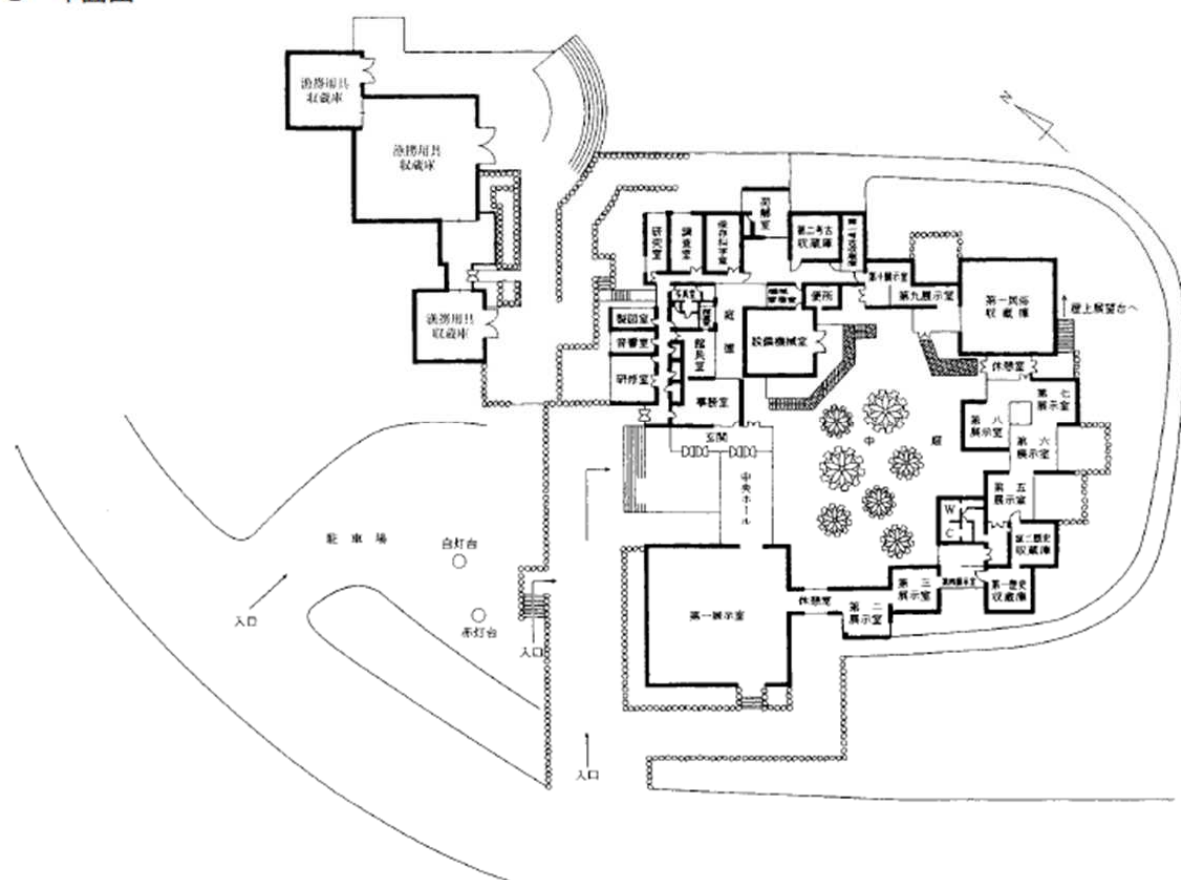
内部 床：れんがタイル及びビニタイル張り
 天井：プラスターボード張りボイルキン
 吹付け及びOPローラ引き

2 面積

室名	面積 (㎡)
玄関	68.00
事務室	88.00
館長室	48.00
倉庫	15.00
宿直室	40.00
写真室	24.00
研修室	64.00
音響室	32.00
製図室	32.00
研究室	44.00
調査室	60.00
保存科学室	60.00
荷解室	88.00
機械管理室	24.00
設備機械室	132.25
中央ホール	134.12
第一展示室	705.60
機械室	207.36
休憩室	32.00
第二展示室（歴史）	64.00
第三展示室（歴史）	64.00
第四展示室（歴史）	64.00
第一歴史収蔵庫	64.00
第二歴史収蔵庫	118.18
第五展示室（考古）	64.00
第六展示室（考古）	64.00
第七展示室（考古）	64.00
第八展示室（考古）	64.00
休憩室	32.00
第一民俗収蔵庫	256.00
第九展示室（特別展示室）	64.00
第十展示室（特別展示室）	64.00
第一考古収蔵庫	40.00
第二考古収蔵庫	117.60
地下収蔵庫（民俗）	94.00
地下収蔵庫（民俗）	120.00
漁撈用具収蔵庫	952.00
その他	173.00
計	4441.11

延床面積 4,441.11 ㎡
 （展示部門 1,281.60 ㎡ 収蔵部門 1,761.78
 ㎡ 管理部門 1,397.73 ㎡）

3 平面图



分館 香川県文化会館

1 建築概要

構造規模 鉄筋コンクリート造、地下1階、
地上7階建て

建築面積：923.91 m²、延べ面積：4628.02 m²

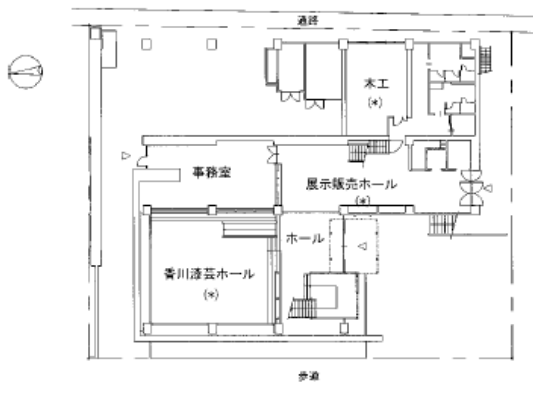
設置年月 昭和41年5月

2 面積

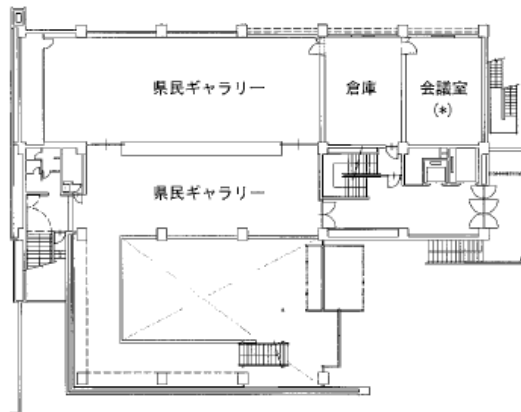
階	室名	床面積	階別面積
地階	機械室ほか	774.56	774.56
1階	香川漆芸ホール	152.10	844.16
	その他	692.06	
2階	県民ギャラリー	387.89	637.20
	その他	249.31	
3階	客席舞台	300.23	972.12
	県民ギャラリー	357.12	
	その他	314.77	
4階	和室	135.37	421.43
	その他	286.06	
5階	存清実習室ほか	301.78	301.78
6階	彫漆実習室ほか	301.78	301.78
7階	蒔醬実習室ほか	301.78	301.78
塔屋	その他	73.21	73.21
延べ面積			4,628.02

3 平面図

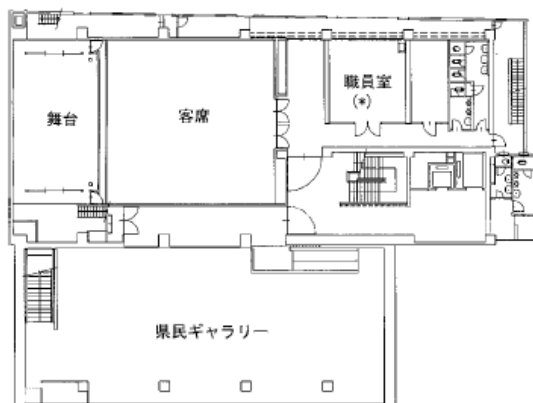
1階平面図



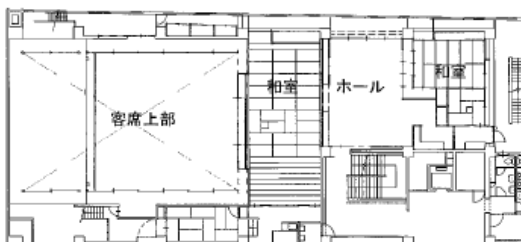
2階平面図



3階平面図



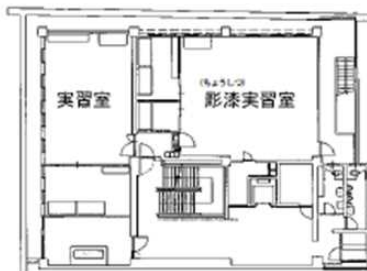
4階平面図



5階平面図(*)



6階平面図(*)



7階平面図(*)



図(*)は漆芸研究所

地階平面図



V 条例・規則等

(令和4年4月1日現在)

香川県立ミュージアム条例

(平成11年3月19日条例第6号)

(設置)

第1条 歴史、芸術及び民俗に関する県民の理解を深めるとともに、教育、学術及び文化の発展に寄与するため、博物館法(昭和26年法律第285号)第2条第1項に規定する博物館として、香川県立ミュージアム(以下「ミュージアム」という。)を高松市に設置する。

2 ミュージアムの分館として、瀬戸内海歴史民俗資料館及び香川県文化会館を置く。

(職員)

第2条 ミュージアムに、館長、学芸員その他の職員を置く。

(使用料の納入)

第3条 ミュージアムを利用する者は、香川県使用料、手数料条例(昭和27年香川県条例第2号)の定めるところにより、使用料を納入しなければならない。

(利用の許可)

第4条 ミュージアムを利用しようとする者は、教育委員会規則で定めるところにより、教育委員会の許可を受けなければならない。許可を受けた事項を変更しようとするときも、同様とする。

(委任)

第5条 この条例に定めるもののほか、ミュージアムの管理に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成11年11月16日から施行する。
(香川県使用料、手数料条例の一部改正)

2 香川県使用料、手数料条例の一部を次のように改正する。

(次のよう略)

附 則(平成16年3月26日条例第28号)

この条例は、平成16年4月1日から施行する。

附 則(平成19年3月20日条例第39号)

(施行期日)

1 この条例は、平成19年4月1日から施行する。

(香川県使用料、手数料条例の一部改正)

2 香川県使用料、手数料条例(昭和27年香川県条例第2号)の一部を次のように改正する。

(次のよう略)

附 則(平成19年12月21日条例第72号)

(施行期日)

1 この条例は、平成20年4月1日から施行する。

(香川県使用料、手数料条例の一部改正)

2 香川県使用料、手数料条例(昭和27年香川県条例第2号)の一部を次のように改正する。

(次のよう略)

(附属機関を構成する委員その他の構成員の報酬等に関する条例の一部改正)

3 附属機関を構成する委員その他の構成員の報酬等に関する条例(昭和32年香川県条例第43号)の一部を次のように改正する。

(次のよう略)

(議会の議決に付すべき公の施設の長期かつ独占的な利用の許可に関する条例の一部改正)

4 議会の議決に付すべき公の施設の長期かつ独占的な利用の許可に関する条例(昭和39年香川県条例第28号)の一部を次のように改正する。

(次のよう略)

香川県立ミュージアム規則

(平成11年4月23日教育委員会規則第16号)

(趣旨)

第1条 この規則は、香川県立ミュージアム条例(平成11年香川県条例第6号。以下「条例」という。)第4条及び第5条の規定に基づき、香川県立ミュージアム(以下「ミュージアム」という。)の管理に関し必要な事項を定めるものとする。

(業務)

第2条 ミュージアムは、次の業務を行う。

(1) 歴史、芸術及び民俗に関する資料(以下「資料」という。)を収集し、保管し、及び展示すること。

(2) 資料の利用に関し必要な説明、助言、指導等を行うこと。

(3) 資料に関する専門的又は技術的な調査研究を行うこと。

(4) 歴史、芸術及び民俗についての講演会、講習会等を開催すること。

(5) 前各号に掲げるもののほか、ミュージアムの目的を達成するために必要なこと。

(開館時間)

第3条 ミュージアム(瀬戸内海歴史民俗資料館(以下「資料館」という。))及び香川県文化会館(以下「文化会館」という。)を除く。次条第1項において同じ。)

の開館時間は、次に掲げる施設の区分に応じ、当該各号に定める時間とする。

(1) 駐車場以外の施設 午前9時から午後5時まで

(2) 駐車場 午前9時から午後10時まで

2 資料館の開館時間は、午前9時から午後5時までとする。

3 文化会館の開館時間は、次に掲げる施設の区分に応じ、当該各号に定める時間とする。

(1) 県民ギャラリー 午前9時から午後5時まで

(2) 芸能ホール及び和室 午前9時から午後10時まで

4 教育委員会は、特別展示室又は県民ギャラリーで展覧会を開催する場合その他必要があると認める場合は、前3項の規定にかかわらず、開館時間を変更することができる。

(休館日)

第4条 ミュージアムの休館日は、次のとおりとする。

(1) 月曜日(その日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下「休日」という。))に当たるときは、その日後においてその日に最も近い休日でない日)

(2) 12月29日から翌年1月3日までの日

2 資料館の休館日は、次のとおりとする。

(1) 月曜日(その日が休日に当たるときは、その日後においてその日に最も近い休日でない日)

(2) 12月29日から翌年1月3日までの日

3 文化会館の休館日は、12月29日から翌年1月3

日までの日とする。

4 教育委員会は、特別展示室で展覧会を開催する場合その他必要があると認める場合は、前3項の規定にかかわらず、休館日を変更し、又は休館日を設けることができる。

(利用の許可を要する施設)

第5条 ミュージアムのうち条例第4条の許可を受けなければならない施設は、特別展示室(常設展示室、ロビー又はエントランスホールのうち特別展示室と併せて展示の用に供される部分を含む。)講堂及び研修室並びに芸能ホール、県民ギャラリー及び和室(以下「特別展示室等」という。)とする。

(利用の許可)

第6条 特別展示室等に係る条例第4条前段の規定による利用の許可(以下「利用許可」という。)を受けようとする者は、香川県立ミュージアム利用許可申請書(第1号様式)又は香川県立ミュージアム香川県文化会館利用許可申請書(第1号様式の2)(以下「利用許可申請書」という。)を教育委員会に提出しなければならない。

2 前項の利用許可申請書は、利用しようとする日(2日以上継続して利用しようとする場合は、その初日)の1年前から7日前までに提出しなければならない。ただし、教育委員会が特に必要があると認める場合は、この限りでない。

3 教育委員会は、利用許可を受けようとする者が次の各号のいずれかに該当するときは、利用許可をしないことができる。

(1) ミュージアムの秩序を乱し、又は公益を害するおそれがあると認められるとき。

(2) ミュージアムの施設又は設備を損傷するおそれがあると認められるとき。

(3) ミュージアムの利用により暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号)第2条第2号に規定する暴力団を利するおそれがあると認められるとき。

(4) 前3号に掲げるもののほか、ミュージアムの管理上支障があると認められるとき。

4 利用許可には、ミュージアムの管理上必要な範囲

内で条件を付することができる。

(利用の許可の変更)

第7条 利用許可を受けた者(以下「利用者」という。)は、条例第4条後段の規定による変更の許可(以下「変更許可」という。)を受けようとするときは、香川県立ミュージアム利用許可変更申請書(第2号様式)を教育委員会に提出しなければならない。

2 前条第3項及び第4項の規定は、変更許可について準用する。

(利用の中止の届出)

第8条 利用者は、施設の利用を中止しようとするときは、香川県立ミュージアム利用中止届(第3号様式)により、教育委員会に届け出なければならない。

(資料画像等の利用の許可)

第9条 ミュージアム(文化会館を除く。)の保管に係る資料画像等の利用をしようとする者は、資料画像等利用許可申請書(第4号様式)を教育委員会に提出し、その許可を受けなければならない。

2 第6条第3項及び第4項の規定は、前項の許可について準用する。この場合において、同条第3項第3号中「ミュージアムの利用」とあるのは、「ミュージアムの利用又は資料画像等の利用」と読み替えるものとする。

第10条から第12条まで 削除

(利用の許可の取消し等)

第13条 教育委員会は、利用者又は第9条第1項の許可を受けた者が次の各号のいずれかに該当するときは、利用許可若しくは変更許可若しくは同項の許可を取り消し、又はミュージアムの利用若しくは資料画像等の利用の停止を命ずることができる。

(1) この規則の規定に違反し、又は教育委員会の指示に従わなかったとき。

(2) 偽りその他不正の手段により利用許可若しくは変更許可又は第9条第1項の許可を受けたとき。

(3) 第6条第3項各号(第9条第2項において準用する場合を含む。)のいずれかに該当することとなったとき。

(4) 第6条第4項(第7条第2項及び第9条第2項において準用する場合を含む。)の規定により付された

許可の条件に違反したとき。

(5) 納期限までに使用料を納付しないとき。

(入館の拒否等)

第14条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当する者に対しては、ミュージアムへの入館を拒否し、又はミュージアムからの退館を命ずることができる。

(1) 他人に迷惑を及ぼした者

(2) 他人に危害を及ぼし、又は他人の迷惑となるおそれのある物品を携帯する者

(3) 前2号に掲げるもののほか、ミュージアムの管理上支障があると認められる者

(損害賠償の責任)

第15条 利用者又は第9条第1項の許可を受けた者は、その責めに帰すべき理由により利用許可若しくは変更許可若しくは同項の許可を取り消され、又はミュージアムの利用若しくは資料画像等の利用を停止されたために損害を被る場合においても、その損害の賠償を請求することができない。

2 ミュージアムの施設、設備、器具、展示品等を損傷させ、又は滅失させた者は、それによって生じた損害を賠償しなければならない。

3 ミュージアムに保管を委託された資料が、災害その他の不可抗力によって損傷し、又は滅失した場合は、損害賠償の責任を負わない。

(補則)

第16条 この規則に定めるもののほか、ミュージアムの管理に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、平成11年11月16日から施行する。

附 則(平成12年3月31日教育委員会規則第23号)

1 この規則は、平成12年4月1日から施行する。

2 改正前の第1号様式による用紙は、当分の間、使用することができる。

附 則(平成13年3月27日教育委員会規則第11号)

この規則は、平成13年4月1日から施行する。

附 則(平成13年5月8日教育委員会規則第16号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則(平成13年7月24日教育委員会規則第18号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成 14 年 3 月 29 日教育委員会規則第 21 号）

この規則は、平成 14 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 15 年 3 月 31 日教育委員会規則第 7 号抄）

（施行期日）

1 この規則は、平成 15 年 4 月 1 日から施行する。

（香川県歴史博物館規則の一部改正に伴う経過措置）

3 この規則の施行の際現に交付されている第 3 条の規定による改正前の香川県歴史博物館規則第 11 条第 1 項第 1 号又は第 2 号に規定する証票は、それぞれ第 3 条の規定による改正後の同規則第 11 条第 1 項第 1 号又は第 2 号に規定する証票とみなす。

4 この規則の施行の際現に香川県歴史博物館の駐車場を第 3 条の規定による改正前の香川県歴史博物館規則別表第 5 号の表に規定する 5,590 円券により利用している者の当該利用に係る使用料については、なお従前の例による。

附 則（平成 16 年 3 月 29 日教育委員会規則第 4 号抄）

1 この規則は、平成 16 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 18 年 3 月 31 日教育委員会規則第 4 号）

この規則は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 18 年 7 月 28 日教育委員会規則第 28 号）

この規則は、平成 18 年 8 月 1 日から施行する。ただし、別表第 5 号の表の改正規定中「7,800 円券」を「6,000 円券」に、「6,500 円」を「5,000 円」に、「13,000 円券」を「1 万円券」に、「10,500 円」を「8,000 円」に改める部分は、同年 9 月 1 日から施行する。

附 則（平成 18 年 9 月 29 日教育委員会規則第 29 号）

1 この規則は、平成 18 年 10 月 1 日から施行する。

2 障害者自立支援法（平成 17 年法律第 123 号）附則第 41 条第 1 項の規定によりなお従前の例により運営されている身体障害者更生援護施設、同法附則第 58 条第 1 項の規定によりなお従前の例により運営されている知的障害者援護施設又は同法附則第 48 条の規定によりなお従前の例により運営されている精神障害者社会復帰施設の在籍者で、当該施設の職員が引率の上入室するものについては、第 3 条の規定による改正後の香川県立ミュージアム規則第 11 条第 1 項の規定にかかわらず、同法附則第 1 条第 3 号に掲げる規定の施行の日の前日までの間は、なお従前の例により観覧料を

免除する。

附 則（平成 19 年 3 月 30 日教育委員会規則第 5 号抄）

（施行期日）

1 この規則は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。

（経過措置）

3 第 3 条の規定による改正前の香川県歴史博物館規則第 1 号様式から第 4 号様式までによる用紙は、当分の間、使用することができる。

附 則（平成 19 年 3 月 30 日教育委員会規則第 6 号）

この規則は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 20 年 3 月 25 日教育委員会規則第 5 号）

（施行期日）

1 この規則は、平成 20 年 4 月 1 日から施行する。

（経過措置）

2 この規則の施行の日の前日までに香川県歴史博物館の利用の申請を行った者の当該利用の許可に係る使用料の額については、なお従前の例による。

3 改正前の第 1 号様式から第 4 号様式までによる用紙は、当分の間、使用することができる。

附 則（平成 20 年 3 月 25 日教育委員会規則第 6 号）

この規則は、平成 20 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 20 年 10 月 31 日教育委員会規則第 19 号）

この規則は、平成 21 年 4 月 1 日から施行する。ただし、第 5 条及び第 6 条の改正規定並びに第 1 号様式の次に 1 様式を加える改正規定は、公布の日から施行する。

附 則（平成 20 年 11 月 21 日教育委員会規則第 20 号抄）

（施行期日）

1 この規則は、平成 20 年 12 月 1 日から施行する。

附 則（平成 21 年 2 月 10 日教育委員会規則第 2 号）

この規則は、平成 21 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 22 年 3 月 31 日教育委員会規則第 8 号）

1 この規則は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。

2 この規則の施行の日の前日までに香川県立ミュージアムの利用の申請を行った者の当該利用の許可に係る使用料の額については、なお従前の例による。

附 則（平成 23 年 3 月 31 日教育委員会規則第 9 号）

この規則は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 23 年 3 月 31 日教育委員会規則第 11 号）

この規則は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 24 年 3 月 30 日教育委員会規則第 8 号）

この規則は、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 25 年 3 月 29 日教育委員会規則第 10 号）

この規則は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 27 年 3 月 27 日教育委員会規則第 2 号）

1 この規則は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。

2 改正前の第 1 号様式による用紙は、当分の間、修正して使用することができる。

教育委員会の権限に属する事務の委任

（平成 19 年 4 月 6 日教育委員会告示第 7 号）

地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 180 条の 7 の規定により、平成 19 年 4 月 1 日から次の表の左欄に掲げる者に当該右欄に掲げる香川県教育委員会の権限に属する事務を委任した。

左 欄	右 欄
政策部 文化芸 術局長	1 香川県立ミュージアム の管理運営に関する事務 (重要なものに限る。)
香川県 立ミュ ージア ム館長	1 香川県立ミュージアム 条例（平成 11 年香川県条 例第 6 号）第 4 条に規定 する利用の許可及び利用 の許可の変更に関するこ と。 2 香川県立ミュージアム 規則（平成 11 年香川県教 育委員会規則第 16 号。以 下「ミュージアム規則」 という。）第 3 条第 4 項 に規定する開館時間の変 更 3 ミュージアム規則第 4 条第 4 項に規定する休館 日の変更及び設定

4 ミュージアム規則第 8
条に規定する利用の中止
の届出の受理

5 ミュージアム規則第 9
条に規定する資料画像等
の利用の許可に関するこ
と。

6 ミュージアム規則第 13
条に規定する利用許可若
しくは変更許可若しくは
資料画像等の利用の許可
の取消し又は香川県立ミ
ュージアムの利用若しく
は資料画像等の利用の停
止の命令に関すること。

7 ミュージアム規則第 14
条に規定する入館の拒否
及び退館の命令に関する
こと。

8 地方自治法第 238 条の
4 第 7 項に規定する行政
財産の使用の許可に関す
ること。

9 ミュージアム規則に定
めるもののほか、香川県
立ミュージアムの管理運
営に必要な事項を定める
こと（政策部文化芸術局
長の項に定めるものを除
く。）。

前 文（抄）（平成 20 年 3 月 28 日教育委員会告示第 1 号）

平成 20 年 4 月 1 日から施行する。

前 文（抄）（平成 23 年 3 月 31 日教育委員会告示第 4 号）

平成 23 年 4 月 1 日から施行する。

前 文（抄）（平成 25 年 3 月 29 日教育委員会告示第 2 号）

平成 25 年 4 月 1 日から施行する。

前 文 (抄) (平成 27 年 3 月 31 日教育委員会告示第 1 号)

平成 27 年 4 月 1 日から施行する。

香川県立ミュージアムの管理運営のための組織規則

(平成 19 年 3 月 30 日規則第 29 号)

(趣旨)

第 1 条 この規則は、香川県立ミュージアム (以下「ミュージアム」という。) の管理運営を行うための組織について定めるものとする。

(組織)

第 2 条 ミュージアムに、総務課、学芸課、瀬戸内海歴史民俗資料館 (以下「資料館」という。) 及び香川県文化会館 (以下「文化会館」という。) を置く。

(分掌事項)

第 3 条 総務課は、次の事務を処理する。

- (1) 職員の人事、給与及び服務に関すること。
- (2) 予算、決算及び会計に関すること。
- (3) 施設及び設備の利用及び管理に関すること。
- (4) 公印の管理に関すること。
- (5) 文書の收受、発送及び保存に関すること。
- (6) 前各号に掲げるもののほか、学芸課、資料館及び文化会館の所掌に属しない事項に関すること。

2 学芸課は、次の事務を処理する。

- (1) 歴史、芸術及び民俗に関する資料 (以下「資料」という。) の収集及び保管に関すること。
- (2) 資料の展示に関すること。
- (3) 資料の利用についての説明、助言、指導等に関すること。
- (4) 資料の専門的又は技術的な調査研究に関すること。

(5) 歴史、芸術及び民俗についての講演会、講習会等の開催に関すること。

3 資料館は、次の事務を処理する。

- (1) 瀬戸内地方の資料の収集及び保管に関すること。
- (2) 瀬戸内地方の資料の展示に関すること。
- (3) 瀬戸内地方の資料の利用についての説明、助言、指導等に関すること。

(4) 瀬戸内地方の資料の専門的又は技術的な調査研究に関すること。

(5) 瀬戸内地方の歴史及び民俗についての講演会、講習会等の開催に関すること。

(6) 前各号に掲げるもののほか、館長が資料館に処理させることが適当と認めた事務に関すること。

4 文化会館は、次の事務を処理する。

- (1) 文化会館の施設、附属設備、器具等の利用及び管理に関すること。
- (2) 公印の管理に関すること。
- (3) 前 2 号に掲げるもののほか、館長が文化会館に処理させることが適当と認めた事務に関すること。

(職員)

第 4 条 ミュージアムに、次の職員を置く。

- (1) 館長
- (2) 副館長
- (3) 課長
- (4) 瀬戸内海歴史民俗資料館長
- (5) 香川県文化会館長
- (6) 香川県文化会館次長
- (7) 副主幹
- (8) 主任専門職員
- (9) 主任専門学芸員
- (10) 主任文化財専門員
- (11) 主任
- (12) 専門職員
- (13) 専門学芸員
- (14) 文化財専門員
- (15) 主任学芸員
- (16) 学芸員
- (17) その他の職員

(職務)

第 5 条 館長は、上司の命を受けて、ミュージアムの業務を掌理し、所属の職員を指揮監督する。

2 副館長は、館長を補佐する。

3 課長は、上司の命を受けて、課の事務を処理する。

4 瀬戸内海歴史民俗資料館長は、上司の命を受けて、資料館の事務を処理する。

5 香川県文化会館長は、上司の命を受けて、文化会

館の事務を処理する。

6 香川県文化会館次長は、香川県文化会館長を補佐する。

7 副主幹及び主任は、上司の命を受けて、事務を処理する。

8 主任専門職員、主任専門学芸員、主任文化財専門員、専門職員、専門学芸員、文化財専門員、主任学芸員及び学芸員は、上司の命を受けて、ミュージアムの専門的事務を処理する。

9 その他の職員は、上司の命を受けて、事務に従事する。

(補則)

第6条 この規則に定めるもののほか、ミュージアムの組織に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則 (平成20年3月28日規則第25号)

この規則は、平成20年4月1日から施行する。

附 則 (平成21年3月27日規則第28号)

この規則は、平成21年4月1日から施行する。

香川県立ミュージアム使用料規則

(平成25年3月29日規則第16号)

(趣旨)

第1条 この規則は、香川県立ミュージアム条例(平成11年香川県条例第6号)第1条第1項の香川県立ミュージアム(以下「ミュージアム」という。)の使用料に関し必要な事項を定めるものとする。

(使用料)

第2条 香川県使用料、手数料条例(昭和27年香川県条例第2号)別表第1 第1表 使用料の部 2 公の施設の使用料香川県立ミュージアムの項に規定する規則で定める額並びに特別展示室を分割して利用する場合の使用料、利用時間を分割して利用する場合の使用料、午後5時後の時間において利用する場合の使用料並びに冷暖房使用料及び電気特別使用料並びに駐車場を回数券により利用する場合の使用料、同表 使用料の部 2 公の施設の使用料香川県立ミュージアム瀬戸内海歴史民俗資料館の項に規定する規則で定める

額並びに同表 使用料の部 2 公の施設の使用料香川県立ミュージアム香川県文化会館の項に規定する規則で定める額並びに芸能ホールを準備又は練習のために利用する場合の使用料、県民ギャラリー又は和室を分割して利用する場合の使用料、芸能ホール又は和室を利用時間を分割して利用する場合の使用料、午後9時後(県民ギャラリーにあっては、午後5時後)の時間において利用する場合の使用料並びに冷暖房使用料及び電気特別使用料は、別表第1のとおりとする。

2 香川県使用料、手数料条例別表第1 第1表 使用料の部 2 公の施設の使用料香川県立ミュージアムの項に規定する歴史展示室、常設展示室及び特別展示室を香川県立ミュージアム年間観覧券(以下「年間観覧券」という。)により観覧する場合の観覧料並びに同表 使用料の部 2 公の施設の使用料香川県立ミュージアム香川県文化会館の項に規定する県民ギャラリーを年間観覧券により観覧する場合の観覧料は、別表第2のとおりとする。

(使用料の還付)

第3条 次の各号のいずれかに該当するときは、当該各号に定める額の使用料を還付する。

(1) 天災地変その他香川県立ミュージアム規則(平成11年香川県教育委員会規則第16号。以下「ミュージアム規則」という。)第7条第1項に規定する利用者(以下「利用者」という。)の責めに帰することができない理由により利用できなくなったとき。 全額

(2) ミュージアム規則第7条第1項に規定する変更許可により過納額が生じたとき。 当該過納額

(3) ミュージアム規則第5条に規定する特別展示室等を利用する日(2日以上継続して利用する場合は、その初日)の1月前までにミュージアム規則第8条の規定による届出があったとき。 半額

(観覧料の免除)

第4条 第1号から第7号までのいずれかに該当する者については歴史展示室、常設展示室及び特別展示室並びに県民ギャラリーの観覧料を、第8号に該当する者については歴史展示室及び常設展示室の観覧料を、第9号に該当する者については特別展示室又は県民ギャラリーを観覧する日に限り歴史展示室及び常設展示

室の観覧料を、第 10 号に該当する者については知事が定める観覧料を免除する。

- (1) 65 歳以上の者
- (2) 身体障害者福祉法（昭和 24 年法律第 283 号）第 15 条第 4 項の規定により交付を受けた身体障害者手帳に身体上の障害がある者として記載されている者
- (3) 都道府県知事又は地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 252 条の 19 第 1 項に規定する指定都市の市長が交付した療育手帳に本人として記載されている者
- (4) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和 25 年法律第 123 号）第 45 条第 2 項の規定により交付を受けた精神障害者保健福祉手帳に精神障害の状態にある者として記載されている者
- (5) 保護施設、児童福祉施設及び老人福祉施設の在籍者で、当該施設の職員が引率の上入室するもの
- (6) 学校等における教育活動として、学齢に達しない者、児童、中学校生徒、高等学校生徒及びこれらに準ずる者を引率の上入室する者
- (7) 国際博物館の日（5 月 18 日（その日がミュージアム規則第 4 条に規定するミュージアムの休館日に当たるときは、その日後においてその日に最も近い休館日でない日））に入室する者
- (8) 法人等会員証（県が法人等（法人その他の団体及び事業を行う個人をいう。以下同じ。）に対し交付するミュージアムの利用に係る証票をいう。以下同じ。）の交付を受けている法人等の関係者であって当該法人等会員証を利用する権利を有する者
- (9) 特別展示室又は県民ギャラリーを観覧する者
- (10) 前各号に掲げる者のほか、知事が特に必要があると認めた者

2 前項第 1 号に掲げる者は、入室の際、同号に該当することを証明するに足りる書類を提示しなければならない。

3 第 1 項第 2 号に掲げる者は、入室の際、身体障害者手帳を提示しなければならない。

4 第 1 項第 3 号に掲げる者は、入室の際、療育手帳を提示しなければならない。

5 第 1 項第 4 号に掲げる者は、入室の際、精神障害

者保健福祉手帳を提示しなければならない。

6 第 1 項第 5 号に掲げる者は、入室の際、当該施設に在籍していることを証明するに足りる書類を提示しなければならない。

7 第 1 項第 6 号に掲げる者は、あらかじめ、観覧料免除申請書（別記様式）を知事に提出し、その許可を受けなければならない。

8 第 1 項第 8 号に掲げる者は、入室の際、法人等会員証を提示しなければならない。

9 第 1 項第 9 号に掲げる者は、入室の際、特別展示室観覧券又は県民ギャラリー観覧券を提示しなければならない。

（観覧料の減額）

第 5 条 次の各号のいずれかに該当する者については、歴史展示室、常設展示室及び特別展示室並びに県民ギャラリーの観覧料を、団体で利用する場合における歴史展示室、常設展示室及び特別展示室並びに県民ギャラリーの観覧料に相当する額に減額する。

(1) かがわウェルカムカード（公益社団法人香川県観光協会が外国人に対し交付する証票で、当該外国人が県内の観光に関する施設等を利用する際に提示することにより当該利用に係る料金の割引等を受けることができるものをいう。以下同じ。）の交付を受けている者

(2) 文化観光施設入場割引券（公益財団法人高松観光コンベンション・ビューローが県内で開催される大会等の参加者に対し交付する証票で、当該参加者が県内の観光に関する施設等を利用する際に提出することにより当該利用に係る料金の割引を受けることができるものをいう。以下同じ。）の交付を受けている者

(3) 前 2 号に掲げる者のほか、知事が特に必要があると認めた者

2 前項第 1 号に掲げる者は、入室の際、かがわウェルカムカードを提示しなければならない。

3 第 1 項第 2 号に掲げる者は、入室の際、文化観光施設入場割引券を提出しなければならない。

4 次の各号のいずれかに該当する者については、特別展示室及び県民ギャラリーの観覧料を、その 2 分の 1 に相当する額に減額する。この場合において、10 円

未満の端数は切り捨てるものとする。

(1) 年間観覧券の交付を受けている者（以下「パスポート会員」という。）（年間観覧券により観覧する場合を除く。）

(2) パスポート会員に同行して観覧する者（観覧 1 回につき 1 人に限る。）

5 前項第 1 号に掲げる者は、入室の際、年間観覧券を提示しなければならない。

6 年齢に達しない者、児童、中学校生徒、高等学校生徒及びこれらに準ずる者並びに前条第 1 項第 1 号から第 4 号までのいずれかに該当する者については、第 2 条第 2 項に規定する観覧料を、その 3 分の 1 に相当する額に減額する。この場合において、10 円未満の端数は、切り捨てるものとする。

(資料画像等使用料の免除)

第 6 条 次の各号のいずれかに該当する者については、資料画像等使用料を免除する。

(1) 歴史、芸術及び民俗に関する教育、学術上の調査研究又は啓発を目的として資料画像等の利用をする者

(2) ミュージアムの広報に資する用途に供することを目的として資料画像等の利用をする者

(3) 前 2 号に掲げる者のほか、知事が特に必要があると認めたる者

(補則)

第 7 条 この規則に定めるもののほか、ミュージアムの使用料に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 26 年 3 月 31 日規則第 30 号）

この規則は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 27 年 3 月 27 日規則第 14 号）

この規則は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 28 年 3 月 31 日規則第 22 号）

この規則は平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

付 則（平成 29 年 3 月 14 日規則第 9 号）

この規則は平成 29 年 4 月 1 日から施行する。

付 則（平成 31 年 3 月 19 日規則第 7 号）

この規則は平成 31 年 10 月 1 日から施行する。

(別表省略)

香川県政策部文化芸術局における歴史、美術及び民俗に関する資料収集方針

(趣旨)

第 1 条 この収集方針（以下「方針」という。）は、香川県政策部文化芸術局（以下「局」という。）における歴史、美術及び民俗に関する資料収集方針について定めるものとする。

(方針)

第 2 条 方針は、「収集の目的」、「資料の範囲」、「収集の対象」について別表のとおり定めるものとする。

(資料収集要綱等)

第 3 条 局の所管する各文化施設は、別に定める収集要綱及び要領等に基づき、資料収集、調査研究、鑑定評価等の手続きを行うものとする。

附 則

1 この方針は、平成 31 年 2 月 1 日から施行する。

別表

	収集の目的	資料の範囲	収集の対象
1 歴 史	香川県の歴史を解明し、その特質を国内外の中に位置付けることで、県民の郷土がもつ文化・歴史への理解を深める。	古文書を始めとする記録資料のほか、考古資料や美術工芸品、民俗・生活資料等の非文字資料もその中に含む。考古資料や民俗・生活資料は、文字資料と一体となった資料群として取	①香川県の歴史・文化を理解する上で必要と認められる資料及び資料群 ②歴史資料として保存すべき価値が高い資料、資料群及びコレクション ③展示、調査研究、学習支援活動を行

		集する場合には、歴史資料として扱う。また、美術工芸品については近世以前に制作されたものを歴史資料として扱う。ただし、資料群として収集する場合はこの限りではない。	<p>上で必要と認められる資料及び資料群</p> <p>④国指定文化財及び県・市町指定文化財。</p> <p>もしくはそれに準じる資料</p>
--	--	--	---

			<p>外の優れた作品、及びその影響の系譜をたどることができる作品。</p> <p>④現代の表象としての意義がある作品</p> <p>⑤その他、展示、調査研究、学習支援活動を行う上で必要と認められる作品</p> <p>⑥上記の作品を理解するうえで役立つ資料および資料群</p>
3	香川県及び瀬戸内地方の民俗資料	<p>古くから民間で伝承・使用されてきた衣食住・生産・生業・人の一生・年中行事・信仰等くらしのあらゆる場面で使われていた有形の道具や祭り・行事・民俗芸能等の無形の資料。また、近代以降</p>	<p>①香川県及び瀬戸内地方の有形・無形の民俗を理解する上で必要と認められる資料及び資料群、映像等の記録類</p> <p>②民俗資料として保存すべき価値が高い資料、資料群及びコレクション</p>

2	香川県にまつわる芸術の動きをとらえ、国内外の動向に位置づけることでその魅力を紹介する等により、県民が美術に親しみ、文化芸術への関心をさらに高め、創造性を育む機会を充実させる。	<p>創造的行為の産物であり、かつ時代状況を反映するような意義を持つ作品及びその関連資料。</p>	<p>①香川県及び瀬戸内地方にゆかりのある優れた作品</p> <p>②国内の近代以降の絵画、版画、彫刻・立体造形、工芸、デザイン、建築、写真、書等の流れをたどることができる作品</p> <p>③香川県及び国内の近現代美術に大きな影響を与えた国</p>
---	---	---	---

<p>化の記録と 衰滅後の復 活に資する。 また、近代以 降の生活の 変化を物語 る再現展示 を可能にする 道具・資料 の体系的収 集を目指す。</p>	<p>の生活の変 化を示す電 気製品を始 めとする機 械製品など 大量生産品 などの資料。</p>	<p>ン ③国指定文 化財及び県・ 市町指定文 化財。もしくはそれに準 じる資料 ④展示、調査 研究、学習支 援活動を行 う上で必要 と認められ る資料及び 資料群 ⑤近代・現代 の生活資料 (大量生産 品を含む)の うち、世相や 流行を反映 したものや、 生活様式を 大きく変化 させたもの 等、歴史的・ 社会的・技術 史的に重要 性が認めら れる資料及 び資料群</p>
--	---	---

香川県政策部文化芸術局における歴史、美術 及び民俗に関する資料収集要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、香川県政策部文化芸術局（以下「局」という。）における歴史、美術及び民俗に関する資料（以下「資料」という。）の収集に関し、必要な事項を定める。

(収集する資料)

第2条 収集は、「香川県政策部文化芸術局の歴史、美術及び民俗に関する資料収集方針」に基づき、歴史、美術及び民俗に関する実物のほか、標本、複写、模型、文献、図表、写真、フィルム、レコード、電磁的記録その他の資料について行う。

(資料収集の方法)

第3条 資料の収集は、次の各号に掲げる方法により行う。

- (1) 購入
- (2) 寄贈
- (3) 寄託
- (4) 発掘・採集
- (5) 製作

(資料の調査研究・鑑定評価・意見聴取)

第4条 局の所管する各文化施設の長（以下「各文化施設の長」という。）は、資料を収集しようとするときは、あらかじめ当該資料について調査研究及び鑑定評価を行うものとする。

2 購入価格が1件100万円を超える資料を購入しようとするときは、長が別に定めるところにより意見聴取を行うものとする。

(申込書の提出)

第5条 各文化施設の長は、寄贈又は寄託の申込みがあった資料を収集しようとするときは、速やかに当該資料の所有者に対し、寄贈申込書（様式1）又は寄託申込書（様式2）の提出を求めるものとする。ただし、寄贈申込書又は寄託申込書により難いときは、その都度別に定めるところによるものとする。

(寄託契約)

第6条 寄託資料は、歴史、美術及び民俗に関する資料寄託契約書（様式3）に目録を添付し、受託するものとする。

(寄託期間)

第7条 寄託契約の期間は、原則として2年とし、期間満了の2か月前までにいずれか一方から文書による別段の意思表示がないときは、自動的に契約期間を更新したものとする。ただし、契約期間中において、特別な事情が生じたときは、寄託者と協議の

うえ寄託資料を返還するものとする。

(受領書の交付)

第8条 寄贈資料又は寄託資料を受領した場合は、速やかに受領書(様式4)を寄贈申込者又は寄託申込者に交付する。

(感謝状の贈呈)

第9条 資料の寄贈申込者に対しては、資料の寄贈に伴う感謝状贈呈基準(別記)に基づいて感謝状の贈呈を行うものとする。ただし、特別の事情がある場合は、その都度別に定めるものとする。

(補則)

第10条 この要綱に定めるもののほか、資料の収集に関し必要な事項は、各文化施設の長が別に定める。

附 則

- 1 この要綱は、平成31年2月1日から施行する。
- 2 「香川県立ミュージアムの歴史、美術及び民俗に関する資料収集要綱」は廃止する。
- 3 「香川県立東山魁夷せとうち美術館の美術資料収集に関する要綱」は廃止する。
- 4 「香川県漆芸研究所に対する漆工芸資料の寄贈に関する要綱」は廃止する。
- 5 この要綱の施行日前に附則2項から4項までに規定する要綱の規定に基づいてなされた寄附申込、寄託契約その他の手続であって、この要綱に相当の規定があるものは、この要綱の規定に基づいてなされた手続とみなす。

附 則

この要綱は、令和3年9月1日から施行する。

利用案内（令和4年4月1日現在）

◆本館

- 開館時間 午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）
特別展開催時は夜間開館を行う場合があります。
- 休館日 ・毎週月曜日（月曜日が休日の場合は、原則として翌火曜日）
・年末年始
ただし、ゴールデンウィークの期間は無休
- 観覧料 常設展（歴史展示室・常設展示室）
一般個人 410円
一般団体（20人以上） 330円
・特別展は展覧会により異なります。
・特別展観覧券で常設展もご覧いただけます。（一部の特別展を除く）
・次の方は観覧料が免除されます。当館受付にて証明するものをご提示ください。
*高校生以下
*65歳以上
*障害者手帳をお持ちの方
*学校教育活動の一環として児童生徒と入室する引率者
*このほかにも無料もしくは免除になる場合があります。
- 交通案内 JR高松駅から東へ900m
ことடன்高松築港駅から東へ800m
ことடன்片原町駅から北へ500m
・岡山・愛媛・高知方面から
高松自動車道高松西ICより車で約30分
・徳島方面から
高松自動車道高松中央ICより車で約25分
・高松空港から
JR高松駅までリムジンバスで35分
- 駐車場 地下駐車場（普通乗用車50台）
・使用料：25分ごとに100円
・使用時間：午前9時～午後10時
別に、大型バス3台駐車可能（事前申込が必要です。）
近くに香川県玉藻町駐車場（有料）があります。



〒760-0030 高松市玉藻町5番5号

TEL. 087-822-0002（代）

<https://www.pref.kagawa.lg.jp/kmuseum/kmuseum>

◆分館 瀬戸内海歴史民俗資料館

- 開館時間 午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）
 休館日 ・毎週月曜日（月曜日が休日の場合は、原則として翌火曜日）
 ・年末年始（12月29日～1月3日）
 観覧料 無料
 交通案内 五色台北端部に立地
 ・JR高松駅から車で約25分、JR坂出駅から車で約30分
 ・坂出北ICから車で約30分
 （いずれも県道高松王越坂出線の大崎ノ鼻経由）
 駐車場 普通車30台、大型バス可（無料）



〒761-8001 高松市亀水町 1412-2
 TEL. 087-881-4707
<https://www.pref.kagawa.lg.jp/setorekishi/>

◆分館 香川県文化会館

- 利用時間 県民ギャラリー 午前9時～午後5時（金曜日は午後7時30分まで）
 芸能ホール・和室 午前9時～午後10時
 休館日 年末年始（12月29日～1月3日）
 交通案内 JR高松駅から南へ1.5km
 ことでん瓦町駅から西へ1.2km
 駐車場 香川県番町地下駐車場（有料）
 高松市立中央駐車場（有料）



〒760-0017 高松市番町1-10-39
 TEL. 087-831-1806

香川県立ミュージアム年報 第15号 (令和4年度)

発行日 令和5(2023)年8月16日

編集発行 香川県立ミュージアム

香川県高松市玉藻町5番5号

TEL (087) 822-0002 (代) FAX (087) 822-0043

URL <https://www.pref.kagawa.lg.jp/kmuseum/kmuseum>